

公立大学法人宮城大学
業務実績報告書
附属資料

(令和5年度)
【事業年度評価】

令和6年6月
公立大学法人宮城大学

目次

I 法人の基礎的数値・中期計画に数値目標を掲げている項目等(6年間程度の推移が分かるもの)	
第1 教育研究の質向上に関する数値	
1 教育	
(1) 入学者の受入	
イ 学士課程	
① 志願倍率	P 5
② 実質競争倍率	P 5
③ 入学率	P 6
④ 県内高校生の入学者比率	P 6
⑤ 入学者の定員超過率	P 6
⑥ 本学を第一志望とする入学者数の割合〔指標〕	P 7
⑦ 社会人入学者	P 7
⑧ 研究生等入学者	P 7
ロ 大学院課程	
① 志願倍率	P 8
② 実質競争倍率	P 8
③ 入学率	P 9
④ 入学者の定員充足率〔指標〕	P 9
⑤ 社会人入学者	P 10
⑥ 研究生等入学者	P 10
(2) 教育の内容等	
イ 学士課程	
① 学生の状況	P 11
② 学生満足度調査の回収率	P 12
③ 期間中の地域連携型実践教育科目履修者(アソシエイト取得者)総数〔指標〕	P 12
④ 地域連携型実践教育科目履修者の自己評価〔指標〕	P 12
ロ 大学院課程	
① 学生の状況	P 13
(3) 教育実施体制等	
ロ 教員・教員組織	
① 専任教員	P 14
② 非常勤講師等	P 15
③ 専任教員の担当科目比率	P 16
④ 教員採用時の公募制実施率	P 16
⑤ 教員選考時のプレゼンテーション実施率	P 16
⑥ 教員比率	P 16
⑦ 授業評価の科目実施率	P 17
⑧ 対象科目に係る授業評価の実施率	P 17
⑨ 学生の授業評価の回答率	P 17
⑩ 教員のFD参加率	P 17
(4) 学生への支援	
イ 学修・生活支援	
① 学生の休学率・退学率	P 18
② 生活支援	P 18
③ 経済的支援(奨学金受入)	P 18
④ 経済的支援(授業料減免)	P 19
ロ キャリア形成支援	
① 卒業生就職率(学群)〔指標〕	P 20
② 卒業生に対する就職者の割合(学群)	P 20
③ 卒業生に対する進学者の割合(学群)	P 21

	④ 県内就職者比率（学群）	P 22
	⑤ 国家資格試験合格率（看護師・保健師）〔指標〕	P 23
	⑥ 各種免許資格取得者数（養護教諭（一種））	P 23
	⑦ 就職支援	P 23
	⑧ 就職率（大学院）	P 24
	⑨ 修了者に対する就職者の割合（大学院）	P 24
	⑩ 県内就職者比率（大学院）	P 25
	2 研究	
	(1) 研究水準（研究成果）の状況及び教員一人あたりの研究成果発表件数〔指標〕	P 26
	(2) 外部研究資金の受入状況〔指標〕	P 28
	(3) 科学研究費補助金の応募・採択状況	P 29
	(4) 外部教育資金の受入状況	P 29
	(5) 奨学寄附金等の受入状況	P 29
	(6) 外部資金獲得総額	P 29
	3 教育研究等環境の整備	
	(1) 蔵書数	P 30
	(2) 図書館への入館者数	P 30
	(3) 図書館の館外貸出冊数	P 30
第2	地域貢献等に関する数値	
	1 地域貢献	
	(1) 公開講座等の開催（延べ参加者数含む）〔指標〕	P 31
	(2) 単位互換授業の状況	P 31
	(3) 連携協定等	P 32
	(4) 市町村等の各種委員・講師の派遣件数〔指標〕	P 32
	(5) 市町村や企業等との連携事業・受託事業数〔指標〕	P 32
	2 国際交流	
	(1) 協定締結数	P 33
	(2) 外国人留学生数	P 33
	(3) 海外派遣学生枠〔指標〕	P 34
第3	業務運営の改善及び効率化に関する数値	
	1 人事の適性化	
	(1) 職員（教員を除く）及び非常勤職員等の状況	P 35
第4	その他業務運営に関する数値	
	1 安全管理	
	(1) 個人情報漏洩事故件数〔指標〕	P 36
第5	県の規則で定める常務運営に関する数値	
	3 施設整備に関する計画	
	(1) 土地	P 37
	(2) 建物	P 37
II	法人が策定した指針・計画等	P 39
III	各審議会・委員会等の名簿	P 101
IV	その他業務実績評価の実施に当たり根拠となる資料	
	1 MYU GUIDE 2025	別冊

I 法人の基礎的数値・中期計画に数値目標を掲げている
項目等（6年間程度の推移が分かるもの）

第1 教育の質向上に関する数値

1 教育

(1) 入学者の受入

イ 学士課程

① 志願倍率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	4.2	4.0	4.2	4.2	4.0	4.1	
看護学群	4.8	4.4	4.3	4.1	4.6	4.4	
事業構想学群	3.7	3.9	4.5	4.0	4.1	3.6	
食産業学群	4.4	4.0	3.7	4.8	3.5	4.5	
学群計	5.4	5.1	5.4	5.4	5.1	5.1	
看護学群	5.5	4.9	4.5	4.2	5.5	4.6	
事業構想学群	4.6	4.8	6.0	5.1	5.0	4.5	
食産業学群	6.6	5.9	5.3	6.9	4.9	6.5	

(単位：倍)

※志願倍率＝志願者数÷入学定員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

② 実質競争倍率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	2.4	2.3	2.4	2.4	2.2	2.3	
看護学群	2.8	2.7	2.9	2.5	3.0	3.1	
事業構想学群	2.3	2.4	2.7	2.4	2.4	2.2	
食産業学群	2.2	1.8	1.6	2.4	1.5	2.0	
学群計	2.4	2.2	2.4	2.5	2.0	2.2	
看護学群	2.7	2.4	2.4	1.8	2.8	2.5	
事業構想学群	2.3	2.4	2.9	2.5	2.1	2.1	
食産業学群	2.3	1.8	1.7	3.0	1.4	2.3	

(単位：倍)

※実質競争倍率＝受験者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

※総合型選抜入試に係る受験者数については、第二次選考の受験者数を計上し、算定。

③入学率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	93.4%	92.0%	95.6%	93.9%	92.9%	95.1%	
看護学群	96.2%	97.2%	99.0%	99.0%	96.0%	98.0%	
事業構想学群	95.6%	93.8%	96.0%	92.1%	94.7%	96.8%	
食産業学群	88.2%	85.6%	92.6%	93.2%	88.2%	90.7%	
学群計	91.1%	89.6%	93.3%	90.9%	89.6%	92.3%	
看護学群	94.2%	95.5%	98.4%	98.4%	93.8%	96.7%	
事業構想学群	93.9%	92.8%	93.8%	88.8%	92.7%	95.0%	
食産業学群	85.7%	82.1%	89.3%	88.9%	82.4%	86.0%	

※入学率＝入学者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④県内高校生の入学者比率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	63.8%	66.6%	61.6%	63.8%	55.6%	60.2%	
看護学群	72.0%	71.8%	62.4%	69.6%	60.8%	68.7%	
事業構想学群	71.6%	71.7%	67.4%	70.0%	61.7%	65.0%	
食産業学群	45.2%	54.2%	51.8%	50.0%	42.2%	46.0%	

※県内高校生の入学者比率＝県内高校からの入学者数÷入学者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤入学者の定員超過率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
学群計	107.1%	106.2%	107.9%	107.1%	106.2%	106.4%	
看護学群	105.3%	108.4%	106.3%	107.4%	102.1%	101.1%	
事業構想学群	107.5%	106.0%	107.5%	105.0%	107.0%	107.0%	
食産業学群	104.8%	104.8%	109.6%	110.4%	108.0%	109.6%	

※入学者の定員超過率＝入学者数÷入学生員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑥本学を第一志望とする入学者数の割合 (66%以上/年) 【指標】

学群計	入学年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
看護学群					67.9%	62.9%	70.7%	
事業構想学群					74.5%	67.0%	84.4%	
食産業学群					68.4%	62.9%	72.0%	
					62.3%	60.0%	59.1%	

⑦社会人入学者

学群 (学部) 計	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
看護学群 (学部)	0.2%	0.2%	0.4%	0.2%	0.0%	0.2%	
社会人の受入比率	1.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	
事業構想学群 (学部)							
社会人の受入比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
事業プランニング学類							
地域創生学類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
価値創造デザイン学類							
食産業学群 (学部)							
社会人の受入比率	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.7%	
食資源開発学類/生物生産学類							
フードマネジメント学類	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	※2022年度より生物生産学類設置、食資源開発学類募集停止

⑧研究生等入学者

学群	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
研究生	11	3	1	2	5	1	
科目等履修生	2	0	0	2	1	0	
特別聴講生	0	3	1	0	1	1	
	9	0	0	0	3	0	

(単位：人)

ロ 大学院課程

①志願倍率

(単位：倍)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	0.6	0.8	0.8	0.9	0.7	0.8	
看護学研究科	0.8	1.2	0.4	1.1	0.5	0.7	
博士課程前期	0.8	1.4	0.4	1.2	0.4	0.8	
博士課程後期	1.0	0.3	0.3	0.7	0.7	0.3	
事業構想学研究科	0.5	0.6	0.8	0.5	0.3	0.8	
博士課程前期	0.5	0.6	0.9	0.4	0.2	0.8	
博士課程後期	0.7	0.7	0.7	1.0	1.0	1.0	
食産業学研究科	0.7	0.7	1.1	1.4	1.4	0.9	
博士課程前期	0.6	0.8	1.1	1.7	1.6	0.9	
博士課程後期	1.0	0.3	1.0	0.3	0.3	0.7	

※志願倍率＝志願者数÷入学定員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

②実質競争倍率

(単位：倍)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	1.1	1.1	1.1	1.1	1.0	1.1	
看護学研究科	1.4	1.1	1.3	1.4	1.2	1.0	
博士課程前期	1.2	1.1	1.3	1.5	1.3	1.0	
博士課程後期	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
事業構想学研究科	1.0	1.1	1.1	1.0	1.0	1.1	
博士課程前期	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.1	
博士課程後期	1.0	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
食産業学研究科	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	
博士課程前期	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.1	
博士課程後期	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	

※実質競争倍率＝受験者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

③入学率

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	96.6%	100.0%	97.2%	100.0%	96.8%	94.9%	
看護学研究科	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	
博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	87.5%	
博士課程後期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
事業構想学研究科	90.9%	100.0%	94.1%	100.0%	85.7%	100.0%	
博士課程前期	88.9%	100.0%	93.3%	100.0%	75.0%	100.0%	
博士課程後期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
食産業学研究科	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	91.7%	
博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	90.0%	
博士課程後期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

※入学率＝入学者数÷合格者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④入学者の定員充足率【指標】

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	53.8%	71.2%	67.3%	73.1%	57.7%	71.2%	
看護学研究科	53.8%	107.7%	30.8%	69.2%	38.5%	61.5%	
博士課程前期	60.0%	130.0%	30.0%	80.0%	30.0%	70.0%	
博士課程後期	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	66.7%	33.3%	
事業構想学研究科	43.5%	52.2%	69.6%	47.8%	26.1%	78.3%	
博士課程前期	40.0%	55.0%	70.0%	40.0%	15.0%	75.0%	
博士課程後期	66.7%	33.3%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%	
食産業学研究科	68.8%	68.8%	93.8%	112.5%	118.8%	68.8%	
博士課程前期	61.5%	76.9%	92.3%	130.8%	138.5%	69.2%	
博士課程後期	100.0%	33.3%	100.0%	33.3%	33.3%	66.7%	

※入学者の定員超過率＝入学者数÷入学定員（募集人員）×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤社会人入学者

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院計	54.5%	43.2%	31.4%	31.6%	33.3%	48.7%	
看護学研究科							
社会人の受入比率	100.0%	71.4%	75.0%	77.8%	100.0%	100.0%	
事業構想学研究科							
社会人の受入比率	75.0%	50.0%	37.5%	27.2%	66.7%	44.4%	
食産業学研究科							
社会人の受入比率	0.0%	0.0%	13.3%	11.1%	5.3%	18.2%	

※社会人の受入比率＝社会人入学者数÷入学者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑥研究生等入学者

(単位：人)

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	備考
大学院	8	4	3	3	6	0	
研究生	2	2	1	1	3	0	
科目等履修生	6	2	2	2	3	0	
特別聴講生	0	0	0	0	0	0	

(2) 教育の内容
イ 学士課程

① 学生の状況

(単位：人)

(新年度の状況)	R5			R6			定員 超過率 (b/a)	備 考
	収容 定員	在籍者数		収容 定員 (a)	在籍者数(b)			
		男	女		計	男		
看護学部	380	27	381	408	22	380	402	105.8%
事業構想学部 (学部)	800	370	502	872	357	514	871	108.9%
事業プランニング学類	240	86	127	213	78	132	210	
地域創生学類	240	99	98	197	99	106	205	108.9%
価値創造デザイン学類	320	107	161	268	105	167	272	
学群一括募集分	—	78	116	194	75	109	184	
食産業学部 (学部)	500	172	376	548	178	371	549	109.8%
フードビジネス学科	—	0	1	1	—	0	0	—
食資源開発学類	186	60	78	138	34	41	75	
フードマネジメント学類	252	40	176	216	38	178	216	109.8%
生物生産学類	62	34	41	75	62	75	137	
学群一括募集分	—	38	80	118	44	77	121	
合 計	1,680	569	1,259	1,828	557	1,265	1,822	108.5%

(過年度の状況)	R1			R2			R3			R4			
	収容 定員	在籍者数		収容 定員	在籍者数		収容 定員	在籍者数		収容 定員	在籍者数		
		男	女		計	男		女	計		男	女	計
看護学部	380	26	378	404	26	380	406	24	379	380	28	383	411
事業構想学部	800	363	496	859	370	490	860	372	494	800	373	486	859
事業計画学科	100	51	68	119	6	3	9	—	1	—	—	—	0
デザイン情報学科	100	41	69	110	4	9	13	—	2	—	—	—	0
事業プランニング学類	180	49	91	140	75	128	203	240	119	240	84	124	208
地域創生学類	180	71	63	134	96	97	193	240	100	240	101	100	201
価値創造デザイン学類	240	76	97	173	104	153	257	320	168	320	103	172	275
学群一括募集分	—	75	108	183	85	100	185	—	104	—	85	90	175
食産業学部	500	169	355	524	156	366	522	500	368	500	170	374	544
ファームビジネス学科	42	22	24	46	0	0	0	—	0	—	0	0	0
フードビジネス学科	52	14	41	55	2	3	5	—	2	—	1	1	2
環境システム学科	31	20	17	37	0	0	0	—	0	—	1	1	2
食資源開発学類	186	48	83	131	78	122	200	248	121	204	81	114	195
フードマネジメント学類	189	26	111	137	42	165	207	252	170	213	48	169	217
生物生産学類	—	39	79	118	34	76	110	—	75	—	32	83	115
学群一括募集分	—	558	1,229	1,787	552	1,236	1,788	1,680	1,241	1,680	571	1,243	1,814
合 計	1,680	558	1,229	1,787	552	1,236	1,788	1,680	1,241	1,680	571	1,243	1,814

②学生満足度調査の回収率

卒業・修了年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学計		97.4%	11.5%	21.0%	26.0%	47.0%	82.9%	2018年度までは卒業式当日に紙媒体で実施、2019年度よりウェブ回答。
学部卒業者		98.1%	10.6%	21.2%	24.8%	45.9%	82.6%	
大学院修了者		87.9%	25.0%	18.2%	39.5%	63.0%	86.2%	

③期間中の地域連携型実践教育科目履修者（アソシエイト取得者）総数（210名 令和8年度）【指標】

CPアソシエイト授与年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
累計値	目標				35人	70人	105人	毎年35名、6年間で延べ210名輩出することを目標とする。
	実績				41人	75人	93人	
単年度	実績				41人	34人	18人	

※各年度に記載する実績値は、当該年度の「CPアソシエイト修了書授与者」

④地域連携型実践教育科目履修者の自己評価（平均A:85点以上 令和8年度）【指標】

CPアソシエイト授与年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
目標	目標				75点	80点	80点	
	実績				84点	86点	88点	

ロ 大学院課程

①学生の状況

(単位：人)

(新年度の状況)	R6			定員 充足率 (b/a)	備 考
	収容 定員 (a)	在籍者数(b)			
		男	女		
看護学研究科	29	2	16	18	
博士課程前期	20	1	11	12	
博士課程後期	9	1	5	6	
事業構想学研究科	49	23	10	33	
博士課程前期	40	16	7	23	
博士課程後期	9	7	3	10	
食産業学研究科	35	12	19	31	
博士課程前期	26	6	19	25	
博士課程後期	9	6	0	6	
合 計	113	37	45	82	

(過年度の状況)	R1			R2			R3			R4			R5							
	収容 定員 (a)	在籍者数		収容 定員 (a)	在籍者数(b)		収容 定員 (a)	在籍者数(b)		収容 定員 (a)	在籍者数(b)		収容 定員 (a)	在籍者数(b)						
		男	女		計	男		女	計		男	女		計	男	女	計			
看護学研究科	29	5	27	32	29	6	24	30	29	5	22	27	29	1	15	16	29	2	15	17
博士課程前期	20	4	15	19	20	5	16	21	20	4	16	20	20	0	12	12	20	1	10	11
博士課程後期	9	1	12	13	9	1	8	9	9	1	6	7	9	1	3	4	9	1	5	6
事業構想学研究科	49	18	7	25	49	18	8	26	49	20	13	33	49	22	10	32	49	16	6	22
博士課程前期	40	14	3	17	40	15	4	19	40	16	9	25	40	16	6	22	40	10	3	13
博士課程後期	9	4	4	8	9	3	4	7	9	4	4	8	9	6	4	10	9	6	3	9
食産業学研究科	35	7	16	23	35	11	15	26	35	13	19	32	35	16	20	36	35	17	24	41
博士課程前期	26	5	10	15	26	9	9	18	26	8	13	21	26	12	18	30	26	12	24	36
博士課程後期	9	2	6	8	9	2	6	8	9	5	6	11	9	4	2	6	9	5	0	5
合 計	113	30	50	80	113	35	47	82	113	38	54	92	113	39	45	84	113	35	45	80

(3)教育実施体制等

ロ 教員・教員組織

①専任教員

(単位：人)

(過年度/新年度の状況)	R2					R3					R4					R5					R6					前年度との差												
	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	副学長	教授	准教授		講師	助教	助手									
	看護学群	46	1	13	9	5	15	3	48	1	13	9	10	12	7	13	4	47	1	10	12	7	13	4	48		1	11	13	7	13	3	47	0	11	11	7	14
事業構想学群	33	2	20	8	2	1	0	34	2	21	7	2	10	1	3	0	35	2	19	10	1	3	0	38	1	19	13	1	4	0	33	2	16	10	1	4	0	▲ 5
事業プランニング学類	9	0	7	0	2	0	0	9	0	7	0	2	2	1	0	0	10	0	7	2	1	0	0	11	0	8	2	1	0	0	8	0	6	1	1	0	0	0
地域創生学類	9	1	3	5	0	0	0	12	1	6	4	0	4	0	1	0	11	1	5	4	0	1	0	12	1	4	5	0	2	0	11	1	4	4	0	2	0	0
価値創造デザイン学類	15	1	10	3	0	1	0	13	1	8	3	0	4	0	2	0	14	1	7	4	0	2	0	15	0	7	6	0	2	0	14	1	6	5	0	2	0	0
食産業学群	37	1	20	6	3	7	0	40	1	23	7	3	6	2	4	0	38	1	21	10	2	4	0	37	1	21	8	3	4	0	37	3	19	9	3	3	0	0
生物生産学類 (食資源開発学類)	20	0	12	2	3	3	0	22	0	13	4	3	2	2	1	0	21	0	12	6	2	1	0	21	0	12	6	2	1	0	22	1	11	6	2	2	0	0
フードマネジメント学類	17	1	8	4	0	4	0	18	1	10	3	0	4	0	3	0	17	1	9	4	0	3	0	16	1	9	2	1	3	0	15	2	8	3	1	1	0	0
基礎教育群	15	0	6	6	2	1	0	14	0	6	6	1	1	2	0	14	0	7	5	2	0	0	0	13	0	5	6	2	0	13	0	5	6	2	0	0	0	0
研究推進・地域未来共創センター (地域連携センター)	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合 計	132	4	59	30	12	24	3	137	4	63	30	16	21	12	20	4	135	4	57	38	12	20	4	137	3	56	41	13	21	3	131	5	51	37	13	21	4	▲ 6

※「教授」のうち副学長は「副学長」の欄にカウント

(過年度の状況)	H30					R1								
	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手
	看護学群 (学部)	48	—	17	6	6	19	—	51	1	15	9	6	19
事業構想学群 (学部)	31	—	20	8	1	2	—	34	2	21	6	3	2	0
事業計画学科	15	—	9	5	1	0	—	10	0	8	0	2	0	0
デザイン情報学科	16	—	11	3	0	2	—	7	1	2	3	1	0	0
食産業学群 (学部)	42	—	25	10	3	4	—	17	1	11	3	0	2	0
ファームビジネス学科	15	—	10	2	1	2	—	40	1	22	10	2	5	0
フードビジネス学科	14	—	8	5	1	0	—	23	0	15	3	2	3	0
環境システム学科	13	—	7	3	1	2	—	17	1	7	7	0	2	0
地域連携センター	1	—	0	1	0	0	—	1	0	0	1	0	0	0
基礎教育群/共通教育センター	15	—	6	6	2	1	—	15	0	6	6	2	1	0
合 計	137	—	68	31	12	26	—	141	4	64	32	13	27	1

(単位：人)

(過年度/新年度の状況)	R2					R3					R4					R5					R6					前年度との差								
	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手										
看護学群 (学部)	9	5	4	0	0	0	6	2	3	1	0	0	11	6	4	1	0	0	0	7	3	1	0	0	14	8	5	1	0	0	3			
看護学群 (特任教員)	2	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	0	▲1			
看護学研究科	15	10	1	4	0	0	6	4	1	1	0	0	18	10	5	2	1	0	0	5	2	2	0	0	10	4	3	3	0	0	1			
事業構想学群 (学部)	65	38	19	8	0	0	56	30	14	12	0	0	106	52	23	23	8	0	0	69	17	29	8	0	157	84	40	33	0	0	34			
事業プランニング学類	22	10	7	5	0	0	16	6	5	5	0	0	33	14	8	7	4	0	0	15	7	2	0	0	35	18	9	8	0	0	11			
地域創生学類	18	12	5	1	0	0	25	17	4	4	0	0	38	17	9	10	2	0	0	36	9	21	0	0	83	44	20	19	0	0	17			
価値創造デザイン学類	25	16	7	2	0	0	15	7	5	3	0	0	35	21	6	6	2	0	0	18	1	6	8	0	39	22	11	6	0	0	6			
(事業計画学科)																																		
(デザイン情報学科)																																		
事業構想学群 (特任教員)	3	0	3	0	0	0	3	0	2	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0		
事業構想学研究科	35	20	12	3	0	0	12	5	5	2	0	0	25	8	8	9	0	0	8	2	2	0	0	0	15	10	3	2	0	0	3			
食産業学群 (学部)	57	46	10	1	0	0	8	2	5	1	0	0	27	17	7	3	0	0	43	23	14	6	0	0	46	22	16	8	0	0	3			
食資源開発学類	24	15	8	1	0	0	5	2	2	1	0	0	7	3	3	1	0	0	4	1	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	▲3			
フードマネジメント学類	33	31	2	0	0	0	3	0	3	0	0	0	20	14	4	2	0	0	33	21	9	3	0	0	32	19	10	3	0	0	▲1			
生物生産																																		
(フードビジネス学科)																																		
(フードビジネス学科)																																		
(環境システム学科)																																		
食産業学群 (特任教員)	3	1	0	2	0	0	3	1	1	1	0	0	4	2	1	1	0	0	7	3	1	2	1	0	9	6	2	1	0	0	2			
食産業学研究科	12	11	0	1	0	0	3	3	0	0	0	0	6	5	1	0	0	0	9	8	0	1	0	0	8	7	0	1	0	0	▲1			
基礎教育群	28	11	4	13	0	0	23	8	1	14	0	0	20	6	1	13	0	0	20	7	2	11	0	0	22	7	2	13	0	0	2			
基礎教育群 (特任教員)	2	1	0	1	0	0	3	2	0	0	1	0	2	1	0	1	0	0	5	1	1	1	0	0	4	0	1	0	3	0	▲1			
合計	231	144	53	34	0	0	124	58	32	33	1	0	223	108	50	54	11	0	244	132	42	55	15	0	289	149	73	64	3	0	45			

(過年度の状況)	H30					R1						
	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手
看護学群 (学部)	11	9	1	1	0	0	15	9	2	4	0	0
看護学科	4	3	0	1	0	0						
看護学類	7	6	1	(1)	0	0						
看護学群 (特任教員)							3	2	1	0	0	0
看護学研究科												
事業構想学群 (学部)	48	22	23	3	0	0	44	26	10	8	0	0
事業プランニング学類	0	0	0	0	0	0	8	3	0	5	0	0
地域創生学類	0	0	0	0	0	0	15	11	2	2	0	0
価値創造デザイン学類	1	1	0	0	0	0	8	5	3	0	0	0
事業計画学科	29	11	16	2	0	0	11	6	4	1	0	0
デザイン情報学科	19	11	7	1	0	0	2	1	1	0	0	0
事業構想学群 (特任教員)							4	1	3	0	0	0
事業構想学研究科												
食産業学群 (学部)	14	11	3	0	0	0	52	42	10	0	0	0
食資源開発学類	0	0	0	0	0	0	20	13	7	0	0	0
フードマネジメント学類	0	0	0	0	0	0	26	24	2	0	0	0
生物生産												
フードビジネス学科	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
フードビジネス学科	6	5	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
環境システム学科	5	3	2	0	0	0	5	4	1	0	0	0
食産業学群 (特任教員)							4	2	0	2	0	0
食産業学研究科							6	6	0	0	0	0
基礎教育群/共通教育センター	13	5	0	8	0	0	15	5	0	10	0	0
基礎教育群 (特任教員)							2	1	0	1	0	0
合計	86	47	27	12	0	0	185	121	31	33	0	0

③専任教員の担当科目比率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備 考
専任教員の担当科目比率 (学士課程開設科目中・学部科目)	87.5%	90.9%	-	-	-	-	2017年の学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎え、学部として開講する科目が無くなったため
専任教員の担当科目比率 (学士課程開設科目中・学群科目)	92.8%	92.9%	90.8%	91.3%	89.7%	88.8%	科目数 基盤:69 看護:94 事業:86 食産:143

④教員採用時の公募制実施率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備 考
教員採用時の公募制実施率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

⑤教員選考時のプレゼンテーション実施率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備 考
教員採用時のプレゼンテーション実施率	66.7%	83.3%	75.0%	61.5%	78.6%	62.5%	

助教・助手除く 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0% 100.0%

⑥教員比率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備 考
看護学群 (学部)	22.9%	21.6%	21.7%	25.5%	22.9%	27.7%	
看護学専門の男性教員率							
事業構想学群 (学部)	3.2%	2.9%	0.0%	2.7%	2.6%	2.9%	
女性教員率							
食産業学群 (学部)	14.0%	14.6%	16.2%	23.6%	24.3%	24.3%	
女性教員率							
基盤教育群	33.3%	33.3%	33.3%	35.7%	35.7%	38.5%	
女性教員率							

⑦授業評価の科目実施率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学計	73.8%	73.1%	87.9%	90.0%	87.5%	89.3%	
学部	60.4%	27.1%	-	-	-	-	2017年の学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎え、学部として開講する科目が無くなったため
学群	96.7%	88.9%	87.9%	90.0%	87.7%	89.3%	科目数 基盤:91 看護:90 事業構想:174 食産業:132
大学院	-	-	-	-	-	-	

※授業評価の科目実施率とは、全開講科目のうち授業評価アンケートを実施した科目の占める割合を表す。

⑧対象科目に係る授業評価の実施率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
学部	100.0%	100.0%	-	-	-	-	2017年に学部改組により学群・学類制に移行しており、2020年に完成年度を迎え、学部として開講する科目が無くなったため
学群	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	科目数 基盤:81 看護:76 事業構想:158 食産業:120

※対象科目とは、履修者（実際に授業に出席している者）が5名未満の科目または実習形式の科目等、授業評価の実施が不適當な科目を除いて、授業評価アンケートの実施対象となる科目を表す。

※対象科目に係る授業評価の実施率は、上記の定義による対象科目のうち授業評価アンケートを実施した科目の占める割合を表す。

⑨学生の授業評価の回答率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
学群（学部）	31.7%	94.8%	95.7%	97.5%	98.2%	95.8%	回答数33425/34899

※学生の授業評価の回答率は、授業評価アンケートを実施した科目の総履修者数（延べ人数）のうち、授業評価アンケートに回答した人数（科目ごとの回答者の延べ人数）の占める割合を表す。

※H28以降は紙媒体からウェブ上での授業評価アンケート実施に移行。

⑩教員のFD参加率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
教員のFD参加率	97.7%	97.8%	83.5%	94.2%	85.7%	87.0%	参加数 120/138

(4) 学生支援の状況

イ 学修・生活支援

① 学生の休学率・退学率

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
休学率	大学計	2.2%	2.5%	2.5%	1.8%	3.0%	4.2%
	学部	1.9%	2.3%	1.7%	1.7%	3.0%	3.8%
	大学院	6.2%	6.2%	14.2%	4.4%	2.7%	11.5%
退学率	大学計	1.3%	1.0%	0.6%	1.6%	1.1%	1.8%
	学部	1.1%	0.7%	0.5%	1.3%	0.7%	1.6%
	大学院	5.3%	5.3%	1.7%	7.1%	6.2%	5.3%

※休学率＝休学者数÷収容定員×100 小数点以下第2位を四捨五入

※退学率＝退学者数÷収容定員×100 小数点以下第2位を四捨五入

② 生活支援

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
学生相談室への相談件数 (件)	1,138	1,630	1,230	2,311	2,446	2,268	

※相談件数は、延べ件数

③ 経済的支援 (奨学金受入)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
対象件数 (件)	835	862	1091	1079	1023	990	
支給対象学生数 (人)	835	862	1091	1079	797	778	
支給総額 (千円)	-	-	-	-	-	-	

※日本学生支援機構の奨学金対象者のみ記載。

④経済的支援（授業料減免）

修学支援新制度 支援区分	補填の有無	本学独自制度	備考		2018	2019	2020	2021	2022	2023
第Ⅰ区分				人数(人)			221	266	262	257
				金額(千円)			59,206	71,262	70,190	68,850
第Ⅱ区分	補填なし			人数(人)			88	89	85	91
				金額(千円)			15,717	15,896	15,181	16,253
	補填あり	経済減免	全額減免	人数(人)			11	7	0	2
				金額(千円)			2,947	1,876	0	536
				うち修学支援			1,965	1,251	0	357
				うち本学独自			982	625	0	179
				人数(人)			5	5	3	0
				金額(千円)			1,340	1,340	804	0
	震災減免	全額減免	人数(人)			893	893	536	0	
			金額(千円)			447	447	268	0	
うち修学支援										
うち本学独自										
第Ⅲ区分	補填なし			人数(人)			55	65	70	63
				金額(千円)			4,912	5,805	6,251	5,626
	補填あり	経済減免	全額減免	人数(人)			2	1	0	0
				金額(千円)			536	268	0	0
				うち修学支援			179	89	0	0
				うち本学独自			357	179	0	0
				人数(人)			14	8	1	0
				金額(千円)			1,876	1,072	134	0
		震災減免	全額減免	人数(人)			1,251	715	89	0
				金額(千円)			625	357	45	0
うち修学支援										
うち本学独自										
人数(人)						7	5	5	5	
金額(千円)						1,876	1,340	1,340	1,340	
緊急減免	半額減免	人数(人)			625	447	447	447		
		金額(千円)			1,251	893	893	893		
		うち修学支援								
		うち本学独自								
		人数(人)			2	2	1	2		
		金額(千円)			268	268	134	268		
不採用・支援停止	補填あり	経済減免	全額減免	人数(人)			0	0	1	0
				金額(千円)			0	0	268	0
				人数(人)			2	1	0	0
				金額(千円)			268	134	0	0
				人数(人)			3	0	2	0
				金額(千円)			804	0	536	0
家計急変者	補填なし	経済減免	半額減免	人数(人)			5	1	0	0
				金額(千円)			670	134	0	0
				人数(人)						
				金額(千円)						
				人数(人)						
				金額(千円)						
途中休学	補填なし			人数(人)			0	1	0	0
				金額(千円)			0	134	0	0
	補填あり	経済減免	全額減免	人数(人)			0	1	0	0
				金額(千円)			0	268	0	0
うち修学支援						0	89	0	0	
うち本学独自						0	179	0	0	
申請なし	経済減免	全額減免	人数(人)	40	30	6	5	6	3	
			金額(千円)	10,716	8,037	1,608	1,340	1,607	804	
			人数(人)	144	158	42	31	20	15	
			金額(千円)	19,288	21,164	5,626	4,153	2,679	2,009	
		震災減免	全額減免	人数(人)	166	169	146	122	105	92
				金額(千円)	44,471	45,275	39,114	32,684	28,130	24,647
			半額減免	人数(人)	145	131	129	109	79	81
				金額(千円)	19,221	17,446	17,280	14,601	10,582	10,850
	緊急減免	前期充当あり	人数(人)			11				
			金額(千円)			1,474				
			人数(人)			2				
		前期充当なし	金額(千円)			134				

【補足】

- ・人数、金額ともに前期後期の合計
- ・2020年度から修学支援新制度が施行された。本学独自の減免制度（経済減免、震災減免）と併せて申請が可能であり、最終的な減免額はいずれか大きい減免額の値となる（修学支援新制度による減免額に補填する形）
- （例：修学支援新制度にて2/3減免、震災減免にて全額減免の場合、最終的な減免額は全額減免となる。この場合、修学支援新制度にて2/3減免し、残り1/3を震災減免にて補填する）
- ・緊急減免は令和2年度のみ実施された制度

①卒業生就職率（学群）（100%/年）【指標】

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
学群（部）計	100.0%	99.7%	98.0%	97.9%	99.5%	100.0%	
看護学群（部）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
事業構想学群（部）	100.0%	99.4%	95.9%	96.2%	98.9%	100.0%	
事業プランニング学類			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
地域創生学類			100.0%	96.4%	98.2%	100.0%	
価値創造デザイン学類			89.6%	93.0%	98.6%	100.0%	
食産業学群（部）	100.0%	100.0%	100.0%	99.1%	100.0%	100.0%	
食資源開発学類			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
フードマネジメント学類			100.0%	98.3%	100.0%	100.0%	

※就職率＝就職者数÷就職希望者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

②卒業生に対する就職者の割合（学群）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
学群（部）計	95.3%	89.8%	90.5%	86.2%	90.0%	90.1%	
看護学群（部）	98.9%	91.0%	92.0%	90.1%	93.8%	89.8%	
事業構想学群（部）	94.2%	89.1%	92.2%	86.1%	92.9%	90.7%	
事業プランニング学類			96.8%	90.9%	94.8%	95.6%	
地域創生学類			96.7%	86.9%	91.8%	91.5%	
価値創造デザイン学類			85.2%	81.5%	92.4%	85.7%	
食産業学群（部）	95.4%	90.1%	86.6%	83.5%	82.3%	89.5%	
食資源開発学類			84.2%	78.7%	77.6%	84.2%	
フードマネジメント学類			88.7%	87.9%	86.4%	94.0%	

※卒業生（進学者・家業従事・家事手伝い等就職を希望しない卒業生を含む）に対する就職者の割合＝就職者数÷卒業生数×100 小数点以下第2位を四捨五入

③卒業生に対する進学者の割合（学群）

学群（部）計	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
看護学群（部）	2.1%	5.5%	6.4%	6.8%	6.0%	5.9%	
事業構想学群（部）	1.1%	7.0%	8.0%	7.7%	5.2%	8.2%	
事業構想学群（部）	2.4%	3.0%	2.9%	3.8%	1.5%	4.4%	
事業計画学科	0.0%	1.9%					
デザイン情報学科	4.9%	4.3%					
事業プランニング学類			1.6%	1.5%	0.0%	1.5%	
地域創生学類			1.6%	1.6%	1.6%	1.7%	
価値創造デザイン学類			4.9%	7.4%	2.5%	9.1%	
食産業学群（部）	3.8%	8.4%	10.9%	11.0%	13.7%	6.5%	
フードビジネス学科	8.5%	13.6%					
フードビジネス学科	1.9%	2.0%					
環境システム学科	0.0%	10.8%					
食資源開発学類			14.0%	16.4%	17.2%	8.8%	
フードマネジメント学類			8.0%	6.1%	10.6%	4.5%	

※卒業生に対する進学者の割合＝大学院等進学者数÷卒業生数×100 小数点以下第2位を四捨五入

④県内就職者比率（学群）

学群（部）計	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
看護学群（部）	55.1%	45.8%	47.0%	50.7%	51.5%	47.1%	
事業構想学群（部）	65.6%	70.3%	59.8%	69.5%	76.9%	69.3%	
事業構想学群（部）	56.7%	51.1%	51.6%	49.4%	50.0%	43.8%	
事業計画学科	58.7%	48.4%					
デザイン情報学科	54.4%	54.1%					
事業プランニング学類			48.3%	46.7%	40.0%	41.5%	
地域創生学類			52.5%	60.4%	58.9%	42.6%	
価値創造デザイン学類			53.6%	43.1%	50.7%	47.0%	
食産業学群（部）	45.2%	18.6%	27.2%	38.7%	31.4%	35.1%	
フードビジネス学科	46.5%	11.1%					
フードビジネス学科	36.0%	18.4%					
環境システム学科	58.1%	27.3%					
食資源開発学類			20.8%	41.7%	31.1%	54.2%	
フードマネジメント学類			32.7%	36.2%	31.6%	20.6%	

※県内就職者比率＝県内就職者数÷就職者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑤ 国家資格試験合格率（看護師・保健師）（100%/年）【指標】

年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
看護師	宮城大学	98.9%	98.9%	100.0%	98.9%	99.0%	100.0%	
	全国平均	94.7%	94.7%	95.4%	96.5%	95.5%	93.2%	
保健師	宮城大学	97.5%	100.0%	100.0%	92.7%	100.0%	100.0%	
	全国平均	88.1%	96.3%	97.4%	93.0%	96.8%	97.7%	

※全国平均は厚生労働省発表新卒者値を記載。

⑥ 各種免許資格取得者数（養護教諭（一種））（単位：人）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
養護教諭（一種）	26	20	12	12	8	15	

⑦ 就職支援

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学主催の合同企業等説明会の開催数（件）	3	3	2	2	2	2	
インターンシップ参加率（事業構想学群）	20.9%	31.0%	9.4%	20.8%	11.9%	29.3%	

⑧就職率（大学院）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学院計							
看護学研究科	88.2%	100.0%	75.0%	71.4%	83.3%	94.1%	
博士課程前期	100.0%	-	-	100.0%	-	100.0%	
博士課程後期	-	-	-	-	-	-	
事業構想学研究科	71.4%	100.0%	33.3%	50.0%	50.0%	50.0%	
博士課程前期	71.4%	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
博士課程後期	-	-	100.0%	-	-	-	
食産業学研究科	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
博士課程前期	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
博士課程後期	-	-	-	-	-	-	

※就職率＝就職者数÷就職希望者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑨修了者に対する就職者の割合（大学院）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学院計							
看護学研究科	41.2%	25.0%	26.1%	27.0%	37.0%	55.2%	
博士課程前期	11.1%	0.0%	0.0%	5.9%	-	16.7%	
博士課程後期	11.1%	0.0%	0.0%	7.1%	-	20.0%	
事業構想学研究科	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	
博士課程前期	31.3%	30.0%	11.1%	36.4%	14.3%	16.7%	
博士課程後期	38.5%	33.3%	0.0%	40.0%	16.7%	20.0%	
食産業学研究科	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	-	-	
博士課程前期	100.0%	66.7%	71.4%	55.6%	72.7%	82.4%	
博士課程後期	100.0%	66.7%	71.4%	71.4%	80.0%	82.4%	
博士課程後期	-	-	-	0.0%	-	-	

※修了者（進学者・家業従事・家事手伝い等就職を希望しない修了者を含む）に対する就職者の割合＝就職者数÷修了者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

⑩県内就職者比率（大学院）

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学院計	40.0%	28.6%	16.7%	40.0%	20.0%	50.0%	
看護学研究科	100.0%	-	-	100.0%	-	100.0%	
博士課程前期	100.0%	-	-	100.0%	-	100.0%	
博士課程後期	-	-	-	-	-	-	
事業構想学研究科	40.0%	66.7%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	
博士課程前期	40.0%	66.7%	-	50.0%	50.0%	50.0%	
博士課程後期	-	-	0.0%	-	-	-	
食産業学研究科	33.3%	0.0%	20.0%	20.0%	12.5%	42.9%	
博士課程前期	33.3%	0.0%	20.0%	20.0%	12.5%	42.9%	
博士課程後期	-	-	-	-	-	-	

※県内就職者比率＝県内就職者数÷就職者数×100 小数点以下第2位を四捨五入

2 研究

(1) 研究水準（研究成果）の状況及び教員一人あたりの研究成果発表件数(2件/年 令和8年度)【指標】 (単位：件)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
国際ジャーナル論文掲載数							
看護学群	7	6	10	14	14	19	
事業構想学群	10	1	5	5	10	11	
食産業学群	17	12	39	44	16	16	
基盤教育群	1	0	1	1	1	5	
研究推進・地域未来共創センター	-	-	-	1	3	0	
論文誌（全国）論文掲載数							
看護学群	22	24	36	23	14	21	
事業構想学群	17	26	11	28	25	13	
食産業学群	25	29	33	31	8	13	
基盤教育群	1	1	2	2	4	1	
研究推進・地域未来共創センター	-	-	-	0	1	0	
学術専門図書館刊行数							
看護学群	17	7	5	16	10	6	
事業構想学群	5	6	8	9	5	5	
食産業学群	6	7	3	10	5	8	
基盤教育群	3	3	1	0	5	1	
研究推進・地域未来共創センター	-	-	-	0	0	0	
機関リポジトリへの論文登録数							
看護学群				27	1	12	
事業構想学群				15	29	12	
食産業学群				7	8	11	
基盤教育群				0	0	1	
研究推進・地域未来共創センター				0	0	0	

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備	考
プレスリリース件数								
看護学群				10	13	8		
事業構想学群				25	24	162		
食産業学群				4	7	22		
基盤教育群				0	0	0		
研究推進・地域未来共創センター				1	1	1		
制作作品発表数								
看護学群				0	0	0		
事業構想学群				10	11	11		
食産業学群				0	0	0		
基盤教育群				0	0	0		
研究推進・地域未来共創センター				0	0	0		
取得特許数								
事業構想学群	0	0	0	0	0	1		
食産業学群	3	0	1	0	1	1		
合計				283	216	361		
教員一人あたりの研究成果発表件数				2.1	1.6	2.7		

※教員一人あたりの研究成果発表件数は、当該年度の「研究成果件数」を「教員数」で除した値

(2) 外部研究資金の受入状況【指標】

(単位：件、円)

		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
受託研究	件数	18	21	20	19	27	25	
	うち宮城県及び隣県東北地域	5	4	7	4	8	4	
	金額	73,742,140	65,238,000	59,256,600	49,940,138	106,157,750	129,212,000	
	教員1人当たり金額	522,994	498,000	452,340	361,885	792,222	943,153	
共同研究	件数	12	17	18	22	22	24	
	うち宮城県及び隣県東北地域	4	5	4	9	5	6	
	金額	12,038,000	12,426,500	12,707,298	17,448,778	19,980,000	25,350,000	
	教員1人当たり金額	85,376	94,858	97,002	126,440	149,104	185,036	
補助金	件数	2	3	4	3	4	5	
	うち宮城県及び隣県東北地域	0	0	0	0	0	1	
	金額	2,290,000	21,954,000	16,386,000	13,017,000	18,343,000	19,520,200	
	教員1人当たり金額	16,241	167,588	125,084	94,326	136,888	142,483	
奨学寄附金	件数	12	15	13	20	16	12	
	うち宮城県及び隣県東北地域	1	0	1	1	1	2	
	金額	12,465,000	15,785,000	12,222,500	24,030,650	16,570,000	8,880,000	
	教員1人当たり金額	88,404	120,496	93,302	174,135	123,657	64,818	
科学研究費補助金	件数	72	89	86	111	108	111	
	金額	68,685,865	91,664,291	57,868,095	71,261,483	54,622,162	74,522,322	
	教員1人当たり金額	487,134	699,727	441,741	516,388	407,628	543,959	
その他助成金	件数	1	0	0	0	0	0	
	うち宮城県及び隣県東北地域	1	0	0	0	0	0	
	金額	200,000	0	0	0	0	0	
	教員1人当たり金額	1,418	0	0	0	0	0	
合計	件数	117	145	141	175	177	177	
	うち宮城県及び隣県東北地域	11	9	12	14	14	13	
	金額	169,421,005	207,067,791	158,440,493	175,698,049	215,672,912	257,484,522	
	教員1人当たり金額	1,201,567	1,580,670	1,209,469	1,273,174	1,609,499	1,879,449	

(3) 科学研究費補助金の応募・採択状況

申請年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
新規採択応募件数		84	69	69	74	76	75	
新規応募者率 (講師以上の教員)		66.7%	57.5%	50.5%	52.7%	50.0%	50.0%	
新規採択件数		17	9	14	9	15	15	
新規採択者率 (講師以上の教員)		14.3%	8.9%	20.0%	13.8%	21.4%	20.0%	

※令和5年度新規採択件数・採択率は令和6年4月1日時点。一部の研究種目については、令和6年7月以降に審査結果が通知される。

(4) 外部教育資金の受入状況

申請年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
受託事業	件数	3	1	1	1	3	2	
	金額	6,117,458	4,905,600	4,173,143	3,827,004	52,457,359	4,287,500	
補助金	件数	4	4	3	2	2	2	
	金額	45,865,217	44,072,468	47,513,557	7,425,700	13,104,149	7,195,560	
合計	件数	7	5	4	3	5	4	
	金額	51,982,675	48,978,368	51,686,700	11,252,704	65,561,508	11,483,060	

(5) 奨学寄附金等の受入状況

申請年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
ネクストリーダーズ基金	金額	-	5,731,000	3,875,519	3,378,490	3,156,498	548,730	

(6) 外部資金獲得総額 ((2), (4), (5)の合計)

申請年度		2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
合計	金額	221,403,680	272,217,159	214,002,712	190,329,243	284,390,918	269,516,312	
	教員1人当たり金額	1,570,239	2,077,996	1,633,608	1,379,197	2,122,320	1,967,272	

3 教育研究等環境の整備

(1) 蔵書数

(単位：冊)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
蔵書数 (学生1人当たり)	104.8	106.3	106.6	107.6	107.1	107.3	

(2) 図書館への入館者数 (利用者数)

2023

(単位：人)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
入館者数 (利用者数)	90,182	89,631	10,988	30,952	39,917	41,906	

(3) 図書の館外貸出冊数

(単位：冊)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
館外貸出冊数	17,897	14,915	13,997	5,262	10,267	7,381	

※視聴覚資料については含めず。

第2 地域貢献等に関する数値

1 地域貢献

(1) 公開講座等の開催【指標】

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
延べ開催数計 (企画)	53	54	25	38	44	44	※公開講座とシンポジウム等延べ開催数(企画)を合算したもの
公開講座							
テーマ件数 (件)	34	30	12	22	23	23	オンライン企画テーマ数8件、看護企画テーマ数1件、事業企画テーマ数1件、食産企画テーマ数1件、基盤企画テーマ数1件、看護人材企画テーマ数5件、連携自治体等(大崎市)企画テーマ数6件
開催箇所 (箇所)	51	53	21	38	40	41	オンライン8箇所・企画、看護1箇所・企画、事業1箇所・企画、食産3箇所・企画、基盤7箇所・企画、看護人材15箇所・企画、連携自治体等(大崎市)6箇所・企画
延べ開催数 (企画)	51	53	21	38	40	41	
延べ受講者数 (人)	1,456	1,406	1,968	7,787	9,490	7,265	オンライン再生回数6,271回(※再生回数1回を参加者数1とカウント)、看護企画103人、事業企画25人、食産企画121人、基盤企画149人、看護人材企画483人、連携自治体等(大崎市)企画113人
シンポジウム等							
テーマ件数 (件)	2	1	3	4	4	3	フォーラム1件、シンポジウム1件、セミナー1件
開催箇所 (箇所)	2	1	4	4	4	3	フォーラム1箇所・企画、シンポジウム1箇所・企画、セミナー1箇所・企画
延べ開催数 (企画)	2	1	4	4	4	3	
延べ受講者数 (人)	86	29	121	336	293	243	フォーラム190人、シンポジウム44人、セミナー9人

(2) 単位互換授業の状況

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
単位互換授業							
派遣人数 (人)	11	34	6	23	19	18	
提供科目数 (科目)	197	270	196	206	207	281	

(3) 連携協定等

(単位：件)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
試験研究機関との連携協定数 (食産業学研究科)	0	0	0	0	0	0	
市町村との連携協定数	14	14	14	14	15	14	①大崎市 ②気仙沼市 ③白石市 ④南三陸町 ⑤仙台市(泉区他大学等5機関) ⑥加美町 ⑦美里町 ⑧福島県下郷町 ⑨大和町 ⑩利府町 ⑪角田市 ⑫富谷市 ⑬蔵王町 ⑭栗原市
公的機関等との連携協定数	13	14	14	17	15	19	①宮城県及び県内他大学等9機関 ②宮城県 ③宮城県中小企業団体中央会 ④㈱ホントランド ⑤宮城県教育委員会 ⑥泉パークタウン仙台支店 ⑦仙台商工会議所 ⑧日本政策金融公庫仙台支店 ⑨宮城県食品産業協議会 ⑩東北医科薬科大学 ⑪宮城県食品産業協議会 ⑫宮城県議会 ⑬宮城交通㈱ ⑭国立研究開発法人水産研究・教育機構 ⑮三菱地所㈱ ⑯独立行政法人地域医療機能推進機構 ⑰仙台市社会福祉法人仙台市社会福祉協議会 ⑱宮城県信用保証協会

(4) 市町村等の各種委員・講師の派遣件数 (300件/年) 【指標】

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
派遣件数				414	680	718	

※当該年度の「兼業許可(知識提供)」の件数

(5) 市町村や企業等との連携事業・受託事業数 (17事業/年 令和8年度) 【指標】

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
合計	11	13	8	20	26	24	
市町村	5	5	2	7	12	10	(令和5年度受託事業)：①仙台市産業振興事業団 ②仙台市消防局 ③仙台市女性防火クラブ連絡協議会 ④柴田町 ⑤塩竈市 ⑥大崎市 ⑦富谷市 (令和5年度連携事業)：⑧大崎市 ⑨仙台市泉区(1件)
企業等	6	8	6	13	14	14	(令和5年度受託事業)：①河川財団 ②宮城県教育庁 ③東北電力 ④⑤⑥KCみやぎ(3件) ⑦COOP ⑧7ツキ-レンゾボックス ⑨NTT東日本 (令和5年度連携事業)：⑩上山製紙㈱ほか ⑪水産研究・教育機構 ⑫三菱地所㈱ ⑬とうほうくプロコム事務局ほか ⑭㈱DeNA

2 国際交流

(1) 協定締結数

(単位：校)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
大学間国際交流協定締結数	10	10	13	13	15	14	

(2) 外国人留学生数

(単位：人)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
外国人留学生数	33	30	29	22	16	11	学群、大学院生（研究生等除く）
中国	18	21	20	13	8	6	
韓国	2	1	1	2	2	2	
ベトナム	4	4	4	4	4	2	
モンゴル	2	1	1	1	1		
ルワンダ	1						
台湾	1	1	1	1	1		
マレーシア	2	2	1				
ブルキナファソ	1						
セネガル	2						
インドネシア			1	1			
フィンランド						1	

国別内訳

(3)海外派遣学生枠 (200人/年 令和8年度) 【指標】

(単位：人)

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
年度計				52 (13)	62 (28)	80 (32)	
国際センタープログラム (長期：3か月以上)				8 (0)	8 (0)	16 (4)	
国際センタープログラム (短期：3か月以下)				39 (7)	49 (21)	49 (17)	※オンラインプログラム含む
学群・研究科プログラム				5 (6)	5 (7)	15 (11)	※オンラインプログラム含む

※各項目下段のカッコ書きは参加者数

第3 業務運営の改善及び効率化に関する数値

1 人事の適性化

(1)職員（教員を除く）及び非常勤職員等の状況（各年度5月1日現在）

（単位：件）

年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	備考
正職員 (a)	64	62	62	62	62	68	
	11	10	10	9	11	12	
	53	52	52	53	51	56	
	82.8%	83.9%	83.9%	85.5%	82.3%	82.4%	
有期雇用職員等 (c)	54	53	54	40	40	36	
第一種有期雇用職員	22	21	22	18	17	17	業務限定職員2人含む
第二種有期雇用職員	32	32	32	22	23	19	業務限定職員1人含む
合計(a+c)	118	115	116	102	102	104	

第4 その他業務運営に関する数値

1 安全管理

(1) 個人情報漏洩事故件数 (0件/年) [指標]

(単位：件)

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	備考
個人情報漏洩事故件数				0	0	0	

第5 県の規則で定める常務運営に関する数値

1 施設整備に関する計画

(1) 土地

(単位：㎡、円)

区分	所在地	前年度末 現在高	当該年度中増減高		決算年度末 現在高	価 格	備 考
			増	減			
大和キャンパス	黒川郡大和町学苑	200,884.00	0.00	0.00	200,884.00	2,556,313,800	
教員宿舎	仙台市泉区高森	7,448.62	0.00	0.00	7,448.62	455,855,544	
太白キャンパス	仙台市太白区旗立	164,585.00	0.00	0.00	164,585.00	1,394,034,950	
坪沼農場	仙台市太白区坪沼	326,885.66	0.00	0.00	326,885.66	224,461,357	
計		699,803.28	0.00	0.00	699,803.28	4,630,665,651	

(2) 建物

(単位：㎡(延床面積)、円)

区分	所在地	前年度末 現在高	当該年度中増減高		決算年度末 現在高	価 格	備 考
			増	減			
大和キャンパス	黒川郡大和町学苑	40,748.58	0.00	0.00	42,480.61	4,236,677,135	令和5年度減価償却費 235,485,228円
教員宿舎	仙台市泉区高森	3,303.46	0.00	0.00	3,303.46	217,178,050	令和5年度減価償却費 11,493,600円
太白キャンパス	仙台市太白区旗立	23,102.11	0.00	0.00	23,102.11	915,344,217	令和5年度減価償却費 47,084,319円
坪沼農場	仙台市太白区坪沼	2,853.10	0.00	0.00	2,853.10	10,353,249	令和5年度減価償却費 2,390,664円
計		70,007.25	0.00	0.00	71,739.28	5,379,552,651	

【当該年度中増減があった内容】

(単位：㎡(延床面積))

所在地	名 称	構 造	前年度末 現在高	当該年度中 増減高	決算年度末 現在高	増 減 理 由
黒川郡大和町学苑	令和5年度大和C給湯配管類更新、厨房除害設備設備更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (5,275,768円)
黒川郡大和町学苑	令和4年度大和C機械設備修繕工事業実施設計業務・大和C給湯配管分		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (320,612円)
黒川郡大和町学苑	令和5年度大和Cキュービクル更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (12,947,000円)
黒川郡大和町学苑	令和5年度大和Cキュービクル更新工事 (追加分)		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (322,300円)
黒川郡大和町学苑	令和4年度大和C電気設備更新工事業実施設計業務・キュービクル分		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (1,030,972円)
黒川郡大和町学苑	令和5年度大和C空調設備修繕工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (1,408,472円)
黒川郡大和町学苑	令和4年度大和C機械設備修繕工事業実施設計業務・大和C空調分		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (88,354円)
黒川郡大和町学苑	令和5年度大和Cアリアーナ棟放送設備更新工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (11,880,000円)
黒川郡大和町学苑	令和5年度大和C空調設備修繕工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (17,065,945円)
黒川郡大和町学苑	令和4年度大和C機械設備修繕工事業実施設計業務・大和C空調分		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (1,070,557円)

所在地	名称	構造	前年度末 現在高	当該年度中 増減高	決算年度末 現在高	増減理由
黒川郡大和町学苑	令和4年度大和C電気設備更新工事実施設計業務・放送設備分		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (923,028円)
仙台市太白区旗立	令和5年度太白C南研究棟空調設備改修工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (111,615,507円)
仙台市太白区旗立	令和5年度太白C南研究棟空調設備改修工事 (追加分)		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (1,502,919円)
仙台市太白区旗立	令和5年度太白C南研究棟空調設備改修工事・設計費		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (4,685,003円)
仙台市太白区旗立	令和5年度太白C食品加工棟改修工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (22,032,000円)
仙台市太白区旗立	令和5年度太白C食品加工棟改修工事		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (12,101,000円)
仙台市太白区旗立	令和5年度太白C食品加工棟改修工事・設計費		0.00	0.00	0.00	建物価値の増加 (2,145,000円)

Ⅱ 法人が策定した指針・計画等

令和5年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
1	令和5年度科目担当教員配置	189	令和4年8月31日	—	—	策定
2	公立大学法人宮城大学基本規則	189 198	令和4年8月31日 令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
3	公立大学法人宮城大学学長の選考、任期、解任及び業務執行状況の確認に関する規程	190	令和4年9月2日	令和5年4月1日	—	一部改正
4	公立大学法人宮城大学学長選考会議運営規程	190	令和4年9月2日	令和5年4月1日	—	一部改正
5	令和5年度年度計画基本方針	193	令和4年11月30日	—	—	策定
6	令和5年度予算編成基本方針	193	令和4年11月30日	—	—	策定
7	令和5年度当初予算原案	196	令和5年2月22日	—	—	策定
8	看護学群カリキュラムポリシー	196	令和5年2月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
9	事業構想学研究科ポリシー	196	令和5年2月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
10	宮城大学学則	196	令和5年2月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
11	宮城大学履修規程	196	令和5年2月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
12	宮城大学大学院学則	196	令和5年2月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
13	宮城大学事業構想学研究科履修規程	196	令和5年2月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
14	宮城大学授業料の納付期日の特例に関する規程	196	令和5年2月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
15	公立大学法人宮城大学業務方法書	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	令和5年4月1日	一部改正
16	公立大学法人宮城大学評価委員会運営規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
17	公立大学法人宮城大学広報委員会運営規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
18	公立大学法人宮城大学事務決裁規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
19	公立大学法人宮城大学文書規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
20	宮城大学学群長選考規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
21	宮城大学研究科長選考規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
22	公立大学法人宮城大学連携講座等規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
23	公立大学法人宮城大学研究委員会運営規程	198 208	令和5年3月22日 令和6年2月28日	令和5年4月1日 令和6年2月28日	—	一部改正
24	公立大学法人宮城大学発明等取扱規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
25	公立大学法人宮城大学における研究倫理の保持並びに研究活動上の不正行為及び研究費の不正使用の防止等に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
26	公立大学法人宮城大学客員研究員規程	198 208	令和5年3月22日 令和6年2月28日	令和5年4月1日 令和6年3月1日	—	一部改正
27	公立大学法人宮城大学研究員取扱規程	198 208	令和5年3月22日 令和6年2月28日	令和5年4月1日 令和6年3月1日	—	一部改正
28	公立大学法人宮城大学研究成果有体物取扱規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
29	役職員の軽微な交通事故等の調査及び審査要領	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
30	公立大学法人宮城大学教員人事規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
31	立大学法人宮城大学教員人事規程の特例に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正

令和5年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
32	設置申請を伴う新組織の教員採用等に関する要綱	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
33	公立大学法人宮城大学役員報酬等規程	198 206	令和5年3月22日 令和5年12月27日	令和5年4月1日 令和5年12月27日	令和5年4月1日 令和6年4月1日	一部改正
34	公立大学法人宮城大学旅費規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
35	公立大学法人宮城大学クロスアポイントメント制度に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
36	公立大学法人宮城大会計規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
37	公立大学法人宮城大学受託研究取扱規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
38	公立大学法人宮城大学奨学寄附取扱規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
39	公立大学法人宮城大学共同研究取扱規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
40	公立大学法人宮城大学競争入札委員会等規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
41	公立大学法人宮城大会計規程実施規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
42	公立大学法人宮城大学出納事務決裁規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
43	公立大学法人宮城大学ネクストリーダーズ基金管理運営規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
44	公立大学法人宮城大学研究推進・地域未来共創センター運営規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
45	公立大学法人宮城大学情報公開規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
46	公立大学法人宮城大学特定個人情報取扱規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
47	公立大学法人宮城大学危機管理規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
48	宮城大学食産業学部履修規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
49	宮城大学大学院長期履修規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
50	宮城大学転学群及び転学類に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
51	宮城大学9月修了・卒業に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
52	大学等における修学の支援に関する法律に基づく宮城大学学生納付金の減免等に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
53	公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
54	宮城大学奨学金返還免除候補者選考規程	198 208	令和5年3月22日 令和6年2月28日	令和5年4月1日 令和6年3月1日	—	一部改正 廃止
55	公立大学法人宮城大学職員懲戒規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
56	公立大学法人宮城大学職員研修規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
57	公立大学法人宮城大学職員兼業規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
58	学生旅費支給に係る事務手続要領	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
59	事務局職員評価要綱	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
60	公立大学法人宮城大学職員の出向に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
61	事務局職員自己啓発支援要綱	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
62	公立大学法人宮城大学乗合自動車管理運用規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正

令和5年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
63	公立大学法人宮城大学整備管理規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
64	令和5年度年度計画	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
65	令和5年度当初予算	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
66	公立大学法人宮城大学の保有する個人情報の保護に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	制定
67	令和5年度における宮城大学授業料の減免等の特例に関する規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	制定
68	博士後期課程奨学金返還免除内定候補者選考規程	198 208	令和5年3月22日 令和6年2月28日	令和5年4月1日 令和6年3月1日	—	制定 廃止
69	公立大学法人宮城大学研究倫理審査規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
70	公立大学法人宮城大学就業規則	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
71	公立大学法人宮城大学有期雇用職員就業規則	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
72	公立大学法人宮城大学特任教員規程	198	令和5年3月22日	令和5年4月1日	—	一部改正
73	公立大学法人宮城大学名誉学長称号授与規程	200	令和5年5月31日	令和5年6月1日	—	制定
74	令和4年度業務実績報告書	201	令和5年6月28日	—	—	策定
75	令和4年度決算報告書	201	令和5年6月28日	—	—	策定
76	公立大学法人宮城大学基本規則	201	令和5年6月28日	令和5年6月28日	—	一部改正
77	宮城大学学群教授会運営規程	201	令和5年6月28日	令和5年6月28日	—	一部改正
78	宮城大学基盤教育群運営等規程	201	令和5年6月28日	令和5年6月28日	—	一部改正
79	宮城大学研究科教授会運営規程	201	令和5年6月28日	令和5年6月28日	—	一部改正
80	公立大学法人宮城大学公印規程	201	令和5年6月28日	令和5年6月28日	—	一部改正
81	公立大学法人宮城大学情報戦略推進会議運営規程	201	令和5年6月28日	令和5年6月28日	—	一部改正
82	令和5年度9月補正予算	203	令和5年9月27日	—	—	策定
83	公立大学法人宮城大学業務アシスタント取扱規程	203	令和5年9月27日	令和5年10月1日	—	一部改正
84	宮城大学アドミッションセンター運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
85	宮城大学カリキュラムセンター運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
86	宮城大学スチューデントサービスセンター運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
87	宮城大学キャリア・インターンシップセンター運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
88	宮城大学キャンパス整備委員会運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
89	公立大学法人宮城大学学術情報センター運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
90	公立大学法人宮城大学情報システムセンター運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
91	公立大学法人宮城大学宮城大学国際交流・留学生センター運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
92	公立大学法人宮城大学食産業学群附属農場管理運営規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正
93	公立大学法人宮城大学職員研修規程	204	令和5年10月25日	令和5年10月25日	—	一部改正

令和5年度中に施行された規則、規程、指針等一覧

No.	規則、規程、指針等の名称	理事会		施行日等		備考
		回	開催日	施行日	適用日	
94	公立大学法人宮城大学役員等報酬規程	206	令和5年12月27日	令和5年12月27日	令和5年4月1日	一部改正
95	公立大学法人宮城大学貸金規程	206	令和5年12月27日	令和5年12月27日	令和5年4月1日	一部改正
96	令和5年度最終補正予算	207	令和6年1月31日	—	—	策定
97	博士前期課程進学予定者に係る奨学金返還免除内定候補者選考規程	208	令和6年2月28日	令和6年3月1日	—	廃止
98	宮城大学日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考規程	208	令和6年2月28日	令和6年3月1日	—	制定
99	日本学生支援機構奨学金返還免除内定候補者の選考及び内定者の評価に関する取扱内規	208	令和6年2月28日	令和6年3月1日	—	制定
100	日本学生支援機構奨学金返還免除候補者選考に関する取扱内規	208	令和6年2月28日	令和6年3月1日	—	制定
101	公立大学法人宮城大学における研究インテグリティの確保に関する規程	208	令和6年2月28日	令和6年2月28日	—	制定
102	公立大学法人宮城大学安全保障輸出管理規程	208	令和6年2月28日	令和6年2月28日	—	制定
103	公立大学法人宮城大学人権侵害の防止等に関する規程	209	令和6年3月27日	令和6年3月27日	—	一部改正
104	公立大学法人宮城大学就業規則	209	令和6年3月27日	令和6年3月27日	—	一部改正
105	公立大学法人宮城大学業務限定職員就業規則	209	令和6年3月27日	令和6年3月27日	—	一部改正
106	公立大学法人宮城大学職員懲戒規程	209	令和6年3月27日	令和6年3月27日	—	一部改正

※ 上表中、No. 2～3、6～13、15、30、31、33、36、65、70、71、75～79、82、94～96、104～106（網掛け部分）については、規程等の「改正の概要」等を添付。

【参考】 「公立大学法人宮城大学定款」 第4章 審議機関

第1節 経営審議会（第22条）、第2節 教育研究審議会（第26条）に定める審議事項 ※関係部分のみ要約

■ 予算の編成、執行、決算に関する事項 ■ 学部、大学院など重要な組織の設置、改廃のうち、教育研究に関するもの

■ 法人の基本的な規則（経営に関するもの。）及び会計規程、役員報酬・職員給与の基準等経営に係る重要な規程の制定、改廃

■ 法人の基本的な規則（教育研究に関するもの。）及び教育研究に係る重要な規程の制定、改廃

公立大学法人宮城大学基本規則の一部改正について

1 改正の趣旨

令和5年4月から「理事長・学長分離型」へ運営体制を変更するため、設立団体である宮城県において、公立大学法人宮城大学定款の一部を変更したことから、令和5年3月31日で任期満了となる学長の選考を今年度内に実施するため、公立大学法人宮城大学基本規則のうち学長選考に関する規定について改正するもの。

2 改正内容

(1) 第7条（理事長）

- ・ 「理事長は大学の学長となる」と定めている同条第2項を削除
- ・ 学長となる理事長の選考、解任等に関し必要な事項を「学長となる理事長の選考、任期、解任及び業務執行状況の確認に関する規程」へ委任している規定を第8条（学長選考会議）へ整理するため、第7条第3項を削除

(2) 第8条（学長選考会議）

- ・ 「学長となる理事長」を「学長」へ規定の整理
- ・ 学長の任命権者が知事から理事長へ変わることに伴う規定の整理
- ・ 「学長の選考、任期、解任及び業務執行状況の確認に関する規程」へ委任する規定の追加（第7条第3項の削除に伴う規定の整理）

(3) 第9条（副理事長）

- ・ 地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第71条第7項の規定により、学長は副理事長となる規定を追加
- ・ 副理事長の任期は学長の任期となることから、副理事長の任期に関する規定を削除

3 施行年月日

令和5年4月1日

ただし、改正後の第8条の規定は、公立大学法人宮城大学定款の変更（令和5年4月1日施行）附則第2項の規定に基づき行われる最初の学長の選考から適用する。

【運営体制の変更に伴うスケジュール】

令和4年1月21日	宮城県が県議会総務企画委員会において「理事長・学長分離型」への運営体制の変更について報告 宮城県総務部長から公立大学法人宮城大学理事長宛て、円滑な移行に向けた関係規程の整備、新学長の選考について通知 同通知を受けて、理事長から全教職員宛て、設置者の方針、今後の手続き等についてメッセージを発信
7月5日	宮城県議会において定款変更を議決。県が国へ定款変更の認可を申請 ・ 理事長と学長を分離し、理事長は知事が任命する。 ・ 学長は、選考会議の選考に基づき理事長が任命する。 ・ 学長は、副理事長となる。
8月30日	国による定款変更認可
8月31日	理事会（基本規則のうち学長選考に関する規定の改正）
9月2日	第1回学長選考会議 臨時理事会（学長選考に関する規程の一部改正）
11月9日	第2回学長選考会議
12月13日	第3回学長選考会議（候補者3人以下の場合は、候補者を決定）
令和5年1月12日	第4回学長選考会議（候補者4人以上の場合に開催し、候補者を決定）
3月下旬	理事会（基本規則等関係する諸規程の一部改正）
4月1日	理事長・学長分離による新たな運営体制へ移行

公立大学法人宮城大学学長となる理事長の選考，任期，解任及び 業務執行状況の確認に関する規程の一部改正について

1 改正の趣旨

令和5年4月からの「理事長・学長分離型」への運営体制の変更に向けて，設立団体である宮城県において，公立大学法人宮城大学定款の一部を変更したことから，公立大学法人宮城大学学長となる理事長の選考，任期，解任及び業務執行状況の確認に関する規程の一部を改正するもの。

【定款変更の経緯】

令和4年1月21日	令和5年4月から「理事長・学長分離型」への変更について，設立団体である県が議会に報告 「理事長・学長分離型」への円滑な移行について，県総務部長から理事長宛て通知
7月5日	県議会において宮城大学の定款変更を議決 知事が総務大臣及び文部科学大臣へ定款変更の認可申請
8月30日	総務大臣及び文部科学大臣による定款変更の認可
8月31日	本学理事会（基本規則のうち学長選考に関わる部分の改正）

2 改正内容

- (1) 「学長となる理事長」を「学長」に整理
題名，第1条（趣旨）～第12条（業務執行状況の確認）
- (2) 定款の変更等に伴う根拠規定（引用規定）の整理
第1条（趣旨），第3条（資質及び能力）
- (3) 候補者を推薦できる課長以上の定義の明確化（管理職）
第5条（候補者の推薦）第3項
- (4) 学長の任命権者が理事長となるための整理
第7条（選考結果の報告等），第11条（解任の申出）
- (5) 理事長・学長分離に伴う選考期限の特例
国の定款変更認可（8月30日）後となることから，今回実施する学長選考に限り，選考期限を現任者の任期満了日の「3か月前」から「2か月前」とする特例を附則で規定

3 施行年月日

令和5年4月1日

ただし，改正後の第2条から第7条までの規定は，公立大学法人宮城大学定款の変更（令和5年4月1日施行）附則第2項の規定に基づき行われる最初の学長の選考から適用する。

公立大学法人宮城大学学長選考会議運営規程の一部改正について

1 改正の趣旨

令和5年4月からの「理事長・学長分離型」への運営体制の変更に向けて、設立団体である宮城県において、公立大学法人宮城大学定款の一部を変更したことから、公立大学法人宮城大学学長選考会議運営規程の一部を改正するもの。

2 改正内容

- (1) 定款の変更等に伴う根拠規定（引用規定）の整理
第1条（趣旨）、第3条（組織）
- (2) 「学長となる理事長」を「学長」に整理
第2条（所掌事項）
- (3) 定款の変更に伴い、学長の任命権者が理事長となるため規定の整理
第2条（所掌事項）第2号

3 施行年月日

令和5年4月1日

ただし、改正後の第2条の規定は、公立大学法人宮城大学定款の変更（令和5年4月1日施行）附則第2項の規定に基づき行われる最初の学長の選考から適用する。

令和 5 年度予算編成の基本方針（案）

令和 4 年 1 1 月 日
理事長 川上 伸昭

会計規程第 1 3 条および財務運営要綱第 8 条に基づき、令和 5 年度予算編成の基本方針を策定するもの。

1. 予算編成方針について

令和 4 年度は、感染症の影響が続く中、令和 4 年 3 月の福島県沖地震による損壊への対応と並行しながら、新カリキュラムの開始への対応や、各種イベントにおいて順次対面での対応を再開するなど、中期計画の進捗を進めるべく、教育・研究内容の充実や施設環境の整備を進めてきたところである。

一方で、昨今のエネルギー価格の高騰は、本学にも大きな影響を与えており、令和 4 年度 9 月補正予算においては、光熱水費支出に対し、多額の目的積立金の取崩を余儀なくされたところである。感染症への継続的な対応や施設の老朽化対応を迫られる中、光熱水費負担が膨らむ環境が令和 5 年度以降も継続した場合、これを自己財源で賄うとすれば、本学の財務に対する影響は、令和 6 年度にも目的積立金の枯渇が見込まれるなど、法人化以来最も厳しい状況に直面している。

このような緊急事態を受け、収入面においては、県に対して支援措置依頼を繰り返し行うほか、外部資金収入のさらなる増強及び追加の自己財源確保策についても強力に検討を進める必要がある。

また、支出面でも、聖域を設けることなく、前例のない大幅削減を行うことが不可避の状況である。

こうした現状認識のもと、令和 5 年度当初予算は、中期計画の実現に向け、教育研究予算には相対的に一定の配慮をしつつも、広範な事業に効率化係数による削減を求める、緊縮型の予算編成を行うものとし、全学的な理解及び協力を求めるものである。

2. 収入予算要求について

収入予算を堅実に見積もるため、原則、実績等に基づき適切に要求を行うこと。併せて、以下①－③の対応を求める。

- ①科学研究費補助金及び受託研究等の研究資金、並びに補助事業等について、戦略的な外部資金獲得を行うとともに、受託研究等に係る間接経費の引き上げを図るなど、自己財源の確保に努めること。
- ②エネルギー価格や物価の高騰を踏まえ、施設貸付料（空調利用料等を含む）を始め、大学の裁量で融通が可能な収入予算項目については、早急に自己財源の確保に繋がる見

直しを進めること。

- ③第3期中期計画期間に掲げた授業料等の適正化については、諸般の社会・経済情勢及び他国公立大学法人等の対応状況を注視するとともに、収入予算確保の中長期的な対策として、授業料等の改定も念頭に、具体的な検討に着手すること。

3. 支出予算要求について

中期計画にて掲げた事業の遂行が滞ることのないように留意しながら、年間の所要額を確実に計上すること。

なお、予算要求にあたっては、前例を踏襲した安易な要求は厳に慎み、部門予算責任者の責任において、当該業務の必要性や実施手法等につき、抜本的に見直しを行いつつ、過年度決算の実績も十分に考慮したうえで、最大限の支出抑制策を講じること。

その他、以下①-③のとおりとするが、要求額の妥当性等については役員ヒアリング等において改めて精査を行うこととする。

- ①各部門からの予算要求については、原則、「令和4年度当初予算額（単年度の特殊要因を除く）をベースに、一般管理費は5%減額、教育経費・研究経費・教育研究支援経費は3%減額した金額」を「要求基礎額」として設定するため、原則、当該金額の範囲内での要求を行うこと（「要求基礎額」については「別紙1」参照）。なお、年度跨ぎなどで契約済みの部分等については、要求基礎額の減額対象から除外している。また、要求基礎額についてはあくまで上限値として設定するものであるため、真にやむを得ない経費のみの要求に努めること。
- ②備品の新規整備等の投資的な経費については、可能な限り先送りすること。ただし、「施設・環境整備費」予算における「食品加工棟改修工事」については、令和4年度に設計済みであり、また新カリキュラムの実施にあたり必要となることから、当該分についてのみ要求を認めるものとする。
- ③例年要求を受け付けている「新規・拡充事業」については、前述のとおり財源の確保が難しいことから、既存事業のスクラップにより財源の全額確保が可能であるもののみ要求を受け付けるものとし、財源の全額確保が見込めない「新規・拡充事業」の要求は受け付けない（一部確保の場合は要求不可）。

4. 「予算要求調書」の作成・提出について

・本法人は、部門予算責任者が担当予算科目の要求、執行について責任を持つ体制となっていることを踏まえ、必要経費について要求漏れがないよう、かつ、積算根拠やその必要性が明瞭となるよう留意し、年度計画との関係性を十分に確認のうえ、積算・要求を行うこと。そのうえで、「予算要求調書の作成について（別紙3）」を参照し、期限までに必要資料を提

出すること（期限厳守）。

・「新規・拡充事業」については、前述のとおり既存事業のスクラップにより財源の全額確保が見込める場合のみ要求を受理するが、その場合、予算要求調書は別建てとせず、既存事業の「特殊要因」として要求を行うこと（例年提示していた新規・拡充事業用の要求調書の様式は使用しないこと）。また、その際、スクラップを行った事業とその金額がわかるように明示し、また当該事業についての必要性が十分にわかる資料を別途提出すること（任意様式）。

・予算科目が存在しない事業について要求がある場合は、必ず事前に財務課宛て相談すること（予算要求調書の提出締切を個別に融通することはしないので、期限に余裕を持って相談すること）。

・別途「予算科目個別の取扱い」が設定されている予算科目においては、それに準じて予算要求を行うこと（「予算科目個別の取扱い」については「別紙2」参照）。

・宮城大学ネクストリーダーズ基金を活用した事業の実施要望については、「令和5年度宮城大学ネクストリーダーズ基金事業展望」を提出すること。

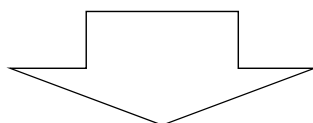
〔参考：令和5年度当初予算編成スケジュール〕

令和4年11月中旬	基本方針（案）を各部門予算責任者へ共有（作業開始）
11月30日（水）	理事会で基本方針を決定
11月末	基本方針を各部門予算責任者へ通知
令和5年1月12日（木）	予算要求調書（ネクストリーダーズ基金事業要望含む）の提出期限【厳守】
1月23日（月）～	理事長・副理事長・理事によるヒアリング
2月22日（水）	予算原案を理事会へ付議
2月下旬～3月上旬	部門予算責任者へ予算内示
3月15日（水）	予算原案に基づく予算案を教育研究審議会へ報告
3月中旬	予算原案に基づく予算案を経営審議会へ付議
3月22日（水）	予算案を理事会へ付議（決定）

〔参考：目的積立金の残高推移見込〕

・令和4年度9月補正予算後ベースで推移した場合

	R4当初	R5当初	R6当初
当初予算取崩額①	79,011	241,787	241,787
残高(当初予算編成時点)②	331,827	90,040	▲ 51,747
残高(前年度当期総利益追加後)③	331,827	190,040	48,253



・効率化係数（教育経費等：3%，一般管理費等：5%）による削減や，施設・環境整備費の抑制等を行った場合

（単位：千円）

	R4当初	R5当初	R6当初
当初予算取崩額①	79,011	210,504	210,504
残高(当初予算編成時点)②	331,827	121,323	10,819
残高(前年度当期総利益追加後)③	331,827	221,323	110,819

対策により
黒字化

※当期総利益が100,000千円の場合の想定であり，令和4年度以降の当期総利益を確約するものではない。

※R4年度の②，③については，いずれも前年度決算の当期総利益を加味し，そのうえで令和4年度9月補正予算による取崩，および災害復旧補助金による補てん額も加味した金額。

令和5年度当初予算 要求基礎額等

別紙 1

〔色分けについて〕
 運営費交付金精算対象案件
 もしくは外部資金
 5%シーリング対象

3%シーリング対象
 個別の取扱い

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R4当初予算額	R5当初要求基礎額	要求基礎額備考 (整数については全て千円単位)				
01	經常費用	01	業務費	教育経費	11看護学群教育費	12,727	12,346	R4当初(コピー代除く)*0.97 ナーシング・スキル利用料(単年度契約)も含めて左記の金額内に収めること			
					12看護学群実験実習費	24,207	23,481	R4当初*0.97			
					看護学群計	36,934	35,827				
					21事業構想学群教育費	14,486	14,480	{R4当初(コピー代除く)+R4.9月補正エントリーシート添削費}*0.97 (14,486+441)*0.97≒14,480			
					22事業構想学群実験実習費	5,251	5,094	R4当初*0.97			
					29事業構想学群教育改善経費	1,216	691	(R4当初-アントレプレナー-事業)*0.97 (1,216-504)*0.97=691			
					事業構想学群計	20,953	20,265				
					31食産業学群教育費	15,318	14,859	R4当初(コピー代除く)*0.97			
					32食産業学群実験実習費	18,736	19,476	{R4当初+R4.9月補正修繕費}*0.97 (18,736+1,342)*0.97≒19,476			
					33食産業学群農場運営管理経費	14,838	12,036	{R4当初-特殊要因(ハウス整備費)+R4.9月補正飼料代}*0.97 (14,838-3,000+570)*0.97≒12,036			
					食産業学群計	48,892	46,371				
					41基盤教育群教育費	12,721	12,340	R4当初(コピー代除く)*0.97 スタートアップセミナーの第2Q・第4Q分(R4当初:1,080)も加味しているため、予算を他学群の所管に移管した場合は、その分を減額のうえ移管先の所管を連絡すること			
					学群教育費コピー代	1,911	1,854	R4当初*0.97 看護・事業・食産・基盤のコピー代合計			
					学群経費計	121,411	116,657				
					02	研究科経費	11看護学研究科教育費	4,025	3,905	R4当初*0.97	
					21事業構想学研究科教育費	2,128	2,065	R4当初*0.97			
					29事業構想学研究科教育改善経費	994	965	R4当初*0.97			
					31食産業学研究科教育費	3,046	2,955	R4当初*0.97			
					研究科経費計	10,193	9,890				
					03	全学学務費	11アドミッションセンター経費	30,390	29,597	(R4当初-契約済額)*0.97 30,390*0.97+3,955*0.03≒29,597	
					12カリキュラムセンター経費	8,244	7,997	R4当初*0.97			
					13スチューデントサービスセンター経費	19,734	19,344	(R4当初-契約済額)*0.97 19,734*0.97+6,707*0.03≒19,344			
					14キャリア・インターンシップセンター経費	8,947	8,699	(R4当初-契約済・見込額)*0.97 8,947*0.97+660*0.03≒8,699			
					15地域連携実践教育費	15,270	14,985	・人件費以外:(R4当初-人件費-契約済額)*0.97 (15,270-5,270)*0.97+480*0.03≒9,715 ・人件費については、R4当初と同額で1名分(5,270)を左記に見込んでいるが、要求がある場合、その必要性等については別途要精査			
					全学学務費計	82,585	80,622				
					教育経費計	214,189	207,169				
					02	研究経費	01	基礎的研究費	35,000	35,000	教員研究費要綱上の配分額等も鑑みR4当初と同額を要求基礎額とするが、実態に基づき適切に要求すること
					02	特別研究費	35,000	35,890	R4当初*0.97		
					03	国際研究費	2,000		各研究費毎の要求基礎額は設定しないが、総額は左記要求基礎額の範囲内に収めること		
					教員研究費計	72,000	70,890				
					04	国際学会等派遣旅費	1,500	1,455	R4当初*0.97		
					02	共通研究経費	02	共通研究費	10,496	10,318	・「研究推進・地域未来共創推進費」について、左記要求基礎額においてはR4当初と同額(4,541)で設定しているが、当該分については、R4.12月の研究委員会で報告した科研費間接経費獲得実績額の25%の金額で要求すること(最終的にはR5.1月の研究委員会で報告数値の25%を配分する予定) ・上記以外の部分については、R4当初*0.97 (10,496-4,541)*0.97=5,777に収めること
					研究経費計	83,996	82,663				
					03	教育研究支援経費	01	学術情報センター経費	73,995	72,926	{R4当初-契約済・見込額-運営費交付金精算対象案件(授業目的公衆送信補償金)所要見込額}*0.97 73,995*0.97+36,841*0.03+1,504*0.03≒72,926
					02	情報システムセンター経費	169,359	184,233	{R4当初-特殊要因(光ケーブル点検)-契約済案件R4所要額}*0.97+契約更新によるR5増額見込額 (169,359-1,200)*0.97+123,846*0.03+17,403≒184,233		
					03	国際交流・留学生センター経費	7,212	6,996	R4当初*0.97		
					04	研究推進・地域未来共創センター経費	40,692	40,506	・うち人件費(常勤職員3名,非常勤職員1名):28,586(目安額のため実態に基づき要求すること) ・うち受託事業費:5,900(目安額のため実態に基づき要求すること) ・うちその他経費:(R4当初-人件費-受託事業費)*0.97≒6,020		
					06	専門研修経費	1,972	1,972	専門研修受講料の収入見込額に基づき、収支同額で要求すること(左記はR4当初予算額)		
					07	高大連携事業費	723	702	R4当初*0.97		
					教育研究支援経費計	293,953	307,335				

令和5年度当初予算 要求基礎額等

別紙 1

〔色分けについて〕 運営費交付金精算対象案件 もしくは外部資金	3%シーリング対象
5%シーリング対象	個別の取扱い

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R4当初予算額	R5当初要求基礎額	要求基礎額備考 (整数については全て千円単位)			
01 業務費	04	受託研究費	01	受託研究費(直接経費)	72,000	72,000	直接経費部分は収支同額で要求すること(左記はR4当初予算額)			
			02	共同研究費(直接経費)	0					
					受託研究費(直接経費)計	72,000	72,000			
	05	受託事業費	01	受託事業費	01	大学入学共通テスト実施経費	3,977	3,977	受託事業収入の見込額に基づき、収支同額で要求すること(左記はR4当初予算額)	
						受託事業費計	3,977	3,977		
	06	補助金事業	01	補助金事業			3,400	0	案件がある場合は補助事業毎に要求するものとし、直接経費部分は収支同額で要求し、間接経費がある場合はその部分を明示すること	
						補助金事業費計	3,400	0		
	07	寄附金事業	01	奨学金寄付金研究経費(直接経費)			13,680	13,680	直接経費部分は収支同額で要求すること(左記はR4当初予算額)	
					02	宮城大学ネクスティアーズ基金事業費	3,000	3,000	基金の収入状況および基金事業の執行状況等を勘案し要求すること(左記はR4当初予算額)	
					寄附金事業費計	16,680	16,680			
	08	役員人件費	01	理事長・副理事長・理事人件費			50,687	51,240	宮城県に直近で報告しているR5年度執行見込額と同額で要求すること(左記は第3期中期計画額)	
					02	監事人件費	945	945	R4当初と同額	
					役員人件費計	51,632	52,185			
	09	教員人件費	01	教員人件費			1,559,303	1,572,111	宮城県に直近で報告しているR5年度執行見込額と同額で要求すること(左記は第3期中期計画額)	
					02	非常勤教員人件費	37,073	37,073	R4当初と同額	
					03	特任教員人件費	41,520	41,645	宮城県に直近で報告しているR5年度執行見込額と同額で要求すること(左記は第3期中期計画額)	
					教員人件費計	1,637,896	1,650,829			
	10	事務職員人件費	01	事務職員人件費			452,321	433,517	宮城県に直近で報告しているR5年度執行見込額と同額で要求すること(左記は第3期中期計画額であるが、60名分の算定額であるため、62名分の見込額で要求すること)	
					02	非常勤事務職員人件費	142,386	142,386	R4当初と同額	
				事務職員人件費計	594,707	575,903				
				人件費計	2,284,235	2,278,917				
				業務費計	2,972,430	2,968,741				
01 經常費用	02 一般管理費	01	法人費用	01	役員等費用	1,738	1,537	{R4当初-特殊要因(学長選考会議経費のうちR4純増分)}*0.95 (1,738-162+41)*0.95≒1,537		
				02	経営審議会費	274	261	R4当初*0.95		
				04	弁護士、社労士、会計士、税理士費用	3,784	3,595	R4当初*0.95 会計士相談業務の回数で調整すること		
				05	会計監査人費用	7,986	7,986	契約見込額		
				07	評価関連費用	460	437	R4当初*0.95		
					法人費用計	14,242	13,816			
				02	事務経費	01	庁舎管理経費	269,150	306,127	{R4当初-特殊要因(猪対策)-契約済案件R4所要額}*0.95+契約更新によるR5増額見込額 (269,150-5,000)*0.95+224,275*0.05+43,970≒306,127
		02	光熱水費			140,406	259,212	光熱水費高騰による例外措置として、R4当初予算額+R4.9月補正予算額*2 140,406+59,403*2=259,212		
		03	公用車等経費			5,277	5,014	R4当初*0.95		
		04	事務局経費			29,223	28,219	{R4当初-契約済額}*0.95 29,223*0.95+9,136*0.05≒28,219		
		05	財務会計システム運営費			4,356	4,356	契約見込額		
		06	給与計算アウトソーシング			667	634	R4当初*0.95		
		07	銀行振込手数料			1,695	1,611	R4当初*0.95		
		08	職員健康診断費			734	733	{R4当初-契約見込額}*0.95 734*0.95+708*0.05≒733		
		09	職員採用経費			1,613	1,533	R4当初*0.95		
		10	産業医			1,536	1,536	契約見込額		
		11	公租公課			8,243	8,243	R4当初と同額としているが、納税予定額を確認のうえ要求すること		
		12	事務局職員研修経費			1,672	1,589	R4当初*0.95		
		13	学務管理システム運営費			25,310	24,654	{R4当初-契約済額}*0.95 25,310*0.95+12,185*0.05≒24,654		
		14	人事給与システム運営費			4,672	4,672	契約見込額		
			事務経費計	494,554	648,133					
		03	維持修繕費	01	建物設備維持管理経費			38,902	36,957	R4当初*0.95
						02	施設・環境整備費	40,348	30,000	左記はあくまで目安額であり、R4に設計済の「食品加工棟改修工事」のみの要求とすること(その他工事についての要求は認めない)
				維持修繕費計	79,250	66,957				

令和5年度当初予算 要求基礎額等

別紙 1

〔色分けについて〕

運営費交付金精算対象案件 もしくは外部資金	3%シーリング対象
5%シーリング対象	個別の取扱い

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R4当初予算額	R5当初要求基礎額	要求基礎額備考 (整数については全て千円単位)
01経常 費用	02一般 管理費	01管理費	04企画・広報費		35,329	34,408	(R4当初一契約済額)*0.95 35,329*0.95+16,893*0.05≒34,408
			05教員宿舍費		3,884	3,690	R4当初*0.95
	一般管理費計				627,259	767,004	
経常費用計(退職金を除く)					3,599,689	3,735,745	
02退職手当費用					84,670	54,458	宮城県に直近で報告しているR5年度執行見込額と同額で要求すること (左記は第3期中期計画額)
経常費用計(退職金を含む)					3,684,359	3,790,203	
03大規模修繕費					238,488	284,563	・運営費補てん分については、宮城県に報告しているR5年度執行見込額 と同額で要求すること(275,527) ・自己財源分(発注者支援業務)については契約済額 ・要求時には財源を明確に分けて要求すること(調書は1枚で良い)
04実験実習機器更新費					42,999	58,830	宮城県に報告しているR5年度執行見込額と同額で要求すること(左記は R4.10月に県へ報告したR5執行見込額)
合 計					3,965,846	4,133,596	

令和 5 年度当初予算要求に係る予算科目個別の取扱い

令和 5 年度当初予算編成において、以下の予算科目については、個別の取扱いを設定するので、以下の内容に応じて要求すること。

〔収入予算科目〕

・運営費交付金、補助金等収益（宮城県から交付を受けるものに限る）

宮城県から交付される運営費交付金および補助金については、宮城県が算定する予算額に基づき適正に要求すること。

・授業料収入、入学金収入

収入予算を堅実に見積もる目的から、学群生分については第 3 期中期計画の算定額、大学院生分については近年の実績等に基づき適正に要求すること。なお、大学院生の人数の算定については、学務課と企画・入試課で調整のうえ、整合を取る。また、修学支援新制度および震災減免による減免費用については、財務課と調整のうえ、宮城県が算定する補てん分の予算額を反映すること（震災減免については、現時点では国の支援の打ち切り等が確定していないことから、当該制度が継続することを前提として予算編成を行うもの）。

・受託研究等収入（共同研究含む）、奨学寄附金収入、科学研究費補助金間接経費収入

年度計画の目標数値で要求することは妨げないが、いずれも事業本体の費用（直接経費）以外に係る間接経費収入を含むため、近年の実績との乖離が大きく見受けられる場合などは、収入予算を堅実に見積もる目的から、財務課にて減額査定を行う可能性もある旨、留意すること。

・地域振興寄附金取崩

研究推進・地域未来共創センターの人件費相当分（常勤事務職員 3 名・非常勤事務職員 1 名分）の所要額と同額を要求すること。なお、令和 4 年度末時点の地域振興寄附金残高は 66,685 千円、令和 4 年度の取崩予算額は 28,586 千円となっていることから、差額の 38,099 千円を要求上限額とする。

〔支出予算科目〕

・地域連携実践教育費

人件費以外の部分については、令和 4 年度当初予算額より、人件費部分および契約済案件の金額を差し引いた部分から、3%削減したもの（9,715 千円）を要求基礎額とする。

人件費部分については、令和 4 年度当初予算額と同額（5,270 千円）を要求基礎額として設定はするが、現時点で雇用の継続等について確約をするものではなく、要求がある場合、

当該人件費の必要性等について別途精査を行うので、その必要性について十分な説明資料を用意すること。

・教員研究費（基礎的研究費，特別研究費，国際研究費）

基礎的研究費については，教員研究費要綱上の配分額等も鑑み，令和 4 年度当初予算額と同額を要求基礎額とする。

また，特別研究費・国際研究費については，予算科目毎の要求基礎額は設定しないが，令和 4 年度当初予算額の総額に対し 3%削減したものを全体の要求基礎額とするので，総額をその範囲内に収め要求すること。

・共通研究費

前年度科研費間接経費獲得実績の 25%を「研究推進・地域未来共創推進費」として配分するため，当該経費については，12 月の研究委員会で報告した獲得実績に基づいて要求を行うこと。なお，実際の配分時には，1 月の研究委員会で報告された獲得実績の 25%を配分する（毎年度 1 月の研究委員会で報告された獲得実績に基づき配分するもの）。

上記以外の部分については，「研究推進・地域未来共創推進費」を差し引いた部分から，3%削減したもの（5,777 千円）を要求基礎額とする。

・情報システムセンター経費

令和 5 年度の契約更新に際し，大幅な増額が見込まれるため，契約更新による増額見込分も要求基礎額に加味するもの。なお，要求基礎額の算出においては，契約済み案件の令和 4 年度所要額を効率化係数による削減対象から除外したうえで，令和 5 年度の増額見込分を純増分として加味している。

・研究推進・地域未来共創センター経費

当該予算下における人件費（地域振興寄附金取崩財源分/常勤事務職員 3 名・非常勤事務職員 1 名分）については，賃金の上昇傾向も踏まえ，令和 4 年度当初予算と同額を要求基礎額とするが，人件費部分に限り，要求基礎額を超過した要求もやむを得ないものとする。

また，受託事業費部分については，「研究推進・地域未来共創センター収入」と収支同額で要求すること。

上記以外の部分については，人件費および受託事業費を差し引いた部分から，3%削減したもの（6,020 千円）を要求基礎額とする。

・専門研修経費，受託研究費，受託事業費，補助金事業，奨学寄付金研究経費

上記外部資金等については，要求基礎額は設定しないが，直接経費部分については収支同額で要求を行うこと（「別紙 1」に記載している「要求基礎額」は目安額とする）。

・ 理事長・副理事長・理事人件費，教員人件費，特任教員人件費，事務職員人件費，退職手当費用，大規模修繕費，実験実習機器更新費

運営費交付金の精算対象となっている上記予算科目については，要求基礎額は設定しないため，県に報告している令和 5 年度執行見込額に基づいて要求を行うこと（「別紙 1」に記載している「要求基礎額」は目安額とする）。

・ 監事人件費，非常勤教員人件費，非常勤事務職員人件費

要求基礎額は，賃金の上昇傾向も踏まえ，令和 4 年度当初予算額と同額とする。ただし，やむを得ず要求基礎額を超過する場合は，予算を削減出来るよう，非常勤教職員について現状の運用方法等の見直しを行うこと。また，常勤教職員の欠員の可能性等を考慮し，当該補てん分として見込んである費用がある場合は，当該分の所要額がわかるように明示して要求すること。

なお，非常勤教員人件費については，各学群の教育経費のヒアリングの際に，積算根拠やその必要性等を確認する場合がある。

・ 庁舎管理経費

令和 5 年度の契約更新に際し，大幅な増額が見込まれるため，契約更新による増額見込分も要求基礎額に加味するもの。なお，要求基礎額の算出においては，契約済み案件の令和 4 年度所要額を効率化係数による削減対象から除外したうえで，令和 5 年度の増額見込分を純増分として加味している。

・ 光熱水費

昨今の光熱水費の高騰を受け，要求基礎額を「令和 4 年度当初予算額＋令和 4 年度 9 月補正予算額の 2 倍」の金額として設定するが，あくまで目安額のため，適切に所要額を積算したうえで要求すること。

・ 公租公課

税金については納税義務があるため，要求基礎額を超過した要求もやむを得ないものとするが，必ず納税予定額を確認のうえ，適切に要求すること。

・ 施設・環境整備費

令和 4 年度に設計済みで，また新カリキュラムの実施にあたり必要となる「食品加工棟改修工事」の要求のみ受け付ける。要求に際しては，当該工事の見積書または設計書を添付し，その金額に基づいて要求を行うこと。なお，別紙 ~~1~~ 「要求基礎額」欄に記載している金額はあくまで目安額であるため，当該工事の金額と要求基礎額に差額が発生した場合で

も、その他工事の要求は認めない。また、当該工事の入札請差が発生した場合でも、その他工事の執行は認めない。

予算要求調書の作成について

1. 予算要求調書の作成について

(1) 要求調書の作成単位について

以下のルールに従い作成すること。

	区 分	原 則	例 外
収入	—	目単位	目が設定されていない科目は項単位
支出	業務費	細目単位	細々目レベルで部門予算責任者が異なる場合は、細々目単位 (例) 学群経費=看護, 事業構想, 食産業, 基盤毎に作成
	一般管理費	細々目単位	

(2) 新規・拡充事業について

新規・拡充事業については、既存事業のスクラップにより財源の全額確保が出来る場合に限り、要求することを認めるが、その場合、予算要求調書は別建てとせず、既存事業の「特殊要因」として要求を行うこと(例年提示していた新規・拡充事業用の要求調書の様式は使用しないこと)。また、その際、スクラップを行った事業とその金額がわかるように明示し、また新規・拡充として要求する事業についての必要性が十分にわかる資料を別途提出すること(任意様式)。

2 提出資料について

以下のとおり予算要求調書等の書類を期日までに提出すること。また、資料については枚数を最小限にとどめること。

(1) 提出書類：①支出予算要求調書〔様式1-①〕

②収入予算要求調書〔様式2〕

③積算資料…支出予算要求の場合は必須。また、収入予算要求で積算根拠が調書内に収まらない場合に提出すること。

④1件50万円以上(税込)の支出案件に係る、見積書、設計書、契約書等…

要求内に1件50万円以上の案件がある場合、見積書等の根拠書類を提出するものとし、年度跨ぎで契約済みの案件の場合は契約書ないしはそれに類する書類を提出すること。

※例年は固定資産の場合のみ提出することとしていたが、50万円以上の案件の場合は全て要提出となるので留意すること。

※積算資料に記載されている案件の具体的な内容および積算根拠を確認することが目的であるため、その内容がわかるものを提出すること。

※運営費交付金の精算対象となっている予算科目に係る案件については、県への予算要求時に積算根拠書類を徴していることから、提出不要。

※外部資金に係る支出案件についても、提出不要。

⑤事業概要資料、その他資料…必要に応じて提出すること。

(2) 提出期限： 令和5年1月12日(木)〔期限厳守〕

(3) 提出先： 事務局財務課財務グループ zaimu@myu.ac.jp

(4) 提出方法：

提出資料	提出媒体	提出方法	留意事項
様式 1 - ①, 様式 2	Excel(PDF 不可)	メール添付	細目を跨ぐ場合は必ず ファイルを分けること
積算資料 事業概要資料等 見積書, 設計書等	Excel か PDF		サイズは A4 か A3 (原則 A4)

(5) 資料提出時の留意点：

- ・ 様式 1 - ①及び様式 2 のファイル名は必ず、「予算科目番号（半角数字・間をハイフンで繋ぐ）予算科目名①」とすること。また、積算資料、見積書等のファイル名についても同様に、「予算科目番号（半角数字・間をハイフンで繋ぐ）予算科目名」としたうえで、資料順に、末尾に②から順に番号を付けること（資料が複数になる場合は③、④…と続けること）。なお、学群経費等、要求調書が複数の予算科目に跨る場合は、予算科目番号が一番早いものをファイル名に適用すること。なお、見積書等については、ファイル名の末尾に付す番号を最後の番号とする（積算資料等と同じファイル内に纏める場合は最後の頁にする）こと。

(例) 要求調書のファイル名 : 「01-01-01-02-11 看護学研究科教育費①」

積算資料等のファイル名 : 「01-01-01-02-11 看護学研究科教育費②」

※本件は、全学から提出された資料について、予算科目番号順かつ資料順にファイルを並べることを意図したものであるため、ファイル名の予算科目番号の前にその他の文言を付さないこと。なお、ファイル名の末尾につける番号については、資料順に並べることを意図したものであるため、資料順に並ぶ形式であれば数字の種類等は問わない。

- ・ 積算資料については、原則要求調書と別ファイルで提出すること。なお、要求調書の別シートに積算根拠データが保存されていること自体は構わないが、そのデータを自動計算等で予算要求調書に反映させる場合には、必ず円未満を切り捨て・切り上げ等になるよう設定し、積算資料と予算要求調書で、円単位の誤差が出ないように留意すること。
- ・ 様式 1 - ①および様式 2 は、A 4 サイズ版(縦)で作成のうえ、複数頁となる場合は、適切な箇所改頁となるように設定すること。また、資料も可能な限り A 4 サイズとすること。A 4 サイズで収まらない場合は A 3 サイズでの作成も認めるが、全学の要求を一式に取り纏める都合から、A 4・A 3 以外のサイズ(B 4 サイズ等)での作成は一切しないこと（特に PDF で提出する場合はこの点十分に留意すること）。また、A 3 サイズで作成された資料でも、A 4 サイズで閲覧可能と財務課で判断した場合、A 4 サイズに縮小したうえでヒアリングの資料とする場合がある。
- ・ 提出された資料を役員ヒアリングの資料とし、頁下部に頁番号を付すため、各資料の下部は余白を持たせるよう留意すること。また、予算科目内で頁番号や資料番号等を付したい場合は、頁下部ではなく頁上部（右上等）に付すこと。

- ・ 大和・太白キャンパスに跨る経費については、両キャンパス間で十分調整のうえ要求することとし、要求調書および積算資料の中で、各キャンパス分を明確に区分すること。
- ・ 会議参加に係る旅費の計上においては、教員・職員に関わらず会議目的に合致した科目で要求すること。

(例) ・学群長会議 …学群教育費
・公立大学協会図書館関係会議 …学術情報センター経費

令和5年度当初予算原案について

令和5年2月22日
財務・施設担当理事
(第196回理事会決定)

1 令和5年度当初予算編成について

- 昨今の光熱水費の高騰により、本学の財政が逼迫したことを受け、令和5年度当初予算においては、支出全般に効率化係数を設定し、緊縮型の予算編成を行う方針とした。
- 高騰の続く光熱水費については、自己財源での対応の限界を超えるもので、宮城県へ補てんの要請を行っているところである。一方、県からの支援措置額等が不確定な状況下ではあるが、教育・研究の推進及び第3期中期計画の着実な遂行を図るための予算措置は不可欠と考えられる。
- このため、令和5年度当初予算編成においては、光熱水費高騰等の特殊要因に十分に配慮しながらも、目的積立金の残高も考慮したうえで、必要な予算は確実に担保し、所要額を計上したものである。

2 役員ヒアリングを受けて増額措置を行った予算科目について

年度計画・当初予算のヒアリングを受け、教育・研究の推進及び年度計画の遂行等に必要と思われる以下の予算科目について、対要求額での増額措置を行った。

- ・アドミッションセンター経費…高校訪問経費の増額
- ・教員研究費…特別研究費、国際学会等派遣旅費の増額
- ・学術情報センター経費…データベース費用の増額
- ・施設・環境整備費…コモنزの整備につき、太白キャンパスの進捗が大和キャンパスと比較し遅延していることから、太白キャンパスデータ&メディアコモنزの整備費用の増額

3 要求基礎額と乖離のある予算科目について

特殊要因等により要求基礎額を超過した予算科目は以下のとおりである。また、内製化等により要求基礎額を下回った予算科目は以下のとおりである。

〔要求基礎額を超過した主な予算科目〕

- ・光熱水費…価格高騰による増額（対要求基礎額：+20,260千円）
- ・公用車等経費…太白キャンパスの学生用バス買い替えによる費用の増額
（対要求基礎額：+21,917千円）
※当該バス調達に係る後援会からの寄附として、15,000千円を収入予算に計上
- ・施設・環境整備費…食品加工棟改修工事の所要額増及び太白キャンパスデータ&メディアコモنزの整備費用の増額（対要求基礎額：+11,715千円）

〔要求基礎額に対し大幅に減額となった主な予算科目〕

- ・庁舎管理経費…大和キャンパス感染症対策施設管理業務の内製化及び大和キャンパス施設総合管理業務に係る所要見込額の減額（対要求基礎額：▲24,427千円）
- ・学務管理システム運営費…システムの内製化による減額（対要求基礎額：▲11,412千円）

※参考

シーリング等による削減達成額：45,951千円

うち、シーリングによる削減額：15,535千円

うち、内製化等の努力による削減額：30,416千円

4 予算編成の内訳

当初予算規模：4, 155, 413千円（対前年度当初：+189, 567千円）

〔対前年度当初予算比での主な増額項目〕

○教育研究支援経費

- ・洋雑誌等の価格高騰による学術情報センター経費の増額（対前年度当初：+3, 067千円）
- ・情報ネットワークシステムの契約統合・更新による情報システムセンター経費の増額（対前年度当初：+14, 850千円）
- ・室の新設に伴う情報戦略推進室経費（仮称）の増額（対前年度当初：+1, 101千円）

○一般管理費

- ・価格高騰による光熱水費の増額（対前年度当初：+139, 066千円）
- ・太白キャンパスの学生用バス買い替えによる公用車等経費の増額（対前年度当初：+21, 654千円）
- ・太白キャンパス食品加工棟改修工事及びデータ&メディアコモンズの環境整備による施設・環境整備費の増額（対前年度当初：+1, 367千円）

○大規模修繕費

- ・太白キャンパス南研究棟空調工事による増額（対前年度当初：+46, 075千円）

○実験実習機器更新費

- ・食産業学群の成分分析装置調達による増額（対前年度当初：+15, 831千円）

〔対前年度当初予算比での主な減額項目〕

○退職手当費用

- ・定年退職者数の減額（対前年度当初：▲30, 212千円）

〔参考〕目的積立金の取崩状況、予算規模の推移等

R4当初残高 A	R4取崩予定額 B	R5予算計上額 C	残高 A-B-C
470,530	116,708	197,953	155,869

※R4未処分利益未反映

■予算規模の推移(当初予算ベース)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
当初規模	3,472	3,274	3,345	3,711	4,006	3,724	3,812	3,997	3,929	4,013	4,614	4,408	4,018	3,966	4,155
うち新棟建設分											688	422			
増減率	-	94.3	102.2	110.9	108.0	93.0	102.4	104.9	98.3	102.1	115.0	95.5	91.2	98.7	104.8
当初規模(新棟除く)	3,472	3,274	3,345	3,711	4,006	3,724	3,812	3,997	3,929	4,013	3,926	3,986	4,018	3,966	4,155
増減率	-	94.3	102.2	110.9	108.0	93.0	102.4	104.9	98.3	102.1	97.8	101.5	100.8	98.7	104.8

※新棟建設分の実執行額 611百万円（R1:266百万円 R2:345百万円）

5 今後のスケジュール

- | | |
|---------------|----------------|
| 令和5年2月下旬～3月上旬 | 部門予算責任者へ予算内示 |
| 令和5年3月15日（水） | 予算案を教育研究審議会へ報告 |
| 令和5年3月17日（金） | 予算案を経営審議会へ付議 |
| 令和5年3月22日（水） | 予算案を理事会へ付議 |

令和5年度当初予算 原案

<収入>

(単位:千円)

項目	R5当初予算額(案) A	R4当初予算額 B	増減額 A-B	対前年度比 (A/B)×100	備考
運営費交付金 計	2,494,605	2,435,081	59,524	102.4	
01運営費交付金(経常経費)	2,113,769	2,109,747	4,022	100.2	
02運営費交付金(大規模修繕費)	334,357	272,286	62,071	122.8	大規模修繕分増(+46,240) 高額備品分増(+15,831)
03運営費交付金(震災減免)	46,479	53,048	▲ 6,569	87.6	授業料減免相当分減(▲5,864) 入学金減免相当分減(▲705)
授業料収入	812,999	821,695	▲ 8,696	98.9	
入学金収入	146,264	145,465	799	100.6	
検定料収入	30,468	30,468	0	100.0	
受託研究等収入	85,000	80,000	5,000	106.3	年度計画目標額
受託事業等収入	4,982	9,877	▲ 4,895	50.4	共創C受託事業収入の減(▲4,895)
寄附金収入	29,750	14,400	15,350	206.6	奨学寄附金については年度計画目標額 ほか、太白Cバス買い替えに係る後援会からの 補助による増(+15,000)
補助金収益	113,400	113,400	0	100.0	授業料等減免費補助金、後援会助成金
雑収入	61,673	54,483	7,190	113.2	教員宿舍賃貸収入増(+1,656) 生産物売払収益の増(+1,011)ほか
講習料等収入	1,522	1,972	▲ 450	77.2	専門研修受講料減(▲450)
地域振興寄附金取崩	29,312	28,586	726	102.5	共創C人件費相当分増(+726)
宮城大学ネクストリーダース基金積立金取崩	3,000	3,000	0	100.0	
目的積立金取崩	197,953	79,011	118,942	250.5	収支差額
運営費交付金債務取崩	144,485	148,408	▲ 3,923	97.4	
合計	4,155,413	3,965,846	189,567	104.8	

<支出>

(単位:千円)

項目	R5当初予算額(案) A	R4当初予算額 B	増減額 A-B	対前年度比 (A/B)×100	備考
教育経費	206,063	214,189	▲ 8,126	96.2	学群経費減(▲4,191) スチューデントサービスセンター経費減(▲2,554) ほか
研究経費	83,212	83,996	▲ 784	99.1	共通研究費減(▲784)
教育研究支援経費	307,454	293,953	13,501	104.6	学術情報センター経費増(+3,067) 情報システムセンター経費増(+14,850) 共創センター経費減(▲4,369)ほか
受託研究費(直接経費)	76,500	72,000	4,500	106.3	年度計画目標額(直接経費分)
受託事業費	3,977	3,977	0	100.0	大学入学共通テスト実施経費
補助金事業費	3,400	3,400	0	100.0	後援会助成金
寄附金事業費	17,013	16,680	333	102.0	年度計画目標額(直接経費分)
人件費(退職手当費用含む)	2,334,328	2,368,905	▲ 34,577	98.5	役員・教職員人件費減(▲4,365) 退職手当費用減(▲30,212)
一般管理費	780,073	627,259	152,814	124.4	光熱水費増(+139,066) 公用車等経費増(+21,654)ほか
大規模修繕費	284,563	238,488	46,075	119.3	大規模修繕(運営費交付金補てん分)太白C南研究 棟空調工事等による増(+46,240) 発注者支援業務の減(▲165)
実験実習機器更新費	58,830	42,999	15,831	136.8	看護・事業構想分減(▲7,537) 食産分増(+23,368)
合計	4,155,413	3,965,846	189,567	104.8	

看護学群カリキュラムポリシーの一部改正について

1 改正趣旨・内容

令和4年度からの新カリキュラムについて、初年度の実績を踏まえ教育ポリシーの点検を行ったところ、一部に変更が必要となったため、一部改正を行うもの。

なお、アドミッションポリシー及びディプロマポリシーについては従来どおりである。

2 施行年月日

令和5年4月1日から施行し、令和5年度入学生より適用する。

なお、令和4年度以前の入学者（このポリシーの施行の日以後に令和4年度以前の入学者に相当する年次に編入学、転入学又は再入学したものを含む。）については、なお従前の例による。

3 新旧対照表

別紙のとおり

事業構想学研究科ポリシーの一部改正について

1 改正趣旨・内容

事業構想学研究科博士後期課程は令和5年度開始予定のカリキュラムの改編に合わせて、ディプロマポリシー，カリキュラムポリシーの一部改正を行うもの。

なお，アドミッションポリシーについては従来どおりである。

2 施行年月日

令和5年4月1日から施行し，令和5年度入学生より適用する。

なお，令和4年度以前の入学者（このポリシーの施行の日（以下「施行日という。」）の前日までに退学又は除籍となり，施行日以後に当該研究科に再入学したものを含む。）については，なお従前の例による。

3 新旧対照表

別紙のとおり

宮城大学学則の一部改正について

1. 改正趣旨

- (1) 本学運用の実態に合わせ、卒業時期（卒業の日付）を定めていたものを削除するもの。
- (2) 令和 4 年度からの新カリキュラムについて、初年度の実績を踏まえ教育内容の点検を行い、更にポリシーに沿った学びの体系化を図るため、一部科目の配当年次及び開講時期の変更を行うもの。また、別表の整合性を図るため文言の整理を行うもの。

2. 改正内容

- (1) 第 4 3 条（卒業の時期）の削除
- (2)-1 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）1 看護学群看護学類（令和 4 年度以降入学生用）
「実践看護英語演習」1 科目の配当年次及び開講期の変更
- (2)-2 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）2 事業構想学群事業プランニング学類（令和 4 年度以降入学生用）
「地域プロジェクトマネジメント」1 科目開講期変更
- (2)-3 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）3 事業構想学群地域創生学類（令和 4 年度以降入学生用）
「地域創生特別講義Ⅰ」，「地域実践演習 a」，「地域創生特別講義Ⅱ」，「地域実践演習 b」，「地域プロジェクトマネジメント」5 科目の開講期変更
- (2)-4 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）4 事業構想学群価値創造デザイン学類（令和 4 年度以降入学生用）
「地域プロジェクトマネジメント」1 科目の開講期変更
- (2)-5 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）5 食産業学群生物生産学類（令和 4 年度以降入学生用）
「品質保証システム演習」1 科目の開講期変更
- (2)-6 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）6 食産業学群フードマネジメント学類（令和 4 年度以降入学生用）
「品質保証システム演習」1 科目の開講期変更
- (2)-7 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）の 1 看護学群看護学類（令和 3 年度入学生用）の削除及び（令和 4 年度以降入学生用）の文言削除
- (2)-8 別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）の基盤教育科目「全学自由ゼミ」，「アントレプレナー基礎」2 科目の配当年次の変更

3. 施行年月日

- (1) 令和 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし，第 4 3 条の改正規定は，同年 2 月 22 日から施行する。
- (2) 改正後の別表第一（第 3 3 条，第 4 1 条関係）の規定は，令和 5 年度入学者から適用し，令和 4 年度以前の入学者（この規則の施行の日以後に令和 4 年度以前の入学者に相当する年次に編入学，転入学又は再入学したものを含む。）については，なお従前の例による。

4. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

5. 改正後全文 別紙のとおり

宮城大学履修規程の一部改正について

1. 改正趣旨

令和 4 年度からの新カリキュラムについて、初年度の実績を踏まえ教育内容の点検を行い、更なるポリシーに沿った学びの体系化を図るため、一部科目の配当年次及び開講時期の変更を行うもの。また、別表の整合性を図るため文言の整理を行うもの。

2. 改正内容

(1) 別表 1 看護学群看護学類 (第 2 条関係)

「実践看護英語演習」1 科目の配当年次及び開講期の変更

(2) 別表 2 事業構想学群事業プランニング学類 (第 2 条関係)

「地域プロジェクトマネジメント」1 科目開講期変更

(3) 別表 3 事業構想学群地域創生学類 (第 2 条関係)

「地域創生特別講義 I」, 「地域実践演習 a」, 「地域創生特別講義 II」, 「地域実践演習 b」, 「地域プロジェクトマネジメント」5 科目の開講期変更

(4) 別表 4 事業構想学群価値創造デザイン学類 (第 2 条関係)

「地域プロジェクトマネジメント」1 科目の開講期変更

(5) 別表 5 食産業学群生物生産学類 (第 2 条関係)

「品質保証システム演習」1 科目の開講期変更

(6) 別表 6 食産業学群フードマネジメント学類 (第 2 条関係)

「品質保証システム演習」1 科目の開講期変更

(7) 別表(第 2 条関係)の基盤教育科目「全学自由ゼミ」, 「アントレプレナー基礎」2 科目の配当年次の変更

3. 施行年月日

(1) この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

(2) 改正後の別表 1 看護学群看護学類 (第 2 条関係) から別表 6 食産業学群フードマネジメント学類 (第 2 条関係) までの規定は、令和 5 年度入学者から適用し、令和 4 年度以前の入学者 (この規則の施行の日以後に令和 4 年度以前の入学者に相当する年次に編入学、転入学又は再入学したものを含む。) については、なお従前の例による。

4. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

5. 改正後全文 別紙のとおり

宮城大学大学院学則の一部改正について

1. 改正趣旨

- (1) 事業構想学研究科博士前期課程において、令和 3 年度から始まった新カリキュラムの完成年度となり、教育内容の点検を行い更なる改善を行うため、開講科目の見直しを行うもの。
- (2) 事業構想学研究科博士後期課程において、カリキュラム改編に伴い、開講科目の変更を行うもの。

2. 改正内容

- (1) 別表（第 3 1 条，第 3 7 条，第 3 8 条関係） 3 事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（前期 2 年の課程）
「地域経済デザイン」 1 科目を新たに加え、「機械学習と最適化理論」，「ICT ソリューション」，「ツーリズムマネジメント」，「施設デザイン」の 4 科目を削除。
- (2) 別表（第 3 1 条，第 3 7 条，第 3 8 条関係） 4 事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（後期 3 年の課程）
専門領域の廃止に伴い、授業科目名称を変更。

3. 施行年月日 令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

改正後の別表（第 3 1 条，第 3 7 条，第 3 8 条関係） 3 事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（前期 2 年の課程）及び 4 事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（後期 3 年の課程）の規定は、令和 5 年度入学者から適用し、令和 4 年度以前の入学者（この規則の施行の日（以下「施行日という。」）の前日までに退学又は除籍となり、施行日以後に当該研究科に再入学したものを含む。）については、なお従前の例による。

4. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

5. 改正後全文 別紙のとおり

宮城大学事業構想学研究科履修規程の一部改正について

1. 改正趣旨

- (1) 事業構想学研究科博士前期課程において、令和 3 年度から始まった新カリキュラムの完成年度となり、教育内容の点検を行い更なる改善を行うため、開講科目の見直しを行うもの。
- (2) 事業構想学研究科博士後期課程において、カリキュラム改編に伴い、専門領域の廃止及び開講科目の変更を行うもの。

2. 改正内容

- (1) 別表（第 2 条関係）事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（前期 2 年の課程）
「地域経済デザイン」1 科目を新たに加え、「機械学習と最適化理論」、「ICT ソリューション」、「ツーリズムマネジメント」、「施設デザイン」の 4 科目を削除
- (2) 別表（第 2 条関係）事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（後期 3 年の課程）
専門領域「産業・事業システム領域」、「地域・社会システム領域」を廃止し、新たな科目区分「ビジネスデザイン系」、「ソーシャルデザイン系」、「空間デザイン系」、「情報デザイン系」を加え、併せて授業科目名を変更

3. 施行年月日 令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

改正後の別表（第 2 条関係）事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（前期 2 年の課程）及び事業構想学研究科事業構想学専攻博士課程（後期 3 年の課程）の規定は、令和 5 年度入学者から適用し、令和 4 年度以前の入学者（この規程の施行の日（以下「施行日という。」）の前日までに退学又は除籍となり、施行日以後に当該研究科に再入学したものを含む。）については、なお従前の例による。

4. 改正案新旧対照表 別紙のとおり

5. 改正後全文 別紙のとおり

理事長・学長の分離に伴う公立大学法人 宮城大学業務方法書等の一部改正について

1 改正の趣旨

本学の運営体制を令和5年4月から理事長・学長分離型へ変更することに伴って、公立大学法人宮城大学業務方法書等について一部を改正するもの。

2 改正内容

理事長・学長分離型のメリットを最大限に発揮するため、法令に定められた役割を基に、理事長は法人の代表として法人経営のマネジメントに、学長は大学の包括的な最終責任者としての教育研究に専念できるよう、別紙「理事長・学長の分担」のとおり整理し、これを基に関係規則等を改正する。主な改正内容は次のとおり。

【根拠法令（抜粋）】

- 地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）
第13条 理事長は、地方独立行政法人を代表し、その業務を総理する。
- 学校教育法（昭和22年法律第26号）
第92条第3項 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

(1) 監査結果の報告先の整理（業務方法書）

監事及び監事監査に関する規程に定める事項として、監査結果の報告先を学長から理事長に改める。

(2) 構成員の整理（基本規則、各委員会運営規程等）

- ・ 教育研究審議会の構成員で学長と副理事長が重複することになるため、副理事長を除く。また、理事長はオブザーバーとして出席できることとする。
- ・ 懲戒審査会構成員から副理事長を除く。
- ・ 役職員交通事故等調査・審査小委員会の構成員から副理事長を除く。
- ・ 評価委員会委員となる副学長は、理事長が指名する。
- ・ 広報委員会委員に広報担当理事を追加する。
- ・ 研究委員会委員となる副学長は、学長が指名する。
- ・ 特別入札委員会の構成員に理事長を追加する。

(3) 教員の任免規定の整理（基本規則、教員人事規程、学群長選考規程等）

採用、昇任、再任、副学長及び学群長等の任命は、学長の申出に基づき理事長が行う。

(4) 研究、地域連携（発明等取扱規程、受託研究取扱規程等）

- ・ 職務発明の認定は学長、権利の譲渡及び承継の決定は理事長が行う。
- ・ 研究成果有体物の外部機関への提供及び外部機関からの受入れの承認は、学長の申出に基づき理事長が決定し、外部機関と契約を締結する。
- ・ 研究費の配分は、学長が行う。

- ・ 共同研究，受託研究及び奨学寄附の受入れ等は，学長の申出に基づき理事長が承認又は決定する。
 - ・ 連携講座の開講等は，学長の申出に基づき理事長が決定する。
 - ・ 研究倫理の保持，研究活動上の不正行為及び研究費の不正使用防止は，学長が担当する。
 - ・ 客員研究員，研究員の受入れ承認等は，学長の申出に基づき理事長が決定する。
- (5) **権限の整理**（事務決裁規程，会計規程，文書規程）
- ・ 副理事長（学長）から，理事（総務担当）へ権限（役割）を変更する。
副学長及び学群長等の兼業に関する決裁権限，出納責任者
 - ・ 学長及び理事長へ回議するため，決裁順序の整理，回議書様式の改正を行う。
- (6) **その他**（旅費規程，役員等報酬規程）
- ・ 特別車両料金等の支給対象に副理事長を追加する。
 - ・ 理事長及び学長となる副理事長の報酬を改定する。

3 施行年月日（適用年月日）

(1) 上記 2 (1) について

宮城県知事の認可のあった日から施行し，令和 5 年 4 月 1 日から適用する。

(2) 上記 2 (2) から上記 2 (6) までについて

令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

令和5年度当初予算案について

令和5年3月22日
財務担当理事

1 令和5年度当初予算編成方針について

令和5年度当初予算編成については、令和4年度から顕在化した光熱水費の急騰を契機に、支出全般に効率化係数を設定した緊縮型の予算編成を進めてきたところである。シーリングを伴う事業見直しによる支出削減と目的積立金の活用により、教育・研究の推進及び第3期中期計画の着実な遂行を図るため必要な予算額を確実に担保し、優先度の高い事業に費用配分を行った。

なお、光熱水費の負担増に対して、3月に県の運営費交付金の追加措置が行われることとなり、財務上の逼迫感はやや緩和されたことから、新年度以降に発生する新規事業については、弾力的かつ実効的に対応していく方針とするものである。

〔令和5年度当初予算規模〕

4,155,413千円（対前年度比 +189,567千円（+4.8%））

〔主な増費目〕

- ・教育研究支援経費：洋雑誌、データベース、電子ジャーナル経費等の増（+3,067千円）
情報ネットワークシステム経費の増（+14,850千円）
情報戦略推進室経費（仮称）の増（+1,101千円）
- ・一般管理費：光熱水費の増（+139,066千円）
バス買い替えによる公用車等経費の増（+21,654千円）
太白キャンパス食品加工棟改修工事及びデータ&メディアコモンズの環境整備経費の増（+1,367千円）
- ・大規模修繕費：太白キャンパス空調工事費の増（+46,075千円）
- ・実験実習機器更新費：食産業学群調達機器の増（+15,831千円）

〔主な減費目〕

- ・退職手当費用：定年退職者数の減（▲30,212千円）

2 収入

大学院生の入学見込数の減等により授業料収入は減額となったが、光熱水費高騰分の運営費交付金による措置が決定したことなどから、運営費交付金収入が増額し、全体的には増額となる。

(1) 運営費交付金：2,600,267千円（対前年度比 +165,186千円（+6.8%））

第3期中期計画に基づく宮城県からの措置額を前提に計上。通常分については光熱水費の高騰分の補てんとして105,662千円の増額が認められたほか、大規模修繕分についても令和5年度に太白キャンパスで大型の空調工事が予定されていることで前年度比増額となっている。一方で震災減免補てん分については、近年の減免実績に基づき減額となっている。

(単位：千円)

	R5	R4	増減額		備考
				率(%)	
通常分	2,219,431	2,109,747	109,684	5.2	光熱水費高騰による補てん額の増
大規模修繕分 (高額備品含む)	334,357	272,286	62,071	22.8	大規模修繕措置見合収入：275,527(+46,240) 高額備品措置見合収入：58,830(+15,831)
震災減免補てん分	46,479	53,048	▲6,569	▲12.4	R5年度も継続
計	2,600,267	2,435,081	165,186	6.8	

〔参考〕収入全体に対する運営費交付金の占める割合…R4：61.4% → R5：62.6%

(2) 自己収入：1,052,926千円（対前年度比 ▲1,157千円（▲0.1%））

授業料収入については、大学院生数の減少を見込んだため減額となっている一方で、教員宿舍賃貸収入などの雑収入が全体的に増額となっており、全体として前年度と同額程度となっている。

（単位：千円）

	R5	R4	増減額		備考
				率(%)	
授業料収入	812,999	821,695	▲ 8,696	▲ 1.1	大学院生数の減
入学金収入	146,264	145,465	799	0.5	
その他	93,663	86,923	6,740	7.8	教員宿舍賃貸収入の増 財産貸付に係る光熱水費徴収分の増
計	1,052,926	1,054,083	▲ 1,157	▲ 0.1	

(3) その他

①外部資金：233,132千円（対前年度比 +15,455千円（+7.1%））

受託研究等収入及び寄附金収入のうちの奨学寄附金収入については、年度計画目標額を計上。受託事業等収入は研究推進・地域未来共創センターの受託事業収入について減額となっているが、寄附金収入においては、太白キャンパスの学生用バス買い替え費用について、後援会から15,000千円（上限）の補助が見込まれており、全体として増額となっている。

（単位：千円）

	R5	R4	増減額		備考
				率(%)	
受託研究等収入	85,000	80,000	5,000	6.3	年度計画目標額
受託事業等収入	4,982	9,877	▲ 4,895	▲ 49.6	研究推進・地域未来共創センター受託事業収入の減
寄附金収入	29,750	14,400	15,350	106.6	奨学寄附金については年度計画目標額 ほか、太白Cバス買い替えに係る後援会からの補助による増
補助金等収益	113,400	113,400	0	0.0	授業料等減免費補助金及び後援会助成金 (いずれもR4と同額)
計	233,132	217,677	15,455	7.1	

②目的積立金取崩：92,291千円（対前年度比 +13,280千円（+16.8%））

収支差額を計上。令和4年度の目的積立金取崩額（最終補正予算後）は116,708千円、令和4年度末の目的積立金残高見込額は353,822千円となっており、令和5年度当初予算時点での目的積立金残高見込額は261,531千円となっている。

（単位：千円）

	R5	R4	増減額		備考
				率(%)	
目的積立金取崩	92,291	79,011	13,280	16.8	不足財源補てん分

③その他積立金等取崩：176,797千円（対前年度比 ▲3,197千円（▲1.8%））

（単位：千円）

	R5	R4	増減額		備考
				率(%)	
地域振興 寄附金取崩	29,312	28,586	726	2.5	研究推進・地域未来共創センター人件費4名分 (常勤職員3名, 事務補助1名)
ネクストリーダーズ 基金積立金取崩	3,000	3,000	0	0.0	ネクストリーダーズ基金事業に充当
運営費交付金 債務取崩	144,485	148,408	▲ 3,923	▲ 2.6	人件費精算対象となる運営費交付金のR4年度執行残 見込額
計	176,797	179,994	▲ 3,197	▲ 1.8	

3 支出

光熱水費の高騰等の特殊要因を中心に増額配分を行いながらも、第3期中期計画の着実な推進のため、必要経費については確実に予算を担保する措置を行った。

(1) 教育・研究への対応

主な増額事業	予算額 (千円)	備考
看護学群・研究科 アクティブラーニング環境整備費の増額	2,163	シミュレーター等経費
事業構想学群・研究科 デジタル・トランスフォーメーション教育への利活用機会の展開事業	690	実習用教材及びコンテンツ編集費用
研究科におけるカリキュラムの専門性高度化事業	964	映像制作・編集費用
食産業学群・研究科 実験実習機器メンテナンス費用の増額	13,672	機器の経年劣化等による増額
農場運営に係る乳牛の買い替え費用	1,000	牛乳の生産量減による買い替え
食品加工棟改修工事費用(施設・環境整備費)	33,000	HACCP導入に伴う給排水・空調設備等の移設更新費用
アドミッションセンター経費 学生確保対策に係る高校訪問実施経費の増額	1,115	訪問先都道府県数の増加
学術情報センター経費 資料費(洋雑誌, 電子ジャーナル契約, 商用データベース使用料等)の増額	66,346	為替の影響による価格高騰
学生のための設備整備 太白C・学生用バス買い替え費用(公用車等経費)	22,019	バスの経年劣化による買い替え
アクティブラーニングの充実のための施設整備 太白C・データ&メディア commons 整備費用(施設・環境整備費)	8,715	整備に係る改修工事費用

(2) 組織の充実強化への対応

主な増額事業	予算額 (千円)	備考
情報戦略推進室経費(仮称) 情報分析経費の増額	1,101	室の新設に伴う予算科目新設(皆増)
理事長・副理事長・理事人件費 理事長・学長分離による増	55,048	対前年度比:+4,361千円
非常勤教員人件費 学群への非常勤教員配置の増	45,460	対前年度比:+8,387千円
事務職員人件費 運営費交付金算定対象職員数の増	473,840	対前年度比:21,519千円

(3) 適切な施設・設備の維持管理への対応

主な増額事業	予算額 (千円)	備考
情報システムセンター経費 Wi-Fiエリア拡大やセキュリティ・通信速度の向上等による増額	184,209	対前年度比:+14,850千円
庁舎管理経費 施設総合管理業務委託の契約更新による増額	281,700	対前年度比:+12,550千円
光熱水費 電気代・ガス代の価格高騰による増額	279,472	対前年度比:+139,066千円
財務会計システム運営費 インボイス制度開始に伴うシステム改修費の増額	6,050	対前年度比:+1,694千円

(4) 施設老朽化への対応（大規模修繕工事）

主な事業	予算額 (千円)	備考
大規模修繕費	284,563	
大和キャンパス修繕工事4件(交流棟照明LED化, 変電設備・放送設備更新, 空調設備修繕, 給湯設備・排水設備修繕)	119,992	対前年度比: ▲46,386千円(教員宿舎分含む)
太白キャンパス修繕工事1件(南研究棟空調設備更新)	155,535	対前年度比: +92,626千円
大規模修繕工事に係る発注等業務支援の外部委託	9,036	対前年度比: ▲165千円
実験実習機器更新費	58,830	対前年度比: +15,831千円

4 財政面について

昨今の光熱水費の高騰は本学の財政へ多大な影響を及ぼしており、令和5年度当初予算においては、光熱水費が対前年度比で139百万円超の増額見込みの中で、第3期中期計画の着実な推進を図る必要があることから、令和5年2月の予算原案の段階では、198百万円という多額の目的積立金取崩を想定し予算編成を行った。

一方で、今般、令和4年度及び令和5年度において、光熱水費の高騰分について宮城県からの補てん措置がある旨の内示を受けたことにより、令和5年度の目的積立金取崩額は、92百万円と予算原案段階から106百万円の減額となったところである。今後は、光熱水費の高騰に対する県の継続的な補てんが不透明なことや、物価全体の高騰による施設の老朽化対策や既存事業の実施に対する影響を考慮すれば、引き続き、不要不急な経費の削減に努めつつ、目的積立金を効率的に活用し、第3期中期計画を推進していく必要がある。

■当初予算総額に占める目的積立金取崩計上額の割合

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
当初予算総額(A)	3,812	3,997	3,929	4,013	4,614	4,408	4,018	3,966	4,155
目的積立金取崩計上額(B)	0	143	119	169	500	419	0	79	92
B/A(%)	0.0	3.6	3.0	4.2	10.8	9.5	0.0	2.0	2.2

■目的積立金の残高推移

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
期首残高(A)	625	638	663	674	655	638	369	470	353
[参考]当初予算取崩額	0	143	119	169	500	419	0	79	92
取崩額(B)	135	40	39	30	23	370	0	※2 117	※3 92
当期末処分利益(C)	148	65	50	11	6	※1 101	101	未反映	未反映
期末残高A-B+C	638	663	674	655	638	369	470	353	261

※1 努力認定分(運営費交付金債務収益化分を除く)

※2 現計予算額(最終補正予算後)

※3 当初予算額と同額

5 予算執行について

コロナ対応が新しい局面に移行する中で、中期計画事業を着実に進展していく。また、予算編成過程で削減された経費及び目的積立金の活用により、新年度に発生する新規事業・拡充事業に対しても、適切に補正予算対応等を行っていくこととする。

公立大学法人宮城大学 令和5年度当初予算(案)

表1 令和5年度予算(収入)

(単位:千円)

款	項	目	R5当初予算額 A	備考	R4当初予算額 B	対前年度比 A-B	増減率
01 経常収益	01 運営費交付金	01 運営費交付金(経常経費)	2,219,431	光熱水費高騰による補てん分増補てん相当分:105,662千円	2,109,747	109,684	5.2%
		02 運営費交付金(大規模修繕費)	334,357	大規模修繕分:275,527千円 高価備品分:58,830千円	272,286	62,071	22.8%
		03 運営費交付金(震災減免)	46,479	前年度実績に基づく減	53,048	▲ 6,569	▲ 12.4%
		運営費交付金 計	2,600,267		2,435,081	165,186	6.8%
	02 授業料収入	01 学群・研究科	812,999		821,695	▲ 8,696	▲ 1.1%
	03 入学金収入	01 学群・研究科	146,264		145,465	799	0.5%
	04 検定料収入	01 学群・研究科	30,468		30,468	0	0.0%
	05 受託研究等収入	01 受託研究収入	85,000	年度計画目標額	80,000	5,000	6.3%
		02 共同研究収入	0		0	0	
		受託研究等収入 計	85,000		80,000	5,000	6.3%
	06 受託事業等収入	01 大学入学共通テスト事業収入	3,977		3,977	0	0.0%
		02 研究推進・地域未来共創センター収入	1,005	農林中金みらい基金分減	5,900	▲ 4,895	▲ 83.0%
		受託事業等収入 計	4,982		9,877	▲ 4,895	▲ 49.6%
	07 寄附金収入	01 宮城大学ネクストリーダース'基金	0		0	0	
		02 宮城大学奨学寄附金収入	14,750	年度計画目標額	14,400	350	2.4%
		03 その他寄附金	15,000	太白C学生用バス買い替えに係る後援会からの補助	0	15,000	皆増
		寄附金収入 計	29,750		14,400	15,350	106.6%
	08 補助金等収益		113,400	授業料等減免費補助金:110,000千円 後援会助成金:3,400千円	113,400	0	0.0%
	09 財務収入		0		0	0	
	10 雑収入	01 各種証明料収入	197		195	2	1.0%
		02 科学研究費補助金間接経費収入	23,077	年度計画目標額	22,154	923	4.2%
03 教員宿舍賃貸収入		14,942	入居者数の増	13,286	1,656	12.5%	
04 その他財産貸付料収入		4,808		4,110	698	17.0%	
05 生産物売払収益		5,334	家畜売払収入等の増	4,323	1,011	23.4%	
06 その他雑益		13,315	財産貸付に係る光熱水費徴収分の増	10,415	2,900	27.8%	
雑収入 計		61,673		54,483	7,190	13.2%	
11 講習料収入	02 専門研修受講料	1,522		1,972	▲ 450	▲ 22.8%	
05 地域振興寄附金取崩		29,312		28,586	726	2.5%	
06 宮城大学ネクストリーダース'基金積立金取崩		3,000		3,000	0	0.0%	
07 目的積立金取崩		92,291	収支差額	79,011	13,280	16.8%	
08 運営費交付金債務取崩		144,485		148,408	▲ 3,923	▲ 2.6%	
合計			4,155,413		3,965,846	189,567	4.8%

表2 令和5年度予算(支出)

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R5当初予算額 A	備考	R4当初予算額 B	対前年度比 (A-B)	増減率	
01 經常費用	01 業務費	01 教育経費	01 学群経費	11看護学群教育費	13,092	コピー代333千円含む SUS経費⇒基盤から移管(+212千円)	13,071	21	0.2%	
				12看護学群実験実習費	22,505		24,207	▲ 1,702	▲ 7.0%	
				看護学群計	35,597		37,278	▲ 1,681	▲ 4.5%	
				21事業構想学群教育費	16,301	コピー代1,055千円含む SUS経費⇒基盤から移管(+360千円)	15,574	727	4.7%	
				22事業構想学群実験実習費	5,094		5,251	▲ 157	▲ 3.0%	
				29事業構想学群教育改善経費	690		1,216	▲ 526	▲ 43.3%	
				事業構想学部計	22,085		22,041	44	0.2%	
				31食産業学群教育費	15,587	コピー代268千円含む SUS経費⇒基盤から移管(+460千円)	15,595	▲ 8	▲ 0.1%	
				32食産業学群実験実習費	19,476		18,736	740	3.9%	
				33食産業学群農場運営管理経費	13,021		14,838	▲ 1,817	▲ 12.2%	
				食産業学部計	48,084		49,169	▲ 1,085	▲ 2.2%	
				41基盤教育群教育費	11,454	コピー代195千円含む SUS経費⇒学群へ移管	12,923	▲ 1,469	▲ 11.4%	
				学群経費計	117,220		121,411	▲ 4,191	▲ 3.5%	
			02 研究科経費	11看護学研究科教育費	3,884		4,025	▲ 141	▲ 3.5%	
				21事業構想学研究科教育費	2,065		2,128	▲ 63	▲ 3.0%	
				29事業構想学研究科教育改善経費	964		994	▲ 30	▲ 3.0%	
				31食産業学研究科教育費	2,955		3,046	▲ 91	▲ 3.0%	
				研究科経費計	9,868		10,193	▲ 325	▲ 3.2%	
			03 全学学務費	11アドミッションセンター経費	30,116		30,390	▲ 274	▲ 0.9%	
				12カリキュラムセンター経費	7,995	学修行動調査費用⇒SSCから移管(+160千円)	8,244	▲ 249	▲ 3.0%	
				13スケジュールサービスセンター経費	17,180	学修行動調査費用⇒CCへ移管 コンボケーションデイ費用等の減額	19,734	▲ 2,554	▲ 12.9%	
				14キャリア・インターンシップセンター経費	8,699		8,947	▲ 248	▲ 2.8%	
				15地域連携実践教育費	14,985		15,270	▲ 285	▲ 1.9%	
				全学学務費計	78,975		82,585	▲ 3,610	▲ 4.4%	
			教育経費計	206,063		214,189	▲ 8,126	▲ 3.8%		
			02 研究経費	01 教員研究費・海外旅費	01基礎的研究費	35,000		35,000	0	0.0%
					02特別研究費	35,000		35,000	0	0.0%
					03国際研究費	2,000		2,000	0	0.0%
					教員研究費計	72,000		72,000	0	0.0%
					04国際学会等派遣旅費	1,500		1,500	0	0.0%
				02 共通研究経費	02共通研究費	9,712	研究推進・地域未来共創推進費の減額	10,496	▲ 784	▲ 7.5%
			研究経費計	83,212		83,996	▲ 784	▲ 0.9%		
			03 教育研究支援経費	01 学術情報センター経費	77,062	為替の影響による電子ジャーナル契約等の増	73,995	3,067	4.1%	
				02 情報システムセンター経費	184,209	情報ネットワークシステムの契約更新による増	169,359	14,850	8.8%	
				03 国際交流・留学生センター経費	6,535		7,212	▲ 677	▲ 9.4%	
				04 研究推進・地域未来共創センター経費	36,323	受託事業費の減	40,692	▲ 4,369	▲ 10.7%	
				06 専門研修経費	1,522		1,972	▲ 450	▲ 22.8%	
				07 高大連携事業費	702		723	▲ 21	▲ 2.9%	
				08 情報戦略推進室経費	1,101	予算科目新設	0	1,101	皆増	
				教育研究支援経費計	307,454		293,953	13,501	4.6%	
			04 受託研究費	01 受託研究費(直接経費)	76,500	年度計画目標額	72,000	4,500	6.3%	
				02 共同研究費(直接経費)	0		0	0		
			受託研究費(直接経費)	76,500		72,000	4,500	6.3%		
			05 受託事業費	01 受託事業費	01 大学入学共通テスト実施経費	3,977		3,977	0	0.0%
				受託事業費計	3,977		3,977	0	0.0%	
			06 補助金事業	01 補助金事業	01 後援会助成金	3,400		3,400	0	0.0%
				補助金事業費計	3,400		3,400	0	0.0%	
07 寄附金事業	01 奨学寄付金研究経費(直接経費)	14,013	年度計画目標額	13,680	333	2.4%				
	02 宮城大学ネストラーゲース基金事業費	3,000		3,000	0	0.0%				
寄附金事業費計	17,013		16,680	333	2.0%					

表2 令和5年度予算(支出)

(単位:千円)

款	項	目	細目	細々目	R5当初予算額 A	備考	R4当初予算額 B	対前年度比 (A-B)	増減率				
01	業務費	08役員人件費	01	理事長・副理事長・理事人件費	55,048	理事長・学長分離による増	50,687	4,361	8.6%				
				02	監事人件費	945		945	0	0.0%			
				役員人件費計		55,993		51,632	4,361	8.4%			
		09教員人件費	01	教員人件費	1,525,637		1,559,303	▲ 33,666	▲ 2.2%				
				02	非常勤教員人件費	45,460	任用計画額どおり	37,073	8,387	22.6%			
				03	特任教員人件費	40,644		41,520	▲ 876	▲ 2.1%			
				教員人件費計		1,611,741		1,637,896	▲ 26,155	▲ 1.6%			
		10事務職員人件費	01	事務職員人件費	473,840	運営費交付金算定対象職員の増	452,321	21,519	4.8%				
				02	非常勤事務職員人件費	138,296		142,386	▲ 4,090	▲ 2.9%			
				事務職員人件費計		612,136		594,707	17,429	2.9%			
			人件費計		2,279,870		2,284,235	▲ 4,365	▲ 0.2%				
			業務費計		2,977,489		2,972,430	5,059	0.2%				
	01	経常費用	01	法人費用	01役員等費用	1,859	新体制への変更に伴う出張旅費等の増	1,738	121	7.0%			
					02	経営審議会費	187		274	▲ 87	▲ 31.8%		
					04	弁護士、社労士、会計士、税理士費用	3,597		3,784	▲ 187	▲ 4.9%		
					05	会計監査人費用	7,986		7,986	0	0.0%		
					07	評価関連費用	437		460	▲ 23	▲ 5.0%		
						法人費用計		14,066		14,242	▲ 176	▲ 1.2%	
				02	事務経費	01	01	庁舎管理経費	281,700	施設総合管理業務委託の契約更新による増	269,150	12,550	4.7%
							02	光熱水費	279,472	電気代及びガス代の高騰による増	140,406	139,066	99.0%
							03	公用車等経費	26,931	太白C学生用バスの買い替えによる増	5,277	21,654	410.3%
							04	事務局経費	27,916		29,223	▲ 1,307	▲ 4.5%
							05	財務会計システム運営費	6,050	法改正に伴うシステム改修費の増	4,356	1,694	38.9%
							06	給与計算アウトソーシング	634		667	▲ 33	▲ 4.9%
							07	銀行振込手数料	1,051	給与振込手数料の減(減免対象のため)	1,695	▲ 644	▲ 38.0%
							08	職員健康診断費	677		734	▲ 57	▲ 7.8%
							09	職員採用経費	1,533		1,613	▲ 80	▲ 5.0%
10							産業医	1,536		1,536	0	0.0%	
03			維持修繕費	01	01	建物設備維持管理経費	33,957		38,902	▲ 4,945	▲ 12.7%		
					02	施設・環境整備費	41,715	食品加工棟改修工事及び太白Cデータ&メディア commons 工事費分	40,348	1,367	3.4%		
						維持修繕費計		75,672		79,250	▲ 3,578	▲ 4.5%	
					04	企画・広報費	34,408		35,329	▲ 921	▲ 2.6%		
					05	教員宿舍費	2,265		3,884	▲ 1,619	▲ 41.7%		
						一般管理費計		780,073		627,259	152,814	24.4%	
						経常費用計(退職金を除く)		3,757,562		3,599,689	157,873	4.4%	
						02退職手当費用		54,458	定年退職者数の減	84,670	▲ 30,212	▲ 35.7%	
			経常費用計(退職金を含む)		3,812,020		3,684,359	127,661	3.5%				
			03大規模修繕費		284,563	太白C南研究棟空調工事の増	238,488	46,075	19.3%				
			04実験実習機器更新費		58,830	事業:2,345千円 食産:56,485千円	42,999	15,831	36.8%				
			合計		4,155,413		3,965,846	189,567	4.8%				

就業規則等の一部改正（特別休暇等）について

1 改正趣旨

公立大学法人宮城大学就業規則（以下「就業規則」という。）及び公立大学法人宮城大学有期雇用職員就業規則（以下「有期雇用職員就業規則」という。）について、設立団体である宮城県の人事委員会規則 8-5（職員の勤務時間、休暇等に関する規則）の改正に準じた規程の改正を行うもの。

2 改正の内容

- (1) **出産補助休暇の対象範囲の拡大及び名称変更等**（いわゆる「職員の妻の出産休暇」を「出産補助休暇」に変更）

（就業規則第 37 条第 1 項第 2 号，有期雇用職員就業規則第 22 条第 1 項第 2 号カ）

 - ・対象範囲について、「職員の妻」の出産に「子若しくは子の配偶者」の出産を追加。
 - ・取得対象期間「出産に係る入院等の日から当該出産の日後 2 週間を経過する日までの期間において」を明記。
- (2) **育児参加休暇の対象範囲の拡大及び名称変更等**（「男性職員の育児参加休暇」を「育児参加休暇」に変更）

（就業規則第 37 条第 1 項第 3 号，有期雇用職員就業規則第 22 条第 1 項第 2 号ヨ）

 - ・対象範囲について、「職員の妻が出産する場合であって、当該出産に係る子又は小学校の就学の始期に達するまでの子を養育する職員が、当該子の養育のため勤務しないことが相当であるとき」に「子若しくは子の配偶者」が出産する場合であって、「当該出産に係る孫又は小学校就学の始期に達するまでの孫の世話をするため勤務しないことが相当である」ときを追加。
- (3) **「学校等行事参加休暇」の新設**

（就業規則第 37 条第 1 項第 12 の 2 号，有期雇用職員就業規則第 22 条第 3 項第 5 の 2 号）

 - ・対象は、義務教育終了前の子を養育する職員が、その子が在籍する学校等が実施する行事に参加するため勤務しないことが相当であると認められる場合
 - ・1 年度 2 日（義務教育終了前の学校等に在籍する子が 2 人以上の場合にあっては，3 日）以内で必要と認められる期間取得可能
- (4) **文言の整理**
 - ・上記（1）の改正に伴う整理のため、「（配偶者の子を含む。以下同じ。）」を削除する。

（就業規則第 37 条第 1 項第 12 号イ，有期雇用職員就業規則第 22 条第 3 項第 5 号イ）
 - ・就業規則の適用範囲から同条第 4 項業務限定職員を除外する。

（就業規則第 3 条第 1 項）

3 施行年月日

令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

4 新旧対照表

別添のとおり

5 その他

- (1) 就業規則事務取扱要領の改正は別に起案する。
- (2) 業務限定職員の特別休暇については、就業規則就業規則第37条の規定を準用することとしていることから、同規則の改正は不要である。

令和 4 年度

決 算 報 告 書

第 1 4 期

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 3 1 日

公立大学法人宮城大学

令和4年度 決算報告書

公立大学法人宮城大学

(単位:円)

区分	当初予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,435,081,000	2,424,637,172	△ 10,443,828	(注1)
自己収入	1,054,083,000	1,121,923,858	67,840,858	
授業料等収入	999,600,000	1,074,011,280	74,411,280	(注2)
雑収入	54,483,000	47,912,578	△ 6,570,422	(注3)
受託研究等収入	217,677,000	395,256,882	177,579,882	(注4)
目的積立金等取崩	259,005,000	190,569,742	△ 68,435,258	(注5)
計	3,965,846,000	4,132,387,654	166,541,654	
支出				
業務費	3,004,042,000	2,747,132,213	△ 256,909,787	
教育研究経費	635,137,000	579,105,744	△ 56,031,256	
人件費	2,368,905,000	2,168,026,469	△ 200,878,531	(注6)
一般管理費	627,259,000	657,681,036	30,422,036	(注7)
受託研究等経費	96,057,000	199,829,162	103,772,162	
大規模修繕費	238,488,000	210,680,800	△ 27,807,200	(注8)
災害復旧費・復興支援費	0	41,179,786	41,179,786	(注9)
計	3,965,846,000	3,856,502,997	△ 109,343,003	
収入-支出	-	275,884,657	275,884,657	

予算と決算の差異および補正事項について

- (注1) 大規模修繕費・実験実習機器更新費(中期的施設整備計画)の契約請差及び震災減免額の減少による減
- (注2) 授業料収入及び入学金収入(令和5年度入学者分)の増
- (注3) 科学研究費補助金間接経費収入の減
- (注4) 受託研究, 共同研究, 受託事業, 及び補助金収入の増
- (注5) 目的積立金取崩額及び地域振興寄附金債務取崩額の減少による減
- (注6) 教員人件費, 退職手当費用の減
- (注7) 光熱水費の高騰等による増(外部資金間接経費から充当した光熱水費も含む)
- (注8) 契約請差による減
- (注9) 福島県沖地震被害に係る復旧事業費の増

その他

受託研究等収入には, 授業料等減免費補助金が105,242,500円含まれており, 本補助金は授業料等免除に使用しております。

令和4年度 決算報告書
(予算現額との比較版)

[参考資料]

公立大学法人宮城大学

(単位:円)

区分	予算現額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	2,417,021,000	2,424,637,172	7,616,172	(注1)
自己収入	1,080,932,000	1,121,923,858	40,991,858	
授業料等収入	1,029,777,000	1,074,011,280	44,234,280	(注2)
雑収入	51,155,000	47,912,578	△ 3,242,422	(注3)
受託研究等収入	399,546,000	395,256,882	△ 4,289,118	(注4)
目的積立金等取崩	296,702,000	190,569,742	△ 106,132,258	(注5)
目的積立金取崩	116,708,000	31,204,140	△ 85,503,860	
計	4,194,201,000	4,132,387,654	△ 61,813,346	
支出				
業務費	2,989,299,000	2,747,132,213	△ 242,166,787	
教育研究経費	626,613,000	579,105,744	△ 47,507,256	
人件費	2,362,686,000	2,168,026,469	△ 194,659,531	(注6)
一般管理費	699,928,000	657,681,036	△ 42,246,964	(注7)
受託研究等経費	220,577,000	199,829,162	△ 20,747,838	
大規模修繕費	235,919,000	210,680,800	△ 25,238,200	(注8)
災害復旧・復興支援費	48,478,000	41,179,786	△ 7,298,214	(注9)
計	4,194,201,000	3,856,502,997	△ 337,698,003	
収入-支出	-	275,884,657	275,884,657	

予算と決算の差異および補足事項について

- (注1) 光熱水費高騰分の追加補てんによる増
- (注2) 授業料収入及び入学金収入(令和5年度入学者分)の増
- (注3) 科学研究費補助金間接経費収入の減
- (注4) 文科省DX事業の減
- (注5) 目的積立金取崩額及び地域振興寄附金債務取崩額の減少による減
- (注6) 教員人件費、退職手当費用の減
- (注7) 光熱水費の実績減
- (注8) 契約請差による減
- (注9) 福島県沖地震被害に係る復旧事業費の次年度繰越による減

その他

受託研究等収入には、授業料等減免費補助金が105,242,500円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。

令和4年度第4四半期予算執行状況

(単位:千円)

経常収支 (収入)	R4年度計画 [当初予算]	執行済額	執行率	R3年度計画 [当初予算]	R3同期 執行済額	執行率	備考
運営費交付金収入	2,205,794	2,222,992	100.8%	2,464,565	2,459,879	99.8%	通常分+震災減免分+実験実習機器更新費分 R4は予算計上していなかった光熱水費高騰分が追加補てん
授業料等収入	997,628	1,073,310	107.6%	994,960	1,060,172	106.6%	授業料収入+入学金収入+検定料収入 入学金収入については、執行額には減免分を反映していない (入学金はR5年度入学者分、減免分はR4年度入学者分のため)
その他収入 (外部資金間接経費を含む)	65,175	62,056	95.2%	63,491	65,018	102.4%	講習料収入+雑収入+受託研究間接経費+奨学寄附金間接経費 科研費間接経費の減額
地域振興寄附金収入及び取崩額	28,586	9,136	32.0%	23,000	14,619	63.6%	共創C人件費(常勤職員3名+非常勤職員1名)が充当対象 R3・R4ともに、一部対象職員に運営費交付金を充当したため 取崩減
研究推進・地域未来共創センター収入	5,900	13,860	234.9%	6,800	15,862	233.3%	受託事業収入のうち共創C獲得分
経常収入 計	3,303,083	3,381,354	102.4%	3,552,816	3,615,550	101.8%	
(支出)							
教育経費	257,188	218,613	85.0%	258,498	213,668	82.7%	教育経費+実験実習機器更新費
研究経費	83,996	75,304	89.7%	78,536	68,997	87.9%	研究経費/共通研究費の増
教育研究支援経費	293,953	285,188	97.0%	300,358	291,362	97.0%	教育研究支援経費/情報システムセンター経費の減
一般管理費	627,259	657,681	104.8%	610,618	642,027	105.1%	一般管理費/外部資金間接経費による光熱水費充当分含む
人件費	2,368,905	2,168,026	91.5%	2,392,306	2,236,831	93.5%	人件費/退職手当費用の減
経常支出 計	3,631,301	3,404,812	93.8%	3,640,316	3,452,885	94.9%	
経常収支	▲ 328,218	▲ 23,458		▲ 87,500	162,665		

・経常収入:運営費交付金収入が前年度比で237百万円の執行減ではあるが、予算計上をしていなかった光熱水費高騰分の追加補てんが決定したことにより、執行率は100.8%となっている。授業料収入等は前年比で13百万円の執行増、執行率はほぼ同水準となった。一方で、地域振興寄附金債務については取崩額が抑制され執行率が32.0%に留まり、収入計では、執行済額は234百万円減の3,381百万円となった。

・経常支出:一般管理費においては、光熱水費での支出増等により、執行済額は前年度比で16百万円の増額となっている一方で、人件費は前年度比で執行済額が69百万円減額となっている。支出計では、執行済額は48百万円減の3,405百万円となった。

・経常収支全体では、収入が前年度比で234百万円の執行減である一方、支出は48百万円の執行減となっていることから、収支差額は186百万円減となった。結果として、令和4年度の経常収支は▲23百万円となった。

外部資金収支 (収入)	R4年度計画 [当初予算]	執行済額	執行率	R3年度計画 [当初予算]	R3同期 執行済額	執行率	備考
受託研究等収入	72,000	113,524	157.7%	67,500	60,268	89.3%	直接経費相当分のみ/受入額ベース
受託事業等収入	3,977	52,687	1324.8%	3,766	3,827	101.6%	共創C以外の受託事業収入
寄附金収入	13,680	18,898	138.1%	13,300	27,158	204.2%	奨学寄附金直接経費相当分+ネストリーダース基金収入/受入額ベース
補助金収入	113,400	136,462	120.3%	100,584	131,445	130.7%	災害復旧補助金除く
外部資金収入 計	203,057	321,571	158.4%	185,150	222,698	120.3%	
(支出)							
受託研究等支出	72,000	95,881	133.2%	67,500	62,077	92.0%	受託研究・共同研究支出
受託事業等支出	3,977	47,310	1189.6%	3,766	3,814	101.3%	共創C以外の受託事業支出
寄附金支出	16,680	28,123	168.6%	16,300	12,393	76.0%	奨学寄附金支出/ネストリーダース基金事業はR4のみ
補助金支出	3,400	28,515	838.7%	5,400	17,857	330.7%	授業料等減免費補助金・災害復旧補助金除く
外部資金支出 計	96,057	199,829	208.0%	92,966	96,141	103.4%	
外部資金収支	107,000	121,742		92,184	126,557		

・外部資金収入:全体として予算額を上回る獲得実績で、執行済額は大幅増額となり、収入計では、執行率は前年度比で38.1p上昇の158.4%、執行済額は99百万円増加の322百万円となった。

・外部資金支出:収入の獲得実績増額に伴い、支出額も大幅増額となった。寄附金支出については、前年度から繰り越した奨学寄附金収入が多いため、支出額が収入を上回る。支出計では、前年度比で104.6p上昇の208.0%。執行済額は104百万円増加の200百万円となった。

・外部資金収支全体は、外部資金獲得増加で収支とも増加、収支差額は前年度比で5百万円減の122百万円となった。

設備関連収支

(収入)							
運営費交付金収入	229,287	201,645	87.9%	276,991	217,249	78.4%	大規模修繕分(実験実習機器更新費除く)
設備関連収入 計	229,287	201,645	87.9%	276,991	217,249	78.4%	
(支出)							
大規模修繕費	238,488	210,681	88.3%	284,675	224,289	78.8%	運営費充当分+自己財源充当分(発注者支援業務)
設備関連支出 計	238,488	210,681	88.3%	284,675	224,289	78.8%	
設備関連収支	▲ 9,201	▲ 9,035		▲ 7,684	▲ 7,040		

・設備関連収入:運営費交付金精算対象分であり、実績額で補てんされる。

・設備関連支出:令和4年度は、計画額に対する請差額を、大和キャンパス本部棟の屋根修繕等、緊急性の高い計画外の工事へ充当したため、執行率は前年度比で9.5p増の88.3%となっている。また、収支差額は自己財源を充当している発注者支援業務分となっている。

災害復旧・復興支援収支

(収入)							
施設整備補助金収入	0	46,383	皆増	0	0		施設災害復旧事業費補助金分(R4のみ)
災害復旧・復興支援収入 計	0	46,383	皆増	0	0		
(支出)							
災害復旧費支出	0	41,180	皆増	0	0		施設災害復旧事業費補助金分(R4のみ)
災害復旧・復興支援支出 計	0	41,180	皆増	0	0		
災害復旧・復興支援収支	0	5,203		0	0		

・施設整備補助金収入:福島県沖地震に係る損壊復旧費用の補てん分であり、令和4年度中に交付が決定した。

・災害復旧支出:上記損壊復旧費用の支出であり、収支差額は令和5年度執行予定分。

基金積立金 他

(収入)							
目的積立金取崩	79,011	31,204	39.5%	0	0		R3は取崩なし
ネクスリーダース基金積立金取崩	3,000	1,821	60.7%	3,000	0	0.0%	R3は取崩なし
運営費交付金債務取崩	148,408	148,408	100.0%	0	0		R3は中計初年度のため取崩なし
基金積立金等収入 計	230,419	181,433	78.7%	3,000	0	0.0%	
(支出)							
その他	0	0		0	0		
基金積立金等支出 計	0	0		0	0		
基金積立金収支	230,419	181,433		3,000	0		

収入 計	3,965,846	4,132,388	104.2%	4,017,957	4,055,497	100.9%
支出 計	3,965,846	3,856,503	97.2%	4,017,957	3,773,316	93.9%
収支 計	0	275,885		0	282,181	

収入計:外部資金収入の増加や、運営費交付金の追加補てんがあり、前年度比の執行済額は77百万円増の4,132百万円となり、執行率は3.3p上昇の104.2%となった。

支出計:一般管理費及び外部資金の執行増などで、前年度比の執行済額は83百万円増の3,857百万円となり、執行率は3.3p上昇の97.2%となった。

以上から、令和4年度の収支計は、前年度比で6百万円下回る275百万円となった。

- ・ 外部資金間接経費収入は経常収支に計上している。
- ・ 実験実習機器更新費は、教育経費に計上している。
- ・ 授業料等減免費補助金については、収入は補助金収入へ、支出は経常経費へ計上している(授業料収入および奨学金に計上した分は除いている)。

表1 令和4年度第4四半期予算執行状況(収入・決定ベース)

款	項	目	当初予算額 (a)	予算現額 (b)	執行済額 (決定ベース) (c)	差額 (d)=(c)-(b)	執行率 (e)=(c)/(b)	備考	R3年度同期執行状況(決定ベース)			前年比備考	
									R3予算現額	前年度同期 執行済額 (決定ベース)	執行率		執行済額 前年比差額 (R4-R3)
01 經常 収益	01 運営費交付金	01運営費交付金(人件費)	2,109,747,000	2,109,747,000	2,142,601,000	32,854,000	101.6%	通常分 予算超過分は光熱水費高騰 による追加補てん分	2,370,450,000	2,370,450,000	100.0%	▲ 227,849,000	1.6%
		02運営費交付金(大規模修繕費)	272,286,000	262,967,000	237,729,272	▲ 25,237,728	90.4%	大規模修繕分 (中期的施設整備計画およ び実験実習機器更新費分)	282,796,000	251,204,643	88.8%	▲ 13,475,371	1.6%
		03運営費交付金(震災減免)	53,048,000	44,307,000	44,306,900	▲ 100	100.0%	授業料・入学金 震災減免分	55,475,000	55,474,100	100.0%	▲ 11,167,200	0.0%
		運営費交付金計	2,435,081,000	2,417,021,000	2,424,637,172	7,616,172	100.3%		2,708,721,000	2,677,128,743	98.8%	▲ 252,491,571	1.5%
	02 授業料収入		821,695,000	847,313,000	851,955,080	4,642,080	100.5%		842,456,000	843,092,245	100.1%	8,862,835	0.5%
	03 入学金収入		145,465,000	150,024,000	191,449,800	41,425,800	127.6%	R5年度入学者分 減免はR4入学者に対して行 われるため、減免分は反映 せず。入金ベース	144,995,000	185,274,000	127.8%	6,175,800	▲ 0.2%
	04 検定料収入		30,468,000	30,468,000	29,905,400	▲ 562,600	98.2%		30,127,000	31,805,800	105.6%	▲ 1,900,400	▲ 7.4%
	05 受託研究等収入	01受託研究収入	80,000,000	82,568,000	106,157,750	23,589,750	128.6%	受入額ベース	47,812,000	49,516,138	103.6%	56,641,612	25.0%
		02共同研究収入	0	19,080,000	19,980,000	900,000	104.7%	受入額ベース	16,422,000	17,448,778	106.3%	2,531,222	▲ 1.5%
		受託研究等収入計	80,000,000	101,648,000	126,137,750	24,489,750	124.1%		64,234,000	66,964,916	104.3%	59,172,834	19.8%
	06 受託事業等収入	01大学入学共通テスト事業収入	3,977,000	3,977,000	3,574,756	▲ 402,244	89.9%	大学入学共通テスト事業収 入	3,766,000	3,827,004	101.6%	▲ 252,248	▲ 11.7%
		02研究推進・地域未来共創センター収 入	5,900,000	5,900,000	13,860,269	7,960,269	234.9%	受託事業分	6,800,000	15,861,904	233.3%	▲ 2,001,635	1.7%
		03その他の受託事業収入	0	84,464,000	49,112,603	▲ 35,351,397	58.1%	文科省DX事業	0	0		49,112,603	58.1%
		受託事業等収入計	9,877,000	94,341,000	66,547,628	▲ 27,793,372	70.5%		10,566,000	19,688,908	186.3%	46,858,720	▲ 115.8%
	07 寄附金収入	01宮城大学ネストリダーズ基金	0	0	3,156,498	3,156,498	皆増	受入額ベース	0	3,378,490	皆増	▲ 221,992	
		02宮城大学奨学寄附金収入	14,400,000	14,870,000	16,570,000	1,700,000	111.4%	受入額ベース	24,180,000	25,030,650	103.5%	▲ 8,460,650	7.9%
		寄附金収入計	14,400,000	14,870,000	19,726,498	4,856,498	132.7%		24,180,000	28,409,140	117.5%	▲ 8,682,642	15.2%
	08 補助金等収益		113,400,000	188,687,000	182,845,006	▲ 5,841,994	96.9%		131,168,000	131,444,800	100.2%	51,400,206	▲ 3.3%
		(文科省)ウイズコロナ時代の新たな価値創造に対応できる～	0	9,990,000	9,990,000	0	100.0%	R3年度未受入分	0	0		9,990,000	100.0%
		(文科省)次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)	0	0	0	0	0	R4年度事業なし	4,046,000	4,046,000	100.0%	▲ 4,046,000	▲ 100.0%
		(後援会)後援奨励金	3,400,000	3,400,000	3,136,720	▲ 263,280	92.3%		3,400,000	3,379,700	99.4%	▲ 242,980	▲ 7.1%
		(JRA)ウシの競争性向上システム	0	16,093,000	16,093,000	0	100.0%		12,517,000	12,517,000	100.0%	3,576,000	0.0%
		(JKA)複合微生物系による高含水率でのワカメ加工残渣の～	0	2,000,000	2,000,000	0	100.0%		0	0		2,000,000	100.0%
		(宮城県)施設災害復旧事業費補助金	0	48,478,000	46,382,786	▲ 2,095,214	95.7%	R4.3月福島県沖地震による損壊 復旧分	0	0		46,382,786	95.7%
		(宮城県)授業料等減免費補助金	110,000,000	108,726,000	105,242,500	▲ 3,483,500	96.8%		111,205,000	111,502,100	100.3%	▲ 6,259,600	▲ 3.5%
	09 財務収入		0	0	0	0			0	0		0	
10 雑収入	01各種証明料収入	195,000	195,000	179,700	▲ 15,300	92.2%		202,000	202,200	100.1%	▲ 22,500	▲ 7.9%	
	02科学研究費補助金間接経費収入	22,154,000	15,767,000	12,230,222	▲ 3,536,778	77.6%		18,072,000	18,114,867	100.2%	▲ 5,884,645	▲ 22.7%	
	03教員宿舎賃貸収入	13,286,000	14,662,000	14,736,957	74,957	100.5%		14,291,000	13,425,916	93.9%	1,311,041	6.6%	
	04その他財産貸付料収入	4,110,000	4,747,000	4,613,395	▲ 133,605	97.2%		3,273,000	4,891,890	149.5%	▲ 278,495	▲ 52.3%	
	05生産物売払収益	4,323,000	4,323,000	4,165,560	▲ 157,440	96.4%		5,524,000	5,059,512	91.6%	▲ 893,952	4.8%	
	06その他雑益	10,415,000	11,461,000	11,986,744	525,744	104.6%		13,496,000	14,323,097	106.1%	▲ 2,336,353	▲ 1.5%	
	雑収入計	54,483,000	51,155,000	47,912,578	▲ 3,242,422	93.7%		54,858,000	56,017,482	102.1%	▲ 8,104,904	▲ 8.5%	
11 講習料収入	01教員免許状更新講習	0	0	0	0			326,000	326,000	100.0%	▲ 326,000	▲ 100.0%	R3で事業終了
	02専門研修受講料	1,972,000	1,972,000	701,000	▲ 1,271,000	35.5%		2,208,000	726,000	32.9%	▲ 25,000	2.7%	
05 地域振興寄附金基金取崩		28,586,000	28,586,000	9,136,348	▲ 19,449,652	32.0%	人件費相当分であるが、対 象職員の人件費に一部運営 費交付金を充当したため、 予算額より大幅に減額して いる	23,000,000	14,619,140	63.6%	▲ 5,482,792	▲ 31.6%	
06 宮城大学ネストリダーズ基金積立金取崩		3,000,000	3,000,000	1,821,254	▲ 1,178,746	60.7%	4事業分	3,000,000	0	0.0%	1,821,254	60.7%	
07 目的積立金取崩		79,011,000	116,708,000	31,204,140	▲ 85,503,860	26.7%		39,905,000	0	0.0%	31,204,140	26.7%	
08 運営費交付金債務取崩		148,408,000	148,408,000	148,408,000	0	100.0%		0	0		148,408,000	100.0%	R3は第3期中計初年度の ため交付金債務の繰越・取崩なし
合計		3,965,846,000	4,194,201,000	4,132,387,654	▲ 61,813,346	98.5%		4,079,744,000	4,055,497,174	99.4%	76,890,480	▲ 0.9%	

表2 令和4年度第4四半期予算執行状況(支出・決定ベース)

[参考資料]

款	項	目	細目	細目	当初予算額 (a)	予算現額 (b)	執行済額 (決定ベース) (c)	残額 (d)=(b)-(c)	執行率 (e)=(c)/(b)	備考	令和3年度同期執行状況(決定ベース)												
											R3予算現額	前年度同期 執行済額 (決定ベース)	執行率	執行済額 前年比差額 (R4-R3)	執行率 前年比 (R4-R3)	前年比備考							
01 教育経費				11看護学群教育費	13,071,000	13,071,000	11,025,956	2,045,044	84.4%	うちコピー代327,962円	12,815,000	11,917,578	93.0%	▲ 891,622	▲ 8.6%								
				12看護学群実験実習費	24,207,000	24,207,000	18,166,185	6,040,815	75.0%		23,986,000	16,951,854	70.7%	1,214,331	4.4%								
				看護学群計	37,278,000	37,278,000	29,192,141	8,085,859	78.3%		36,801,000	28,869,432	78.4%	322,709	▲ 0.1%								
				21事業構想学群教育費	15,574,000	16,040,000	13,154,709	2,885,291	82.0%	うちコピー代1,037,269円 うちDX事業分:369,255円	16,561,000	12,836,927	77.5%	317,782	4.5%								
				22事業構想学群実験実習費	5,251,000	5,251,000	4,989,453	261,547	95.0%		5,425,000	4,781,903	88.1%	207,550	6.9%								
				29事業構想学群教育改善経費	1,216,000	1,216,000	707,255	508,745	58.2%		373,000	372,610	99.9%	334,645	▲ 41.7%								
				事業構想学群計	22,041,000	22,507,000	18,851,417	3,655,583	83.8%		22,359,000	17,991,440	80.5%	859,977	3.3%								
				31食産業学群教育費	15,595,000	15,595,000	14,899,417	695,583	95.5%	うちコピー代218,277円	12,570,000	11,365,897	90.4%	3,533,520	5.1%								
				32食産業学群実験実習費	18,736,000	21,578,000	21,438,663	139,337	99.4%		21,963,000	21,127,191	96.2%	311,472	3.2%								
				33食産業学群農場実習運営経費	14,838,000	15,858,000	14,586,607	1,271,393	92.0%		9,500,000	9,484,241	99.8%	5,102,366	▲ 7.9%								
				食産業学群計	49,169,000	53,031,000	50,924,687	2,106,313	96.0%		44,033,000	41,977,329	95.3%	8,947,358	0.7%								
				41基礎教育群教育費	12,923,000	12,923,000	6,165,792	6,757,208	47.7%	うちコピー代192,582円	12,857,000	7,200,636	56.0%	▲ 1,034,844	▲ 8.3%								
				学群経費計	121,411,000	125,739,000	105,134,037	20,604,963	83.6%		116,050,000	96,038,837	82.8%	9,095,200	0.9%								
				02 研究科経費				11看護学研究科教育費	4,025,000	4,025,000	2,880,089	1,144,911	71.6%		4,002,000	3,406,916	85.1%	▲ 526,827	▲ 13.6%				
								21事業構想学研究科教育費	2,128,000	2,128,000	1,456,638	671,362	68.5%		3,002,000	2,381,439	79.3%	▲ 924,801	▲ 10.9%				
								29事業構想学研究科教育改善経費	994,000	994,000	987,339	6,661	99.3%		1,237,000	1,235,243	99.9%	▲ 247,904	▲ 0.5%				
								事業構想学研究科計	3,122,000	3,122,000	2,443,977	678,023	78.3%		4,239,000	3,616,682	85.3%	▲ 1,172,705	▲ 7.0%				
								31食産業学研究科教育費	3,046,000	3,046,000	2,495,506	550,494	81.9%		2,876,000	1,315,673	45.7%	1,179,833	36.2%				
								研究科経費計	10,193,000	10,193,000	7,819,572	2,373,428	76.7%		11,117,000	8,339,271	75.0%	▲ 519,699	1.7%				
								03 全学学務費				11アドミッションセンター経費	30,390,000	30,390,000	27,136,280	3,253,720	89.3%		31,535,000	28,849,830	91.5%	▲ 1,713,550	▲ 2.2%
												12カリキュラムセンター経費	8,244,000	8,244,000	5,936,734	2,307,266	72.0%		7,402,000	5,059,896	68.4%	876,838	3.7%
												13スケジュール・イベントサービスセンター経費	19,734,000	18,012,000	16,549,938	1,462,062	91.9%		14,215,000	11,546,613	81.2%	5,003,325	10.7%
												14キャリア・インターンシップセンター経費	8,947,000	8,947,000	8,059,302	887,698	90.1%		8,947,000	6,645,606	74.3%	1,413,696	15.8%
				15地域連携実践教育費	15,270,000	12,992,000	11,892,960					1,099,040	91.5%		23,500,000	16,390,551	69.7%	▲ 4,497,591	21.8%				
				全学学務費計	82,585,000	78,585,000	69,575,214					9,009,786	88.5%		85,599,000	68,492,496	80.0%	1,082,718	8.5%				
				教育経費計	214,189,000	214,517,000	182,528,823	31,988,177	85.1%		212,766,000	172,870,604	81.2%	9,658,219	3.8%								
				02 研究経費				01基礎的研究費	35,000,000	33,063,000	28,965,697	4,097,303	87.6%		34,000,000	28,765,574	84.6%	200,123	3.0%				
								02特別研究費	35,000,000	35,511,000	34,776,554	734,446	97.9%		37,310,000	34,372,932	92.1%	403,622	5.8%				
								03国際研究費	2,000,000	1,489,000	1,489,000	0	100.0%		690,000	690,000	100.0%	799,000	0.0%				
								教員研究費計	72,000,000	70,063,000	65,231,251	4,831,749	93.1%		72,000,000	63,828,506	88.7%	1,402,745	4.5%				
								04国際学会等派遣旅費	1,500,000	1,500,000	600,000	900,000	40.0%		1,500,000	0	0.0%	600,000	40.0%				
								02共通研究費	10,496,000	10,496,000	9,473,847	1,022,153	90.3%		5,956,000	5,168,353	86.8%	4,305,494	3.5%				
								研究経費計	83,996,000	82,059,000	75,305,098	6,753,902	91.8%		79,456,000	68,996,859	86.8%	6,308,239	4.9%				
								03 教育研究支援経費				01学術情報センター経費	73,995,000	73,995,000	69,528,523	4,466,477	94.0%		71,894,000	67,019,528	93.2%	2,508,995	0.7%
												02情報システムセンター経費	169,359,000	169,359,000	168,783,602	575,398	99.7%		181,041,000	178,372,809	98.5%	▲ 9,589,207	1.1%
												03国際交流・留学生センター経費	7,212,000	7,212,000	3,341,082	3,870,918	46.3%		5,314,000	699,868	13.2%	2,641,214	33.2%
				04研究推進・地域未来共創センター経費	40,692,000	40,692,000	42,019,819					▲ 1,327,819	103.3%	委託事業収入を予算より多く 獲得したことによる予算超過	38,368,000	43,002,256	112.1%	▲ 982,437	▲ 8.8%				
				05教員免許状更新講習事業費	0	0	0					0		626,000	354,848	56.7%	▲ 354,848	▲ 56.7%	R3で事業終了				
				06専門研修経費	1,972,000	1,972,000	1,152,329					819,671	58.4%		2,208,000	1,769,398	80.1%	▲ 617,069	▲ 21.7%				
				07高大連携事業費	723,000	723,000	362,596					360,404	50.2%		723,000	142,974	19.8%	219,622	30.4%				
				教育研究支援経費計	293,953,000	293,953,000	285,187,951					8,765,049	97.0%		300,174,000	291,361,681	97.1%	▲ 6,173,730	▲ 0.0%				
				04 受託研究費				01受託研究費(直接経費)	72,000,000	69,119,000	78,402,465	▲ 9,283,465	113.4%	委託研究収入を予算より多く 獲得したことによる予算超過	41,191,000	45,486,144	110.4%	32,916,321	3.0%				
								02共同研究費(直接経費)	0	16,822,000	17,478,761	▲ 656,761	103.9%	共同研究収入を予算より多く 獲得したことによる予算超過	14,452,000	16,591,289	114.8%	887,472	▲ 10.9%				
								受託研究費(直接経費)	72,000,000	85,941,000	95,881,226	▲ 9,940,226	111.6%		55,643,000	62,077,433	111.6%	33,803,793	0.0%				
								受託事業費計	3,977,000	88,441,000	47,309,940	41,131,060	53.5%		3,766,000	3,814,413	101.3%	43,495,527	▲ 47.8%				
				06 補助金事業				ウシンの妊孕性向上システム	0	13,411,000	13,411,000	0	100.0%		12,517,000	10,431,600	83.3%	2,979,400	16.7%				
								ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる 医療人材養成事業	0	9,990,000	9,967,429	22,571	99.8%		0	0		9,967,429	99.8%				
								複合微生物系による高含水率でのワカメ加工 残渣の分解プロセスと分解液の活用方法 の開発補助事業	0	2,000,000	2,000,000	0	100.0%		0	0		2,000,000	100.0%				
								後援会助成金	3,400,000	3,400,000	3,136,720	263,280	92.3%		3,400,000	3,379,700	99.4%	▲ 242,980	▲ 7.1%				
								次世代アントレプレナー育成事業(EDGE- NEXT)	0	0	0	0		4,046,000	4,046,000	100.0%	▲ 4,046,000						
								R4は事業なし															
				補助金事業費計	3,400,000	28,801,000	28,515,149	285,851	99.0%		19,963,000	17,857,300	89.5%	10,657,849	9.6%								
				07 寄附金事業				01奨学寄付金研究経費(直接経費)	13,680,000	14,394,000	26,301,593	▲ 11,907,593	182.7%	奨学寄付金収入を予算より多 く獲得したことによる予算超過	23,700,000	12,393,279	52.3%	13,908,314	130.4%				
								02宮城大学キョウトラーズ基金事業費	3,000,000	3,000,000	1,821,254	1,178,746	60.7%		3,000,000	0	0.0%	1,821,254	60.7%				
								寄附金事業費計	16,680,000	17,394,000	28,122,847	▲ 10,728,847	161.7%		26,700,000	12,393,279	46.4%	15,729,568	115.3%				

表2 令和4年度第4四半期予算執行状況(支出・決定ベース)

[参考資料]

款	項	目	細目	細々目	当初予算額 (a)	予算現額 (b)	執行済額 (決定ベース) (c)	残額 (d)=(b)-(c)	執行率 (e)=(c)/(b)	備考	令和3年度同期執行状況(決定ベース)			(単位:円)						
											R3予算現額 (e)	前年度同期 執行済額 (決定ベース)	執行率	執行済額 前年比差額 (R4-R3)	執行率 前年比 (R4-R3)	前年比備考				
01業務費	08役員人件費	01理事長・副理事長・理事人件費			50,687,000	50,687,000	48,132,165	2,554,835	95.0%		51,086,000	49,473,738	96.8%	▲1,341,573	▲1.9%					
					945,000	945,000	775,600	169,400	82.1%		945,000	866,016	91.6%	▲90,416	▲9.6%					
	役員人件費計					51,632,000	51,632,000	48,907,765	2,724,235	94.7%		52,031,000	50,339,754	96.7%	▲1,431,989	▲2.0%				
	09教員人件費	01教員人件費			1,559,303,000	1,529,303,000	1,433,069,038	96,233,962	93.7%		1,538,673,000	1,443,632,119	93.8%	▲10,563,081	▲0.1%					
					37,073,000	30,854,000	28,782,246	2,071,754	93.3%		28,468,000	23,864,107	83.8%	4,918,139	9.5%					
					41,520,000	41,520,000	34,412,636	7,107,364	82.9%		41,636,000	30,893,604	74.2%	3,519,032	8.7%					
	教員人件費計					1,637,896,000	1,601,677,000	1,496,263,920	105,413,080	93.4%		1,608,777,000	1,498,389,830	93.1%	▲2,125,910	0.3%				
	10事務職員人件費	01事務職員人件費			452,321,000	452,321,000	419,941,726	32,379,274	92.8%		429,405,000	406,843,871	94.7%	13,097,855	▲1.9%					
					142,386,000	142,386,000	137,018,402	5,367,598	96.2%		140,152,000	132,221,640	94.3%	4,796,762	1.9%					
		事務職員人件費計					594,707,000	594,707,000	556,960,128	37,746,872	93.7%		569,557,000	539,065,511	94.6%	17,894,617	▲1.0%			
業務費計					2,972,430,000	3,059,122,000	2,844,982,847	214,139,153	93.0%		2,928,833,000	2,717,166,664	92.8%	127,816,183	0.2%					
01経常費用	02一般管理費	01法人費用			01役員等費用	1,738,000	2,659,000	1,144,517	1,514,483	43.0%		1,620,000	550,136	34.0%	594,381	9.1%				
					02経営審議会費	274,000	274,000	219,618	54,382	80.2%		274,000	140,760	51.4%	78,868	28.8%				
					04弁護士、社労士、会計士、税理士費用	3,784,000	3,784,000	3,729,000	55,000	98.5%		3,784,000	3,619,000	95.6%	110,000	2.9%				
					05会計監査人費用	7,986,000	7,986,000	7,986,000	0	100.0%		7,623,000	7,623,000	100.0%	363,000	0.0%				
					06法人運営危機管理費用	0	0	0	0			4,000,000	354,305	8.9%	▲354,305	▲8.9%	R3は感染症対策として予算計上したのもの			
					07評価関連費用	460,000	460,000	350,000	110,000	76.1%		460,000	353,356	76.8%	▲3,356	▲0.7%				
					法人費用計					14,242,000	15,163,000	13,429,135	1,733,865	88.6%		17,761,000	12,640,547	71.2%	788,588	17.4%
		02事務経費				01庁舎管理経費	269,150,000	269,150,000	267,759,346	1,390,654	99.5%		261,914,000	260,296,445	99.4%	7,462,901	0.1%			
						02光熱水費	140,406,000	210,000,000	192,368,260	17,631,740	91.6%	外部資金間接経費充当分を含む(委託研究、共同研究、委字寄附金、補助金)	136,411,000	148,281,296	108.7%	44,086,964	▲17.1%			
						03公用車等経費	5,277,000	5,277,000	4,867,098	409,902	92.2%		4,420,000	3,946,485	89.3%	920,613	2.9%			
04事務局経費	29,223,000					28,624,000	27,338,672	1,285,328	95.5%		31,476,000	28,101,188	89.3%	▲762,516	6.2%					
05財務会計システム運営費	4,356,000					4,356,000	4,356,000	0	100.0%		39,996,000	39,886,000	99.7%	▲35,530,000	0.3%	R3はシステム更新あり				
06給与計算アウトソーシング	667,000					667,000	539,644	127,356	80.9%		2,832,000	2,350,061	83.0%	▲1,810,417	▲2.1%	R3まで給与計算委託料あり・R4から人事給与システムで給与計算				
07銀行振込手数料	1,695,000					1,695,000	924,891	770,109	54.6%		1,056,000	941,672	89.2%	▲16,781	▲34.6%					
02事務経費				08職員健康診断費	734,000	734,000	446,009	287,991	60.8%		751,000	477,057	63.5%	▲31,048	▲2.8%					
				09職員採用経費	1,613,000	2,009,000	1,713,384	295,616	85.3%		2,450,000	1,992,389	81.3%	▲279,005	4.0%					
				10産業医	1,536,000	1,536,000	1,539,133	▲3,133	100.2%		1,992,000	1,539,133	77.3%	0	22.9%					
				11公租公課	8,243,000	11,600,000	8,557,700	3,042,300	73.8%		6,948,000	7,336,200	105.6%	1,221,500	▲31.8%					
				12事務局職員研修経費	1,672,000	1,672,000	205,058	1,466,942	12.3%		1,443,000	250,138	17.3%	▲45,080	▲5.1%					
				13学務管理システム運営費	25,310,000	25,310,000	19,170,246	6,139,754	75.7%		24,572,000	13,235,200	53.9%	5,935,046	21.9%					
				14人事給与システム運営費	4,672,000	4,672,000	4,671,700	300	100.0%		37,180,000	37,180,000	100.0%	▲32,508,300	▲0.0%	R3は新規システム導入あり				
事務経費計					494,554,000	567,302,000	534,457,141	32,844,859	94.2%		553,441,000	545,813,264	98.6%	▲11,356,123	▲4.4%					
03維持修繕費				01建物設備維持管理経費	38,902,000	37,902,000	34,800,577	3,101,423	91.8%		57,603,000	35,747,981	62.1%	▲947,404	29.8%					
				02施設・環境整備費	40,348,000	40,348,000	39,131,400	1,216,600	97.0%		15,366,000	13,190,534	85.8%	25,940,866	11.1%					
				維持修繕費計					79,250,000	78,250,000	73,931,977	4,318,023	94.5%		72,969,000	48,938,515	67.1%	24,993,462	27.4%	
				04企画・広報費	35,329,000	35,329,000	32,642,532	2,686,468	92.4%		33,725,000	30,018,000	89.0%	2,624,532	3.4%					
				05教員宿舍費	3,884,000	3,884,000	3,220,251	663,749	82.9%		5,135,000	4,616,309	89.9%	▲1,396,058	▲7.0%					
一般管理費計					627,259,000	699,928,000	657,681,036	42,246,964	94.0%		683,031,000	642,026,635	94.0%	15,654,401	▲0.0%					
経常費用計(退職金を除く)					3,599,689,000	3,759,050,000	3,502,663,883	256,386,117	93.2%		3,611,864,000	3,359,193,299	93.0%	143,470,584	0.2%					
02退職手当費用					84,670,000	114,670,000	65,894,656	48,775,344	57.5%	自己都合退職に備え予算を確保していたもの	170,044,000	149,035,703	87.6%	▲83,141,047	▲30.2%					
経常費用計(退職金を含む)					3,684,359,000	3,873,720,000	3,568,558,539	305,161,461	92.1%		3,781,908,000	3,508,229,002	92.8%	60,329,537	▲0.6%					
03大規模修繕費					238,488,000	235,919,000	210,680,800	25,238,200	89.3%		255,451,000	224,289,340	87.8%	▲13,608,540	1.5%					
04実験実習機器更新費					42,999,000	36,084,000	36,083,872	128	100.0%		42,385,000	40,797,303	96.3%	▲4,713,431	3.7%					
07災害復旧・復興支援費	01災害復旧費				0	48,478,000	41,179,786	7,298,214	84.9%	施設災害復旧事業費補助金(執行分)(R3は当該補助金無し)	0	0		41,179,786	84.9%					
					合計					3,965,846,000	4,194,201,000	3,856,502,997	337,698,003	91.9%		4,079,744,000	3,773,315,645	92.5%	83,187,352	▲0.5%

令和4年度 予算・決算対比表

公立大学法人宮城大学
(単位:円)

予算科目	現計予算額	決算額	差額 (決算額-予算額)	損益計算書	期末残高	備考
収入				収益		
運営費交付金	2,417,021,000	2,424,637,172	7,616,172	運営費交付金収益	2,302,077,200	
通常分	2,109,747,000	2,142,601,000	32,854,000	運営費交付金収益 (経常収益)	2,146,524,000	・①R3年度から繰り越してきた運営費 交付金債務:148百万円(全額執行) ②R5年度へ繰り越す運営費交付金債 務:144百万円 ①-②=4百万円 ・予算に計上していなかった光熱水費 高騰分が追加交付
大規模修繕分	262,967,000	237,729,272	△ 25,237,728		111,246,300	126百万円は固定資産取得時振替(減 価償却時に収益計上)
震災減免分	44,307,000	44,306,900	△ 100	運営費交付金収益 (臨時利益)	44,306,900	
自己収入	1,080,932,000	1,121,923,858	40,991,858	自己収入	1,243,670,480	
授業料等収入	1,029,777,000	1,074,011,280	44,234,280	授業料等収入	1,194,028,155	
授業料	847,313,000	851,955,080	4,642,080	授業料収益	971,971,955	・授業料等減免費補助金(105百万円) の相当額について授業料収益が計上 されている(※) ・固定資産取得時振替:19百万円(減 価償却時に収益計上)
入学金	150,024,000	191,449,800	41,425,800	入学金収益	191,449,800	入学金収入:R5年度入学者分、減免: R4年度入学者分であるため、予算積 算時には減免分を反映しているが、 決算額には反映していない
検定料	30,468,000	29,905,400	△ 562,600	検定料収益	29,905,400	
講習料収入	1,972,000	701,000	△ 1,271,000	講習料収益	701,000	
雑収入	51,155,000	47,912,578	△ 3,242,422	雑益	49,642,325	科研費間接経費、財産貸付料収益ほ か 科研費間接経費は、予算は債権計上 ベースのため、繰越分の差額が発生 する
受託研究等収入	399,546,000	395,256,882	△ 4,289,118	受託研究等収入	374,692,409	
受託研究等収入	101,648,000	126,137,750	24,489,750	受託研究収益 共同研究収益	113,130,067	
受託事業等収入	94,341,000	66,547,628	△ 27,793,372	受託事業等収益	68,490,859	・予算は債権計上ベース、収益は執 行額ベースであること、及び過年度か らの繰越分より執行するケースもある ため、差額が発生する
補助金等収益	188,687,000	182,845,006	△ 5,841,994	補助金等収益	136,439,649	・補助金及び寄附金の固定資産取得 時振替:11百万円(減価償却時に収益 計上)
寄附金収入	14,870,000	19,726,498	4,856,498	補助金等収益(臨時利益)	38,231,231	
寄附金収入	14,870,000	19,726,498	4,856,498	寄附金収益(奨学寄附金)	18,400,603	
目的積立金等取崩	296,702,000	190,569,742	△ 106,132,258	目的積立金等取崩	10,957,602	
地域振興寄附金基金取崩	28,586,000	9,136,348	△ 19,449,652	寄附金収益 (地域振興寄附金)	9,136,348	地域振興寄附金債務のうち、研究推 進・地域未来共創センター人件費へ の充当分
宮城大学ネクスティーダース 基金積立金取崩	3,000,000	1,821,254	△ 1,178,746	寄附金収益 (ネクスティーダース基金)	1,821,254	ネクスティーダース基金事業執行分
目的積立金取崩	116,708,000	31,204,140	△ 85,503,860	目的積立金取崩	0	目的積立金取崩財源を費用に充当し た場合には収益を計上するが、費用 への充当がなかったもの 決算額は、全額固定資産へ充当
運営費交付金債務取崩	148,408,000	148,408,000	0			運営費交付金債務取崩財源の執行 分は運営費交付金収益に計上
				その他収入	109,254,845	
				資産見返負債戻入	103,262,848	経常利益および臨時利益分 固定資産の減価償却時・除却時に発 生する
				財務収益(受取利息)	130	
				寄附金収益(その他)	5,434,057	少額備品の寄附受入時に発生する
				過年度損益修正益	557,810	過年度損計上に係る修正分
計	4,194,201,000	4,132,387,654	△ 61,813,346	計	4,040,652,536	

(※)…授業料等減免費補助金については、国の事務連絡に基づき、奨学費/補助金等収益、通常経費/授業料収益の二重仕訳を組み、決算報告書上では赤字部分を反映させず、損益計算書上は二重仕訳を反映したまま集計しているもの。

予算科目	現計予算額	決算額	差額 (予算額-決算額)	損益計算書	期末残高	備考
支出				費用		
業務費(受託研究等除く)	2,989,299,000	2,747,132,213	242,166,787	業務費(受託研究等除く)	3,215,646,051	
教育研究経費	626,613,000	579,105,744	47,507,256	教育研究経費	1,010,544,756	
教育経費	250,601,000	218,612,695	31,988,305	教育経費	527,004,307	・教育目的の「補助金事業」「寄附金事業」下の執行分含む(113百万円) うち、授業料等減免費補助金の奨学費含む(105百万円)(※) ・上記のほか、経済減免に係る減免相当の奨学費分を損益計算書で計上(5百万円) ・学群の教育経費予算に実験実習機器更新費含む(36百万円) ただし全額固定資産取得による振替のため損益計算書には計上されない ・上記のほか、予算の教育費には固定資産取得分も含む(通常教育費9百万円) ・「庁舎管理経費」「光熱水費」からの面積按分による振替あり(226百万円) ・減価償却費計上(20百万円)
看護学群・看護学研究科経費	44,429,000	35,197,990	9,231,010	研究経費	197,933,571	・研究目的の「補助金事業」「寄附金事業」下の執行分含む(33百万円) ・「庁舎管理経費」「光熱水費」からの面積按分による振替あり(81百万円) ・減価償却費計上(6百万円)
事業構想学群・事業構想学研究科経費	25,629,000	21,295,394	4,333,606	教育研究支援経費	285,606,878	・教育研究支援目的の「補助金事業」「寄附金事業」下の執行分含む(10百万円) ・「研究推進・地域未来共創センター経費」及び「専門研修経費」のうち、人件費について、損益計算書上は「人件費」、予算上は「教育研究支援経費」に計上(30百万円) ・「研究推進・地域未来共創センター経費」には受託事業執行分も含む(9百万円) ・「情報システムセンター経費」のリース料のうち、資産部分は取得時に計上済みのため、損益計算書には反映しない(当期相当分:44百万円) ・「庁舎管理経費」「光熱水費」からの面積按分による振替あり(36百万円) ・減価償却費計上(40百万円)
食産業学群・食産業学研究科経費	89,035,000	86,378,305	2,656,695	人件費	2,205,101,295	・予算・損益計算書ともに「退職手当費用」含む ・「人件費」及び「退職手当費用」以外の予算での人件費勘定計上分あり(37百万円)
基盤教育群教育費	12,923,000	6,165,792	6,757,208	一般管理費	478,563,584	・「庁舎管理経費」「光熱水費」予算で執行した分につき、期末に面積按分を行い各経費区分へ振替している(教育研究経費への振替額計:約343百万円) ・「大規模修繕費」予算で執行した費用は、損益計算書上一般管理費に計上(約120百万円) ・一般管理費予算のうち固定資産取得分は損益計算書に反映しない(31百万円) ・減価償却費計上(76百万円)
全学学務費	78,585,000	69,575,214	9,009,786	受託研究等経費	152,223,642	・「補助金事業」「寄附金事業」下の執行については、事業内容に応じた経費区分で勘定科目を計上しているため、損益計算書上は教育研究経費に含む(51百万円)
研究経費	82,059,000	75,305,098	6,753,902	大規模修繕費		・固定資産の取得が主であり、その分は貸借対照表上に計上される ・大規模修繕費の予算下で費用が発生した場合は、損益計算書上は「一般管理費」の勘定科目で計上する
教育研究支援経費	293,953,000	285,187,951	8,765,049	災害復旧費	89,253,208	・震災減免相当分奨学費(44百万円) ・災害復旧事業費の費用執行分(38百万円)
うち、学術情報センター経費	73,995,000	69,528,523	4,466,477	財務費用(支払利息)	546,326	リースの支払利息 支払時、一括で各該当予算にて執行した後、元金返済分と利息支払分へ予算を付与せず振替している
うち、情報システムセンター経費	169,359,000	168,783,602	575,398	雑損	0	
うち、国際交流・留学生センター経費	7,212,000	3,341,082	3,870,918	固定資産除却損	1	固定資産除却時の償却残額分
うち、研究推進・地域未来共創センター経費	40,692,000	42,019,819	△ 1,327,819	過年度損益修正損	6,168,750	過年度誤計上に係る修正分
人件費	2,362,686,000	2,168,026,469	194,659,531	計	3,935,686,485	
一般管理費	699,928,000	657,681,036	42,246,964	収入-支出	-	
うち、庁舎管理経費	269,150,000	267,759,346	1,390,654	収益-費用	104,966,051	
うち、光熱水費	210,000,000	192,368,260	17,631,740			
うち、維持修繕費	78,250,000	73,931,977	4,318,023			
受託研究等経費	220,577,000	199,829,162	20,747,838			
大規模修繕費	235,919,000	210,680,800	25,238,200			
災害復旧費	48,478,000	41,179,786	7,298,214			
計	4,194,201,000	3,856,502,997	337,698,003			
収入-支出	-	275,884,657				

(※)…授業料等減免費補助金については、奨学費/補助金等収益、通常経費/授業料収入の二重仕訳を組み、決算報告書上では赤字部分を反映させず、損益計算書上は二重仕訳を反映したまま集計するよう、国から通達が出ていることによるもの。

公立大学法人宮城大学基本規則等の一部改正について

1 改正趣旨

令和5年4月から本学の運営体制を理事長・学長分離型へ移行したこと等に伴って、公立大学法人宮城大学基本規則等の一部を改正するもの。

2 改正内容

(1) 基本規則の一部改正

イ 情報戦略推進会議

構成員に「理事長が指名する副学長」を追加（第19条の2第3項第4号）

ロ 懲戒審査会

管理者責任の審査対象となるセンター長の規定を整理

（第22条第2項第2号）

第18条第4項第5号及び第6号に掲げるセンター長

→第38条第1項に規定する教育推進センター等の長及び第39条第1項に規定する全学センターの長

ハ 学群教授会，基盤教育群教授会，研究科教授会

構成員の規定を明確にする等の整理

（第31条第4項，第32条第5項，第34条第4項）

例（学群教授会）：

学群の主たる教育を担当する専任の教授，准教授，講師及び助教

→学群の主たる教育を担当する専任教員である教授，准教授，講師及び助教

ニ 研究推進・地域未来共創センター太白分室

太白分室長の任命について，他の職と同様に，学長の申出に基づいて理事長が行うよう規定を整理（第39条第6項）

ホ 監査体制

内部監査チームの所管を副理事長から，法人経営の責任者である理事長へ改正（第58条第1項）

(2) 学群教授会運営規程の一部改正

上記(1)ハの改正に伴う規定の整理（第2条）

本学学群の主たる教育を担当する教授，准教授，講師及び助教

→本学学群の主たる教育を担当する専任教員である教授，准教授，講師及び助教

(3) 基盤教育群運営等規程の一部改正

上記(1)ハの改正に伴う規定の整理（第5条第1項）

基盤教育群の主たる教育を担当する専任の教授，准教授，講師及び助教

→基盤教育群の主たる教育を担当する専任教員である教授，准教授，講師及び助教

(4) 研究科教授会運営規程の一部改正

上記(1)ハの改正に伴う規定の整理（第2条）

研究科の主たる教育を担当する教授，准教授，講師及び助教

→研究科の主たる教育を担当する専任教員である教授，准教授，講師及び助教

(5) 公印規程の一部改正

称号記・賞状用の理事長印を追加（別表）

(6) 情報戦略推進会議運営規程の一部改正

基本規則との整合を図るため，構成員のうち理事の指名を行う者を学長から理事長に改めるとともに，上記(1)イの改正に伴い構成員に「理事長が指名する副学長」を追加（第3条第3号及び第4号）

3 施行年月日

令和5年6月28日（理事会議決日）から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

令和5年度9月補正予算案の概要

令和5年9月
事務局財務課

1 概要

令和5年度9月補正予算編成においては、宮城県より光熱水費高騰分の補てんが認められたことや、令和4年度決算における利益の状況等を鑑み、理事長・学長分離の新体制移行に伴う経費など、例年と比較し幅広く要求を受け付けた。結果として、リカレント教育に係る経費等、教育研究支援経費を中心に予算配分を行った。

光熱水費の高騰や福島県沖地震等、突発的な事象が多く発生した令和4年度9月補正予算と比較すると、補正予算の規模は大きく減額しているが、教育研究経費で比較した場合、昨年度の補正予算では2百万円程度の配分であったのに対し、今回の補正予算では9百万円超を配分し、教育研究に対して積極的に予算配分を行ったものである。

2 予算規模

(単位：千円)

	令和5年度	令和4年度(参考)
当初予算額	4,155,413	3,965,846
9月補正後予算額	4,181,700 (+26,287)	4,112,829 (+146,983)
最終補正後予算額		4,194,201 (+81,372)

3 支出補正予算の主な内容(外部資金以外)：11,385千円

〔教育経費〕+3,431千円

- ・食産業学群実験実習費…実験実習装置の修繕・更新費用(+3,431千円)

〔研究経費〕±0円

- ・特別研究費の増額(+510千円)及び国際研究費の減額(▲510千円)

〔教育研究支援経費〕+6,353千円

- ・国際交流・留学生センター経費…海外演習における教職員2人分の旅費(+950千円)

- ・(仮称)リカレント教育推進経費…事業構想学群のリカレント教育プログラムに係る費用(+1,965千円)

リカレント教育推進本部事業における有期雇用職員6か月の雇用費用(+1,500千円)

リカレント教育事業実施報告書に係る経費(+365千円)

- ・情報戦略推進室経費…分析支援サービスの導入費用(+1,573千円)

〔事務職員人件費〕 ±0 円

- ・ 有期雇用職員人件費の減額 (▲5,755 千円) 及び業務限定職員人件費の減額 (▲219 千円) 並びに労働者派遣業務委託費の増額 (+5,974 千円)

〔管理費〕 ▲5,109 千円

- ・ 弁護士, 社労士, 会計士, 税理士費用…公認会計士への相談経費 (+539 千円)
※会計基準の改定等に伴い, 追加で公認会計士に相談する必要があるもの。
- ・ 公用車等経費…太白キャンパス保管のスクールバス購入に係る請差減額 (▲5,648 千円)
※スクールバス購入については, 後援会から本体価格に対して 15,000 千円を上限に助成することとされていたが, 本体価格 14,133 千円での落札となったため, 寄附金収入より差額 867 千円を減額する。

〔実験実習機器更新費〕 +6,710 千円

- ・ 令和 4 年度に調達予定であったが, 半導体不足の影響で調達できなかった事業構想学群のプロジェクトの調達経費 (+6,710 千円)
※運営費交付金の執行残額を充当し調達することを宮城県に承認いただいている。

4 外部資金事業の主な内容: 直接経費分 (収支同額) 14,902 千円, 間接経費分 2,918 千円

〔(収入) 補助金等収入〕 +17,820 千円 〔(支出) 補助金事業費〕 +14,902 千円

- ・ ウシの妊孕性向上システムの実用化事業 (+17,520 千円)
うち, 間接経費分 (2,918 千円) は事務経費に充当
- ・ 仙台市内に生息する蚊が媒介するウイルス感染症 (デング熱) の病原体調査 (+300 千円)

5 目的積立金の残高等について

(単位: 千円)

①令和 4 年度末残高 (令和 4 年度決算における未処分利益額含む)	544,292
②令和 5 年度当初予算取崩額	▲92,291
③令和 5 年度 9 月補正予算取崩予定額	▲9,334
④令和 5 年度 9 月補正予算時点残高 (①+②+③)	442,667

公立大学法人宮城大学役員報酬等規程の一部改正について

1 改正趣旨

公立大学法人宮城大学役員の報酬について、設立団体である宮城県の「特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例」の改正等に準じた規程の一部改正を行うもの。

2 改正の内容

(1) 給料（第5条）

理事長及び副理事長の給料を3,000円引上げ

(2) 期末特別手当（第7条）

3.3月分から3.4月分へ引上げ

	年 度	6月期	12月期
期末特別 手当	R05年度 (※特例措置)	1.65月（支給済み）	<u>1.75月（現行1.65月）</u>
	R06年度以降	<u>1.70月（現行1.65月）</u>	<u>1.70月（現行1.65月）</u>

3 施行年月日

令和5年12月27日から施行する。2(1)の給料の改正は令和5年4月1日から適用する（差額支給）。2(2)の期末特別手当の改正は令和6年4月1日から適用し、令和5年12月期の期末特別手当について、附則により特例措置を講ずる（差額支給）。

4 新旧対照表

別紙のとおり

公立大学法人宮城大学賃金規程の一部改正について

1 改正趣旨

公立大学法人宮城大学職員の賃金について、設立団体である宮城県の給与条例等の改正に準じた規程の改正を行うもの。(宮城県人事委員会勧告に基づき、宮城県と同様の改正を行うもの。)

2 改正の内容(宮城県に準じた改正)

(1) 給料表

- ・若年層が在職する号俸に重点を置き、全ての号俸について引上げ
教育職給料表 900円～13,100円の引上げ(別表第1)
事務職給料表 900円～12,400円の引上げ(別表第2)
技能職給料表 900円～13,600円の引上げ(別表第3)
※令和5年4月1日に遡及し改定。(差額支給)

(2) 初任給調整手当(医師)

- ・支給月額を50,800円から51,100円へ引上げ(別表第5)
※令和5年4月1日に遡及し改定。(差額支給)

(3) 通勤手当

- ・通勤のため普通自動車等を使用する職員に対する支給月額の限度を52,500円から54,000円へ引上げ(別表第6イ)
※令和6年4月1日に改定。

(4) 期末・勤勉手当

年間計4.4月分から4.5月分へ引上げ(第30条, 第31条, 第45条)

- ・賃金規程適用職員の支給月数(副学長, 学群長等及び再雇用職員を除く)

年 度		6月期	12月期
R05年度 (※特例 措置)	期末手当	1.20月(支給済み)	<u>1.25月</u> (現行1.20月)
	勤勉手当	1.00月(支給済み)	<u>1.05月</u> (現行1.00月)
	計	2.20月(支給済み)	<u>2.30月</u> (現行2.20月)
R06年度 以降	期末手当	<u>1.225月</u>	<u>1.225月</u>
	勤勉手当	<u>1.025月</u>	<u>1.025月</u>
	計	<u>2.25月</u>	<u>2.25月</u>

・副学長，学群長等の支給月数

年 度		6 月期	12 月期
R05 年度 (※特例 措置)	期末手当	1.00 月 (支給済み)	<u>1.05 月</u> (現行 1.00 月)
	勤勉手当	1.20 月 (支給済み)	<u>1.25 月</u> (現行 1.20 月)
	計	2.20 月 (支給済み)	<u>2.30 月</u> (現行 2.20 月)
R06 年度 以降	期末手当	<u>1.025 月</u>	<u>1.025 月</u>
	勤勉手当	<u>1.225 月</u>	<u>1.225 月</u>
	計	<u>2.25 月</u>	<u>2.25 月</u>

・再雇用職員の支給月数

年 度		6 月期	12 月期
R05 年度 (※特例 措置)	期末手当	0.675 月 (支給済み)	<u>0.70 月</u> (現行 0.675 月)
	勤勉手当	0.475 月 (支給済み)	<u>0.50 月</u> (現行 0.475 月)
	計	1.15 月 (支給済み)	<u>1.20 月</u> (現行 1.15 月)
R06 年度 以降	期末手当	<u>0.6875 月</u>	<u>0.6875 月</u>
	勤勉手当	<u>0.4875 月</u>	<u>0.4875 月</u>
	計	<u>1.175 月</u>	<u>1.175 月</u>

(5) 昇給制度

- ・5 歳を超える職員（技能職員は 5 7 歳を超える職員）の昇給号俸数の改正（第 10 条）

勤務成績が極めて良好な職員	4 号俸	→	2 号俸
勤務成績が特に良好な職員	3 号俸	→	1 号俸
勤務成績が良好である職員（標準昇給）	2 号俸	→	昇給しない
勤務成績がやや良好でない職員	1 号俸	→	昇給しない

3 施行年月日

令和 5 年 1 2 月 2 7 日（理事会議決予定日）から施行する。2(1)の給料表及び(2)の初任給調整手当の改正は令和 5 年 4 月 1 日から適用する（差額支給）。2(3)の通勤手当及び(4)の期末手当・勤勉手当の改正は令和 6 年 4 月 1 日から適用し，令和 5 年 1 2 月期の期末手当・勤勉手当について，附則により特例措置を講ずる（差額支給）。

4 新旧対照表

別紙のとおり

令和5年度最終補正予算（案）

【収入】 (単位：千円)

款・項	目	現計予算額	補正額	補正後予算額	詳細
01経常収益					
01運営費交付金		2,600,267	▲ 115,174	2,485,093	
	うち通常分	2,219,431	▲ 92,605	2,126,826	※県内示後、差替の可能性あり
	うち大規模修繕分	334,357	▲ 17,176	317,181	※県内示後、差替の可能性あり 大規模修繕分：▲23,879千円（契約請差による減額） 実験実習機器分：+6,710千円（R4未調達分の増額） ▲7千円（契約請差による減額）
	うち震災減免分	46,479	▲ 5,393	41,086	※県内示後、差替の可能性あり 減免実績に基づく減額 授業料分：▲3,795千円 入学金分：▲1,598千円
01経常収益	02授業料収入	812,999	45,283	858,282	授業料収入及び減免実績に基づく増額
01経常収益	03入学金収入	146,264	4,888	151,152	減免実績に基づく増額 修学支援分：+3,290千円 震災減免分：+1,598千円
01経常収益	05受託研究等収入				
	01受託研究収入	85,000	43,692	128,692	獲得実績に基づく増額 直接経費：+24,510千円（見込額：101,010千円/現計予算額：76,500千円） 間接経費：+19,182千円（見込額：27,682千円/現計予算額：8,500千円）
	02共同研究収入	0	24,850	24,850	獲得実績に基づく増額 直接経費総額：+21,917千円（皆増） 間接経費総額：+2,933千円（皆増）
01経常収益	07寄附金収入	14,750	▲ 7,070	7,680	【研究分】獲得実績に基づく減額（▲8,070千円） 直接経費：▲7,532千円（見込額：6,481千円/現計予算額：14,013千円） 間接経費：▲538千円（見込額：199千円/現計予算額：737千円） 【教育分】獲得実績に基づく減額（+1,000千円） 地域連携実践教育プログラム・グローバルプログラム：+1,000千円
01経常収益	08補助金等収益				
	授業料等減免費補助金	110,000	▲ 6,101	103,899	減免所要見込額に基づく減額 交付元：宮城県 授業料分：▲2,811千円 入学金分：▲3,290千円
	後援学生会・大学支援事業	0	4,000	4,000	後援会助成金に基づく増額 太白C学生共用キッチン更新：+2,000千円 大和C本部棟3F中庭の美化・くつろぎの空間創出事業：+2,000千円
01経常収益	10雑収入				
	02科学研究費補助金間接経費収入	23,077	▲ 5,830	17,247	獲得実績に基づく減額
	06その他雑益	13,315	1,151	14,466	継続的貸付の光熱水費分の減額：▲814千円 東北電力の節電チャレンジキャンペーン達成特典：+1,965千円
07目的積立金取崩		101,625	▲ 79,593	22,032	収支差額
合 計			▲ 89,904		
全体総額		4,181,700		4,091,796	

【支出】

款・項	目	細目・細々目	現計予算額	補正額	補正後予算額	詳細
01経常費用						
01業務費						
	02研究経費	01教員研究費・海外旅費 01基礎的研究費	35,000	▲ 400	34,600	所要見込額に基づく減額（同額を「国際学会等派遣旅費」で増額）
		01教員研究費・海外旅費 04国際学会等派遣旅費	1,500	400	1,900	海外での学会発表件数の増加に伴う増額（同額を「基礎的研究費」で減額）
	04受託研究費	01受託研究費（直接経費）	76,500	24,510	101,010	獲得実績に基づく増額（直接経費のみ）
		02共同研究費（直接経費）	0	21,917	21,917	獲得実績に基づく増額（直接経費のみ）
	06補助金事業費	01補助金事業費 うち後援学生会・大学支援事業	0	4,000	4,000	後援会助成金に基づく増額 太白C学生共用キッチン更新：+2,000千円 大和C本部棟3F中庭の美化・くつろぎの空間創出事業：+2,000千円
	07寄附金事業費	01奨学寄附金研究経費（直接経費）	14,013	▲ 6,532	7,481	【研究分】獲得実績に基づく減額（直接経費のみ）：▲7,532千円 【教育分】獲得実績に基づく増額：+1,000千円
	09教員人件費	01教員人件費	1,525,637	▲ 30,000	1,495,637	所要見込額に基づく減額（同額を「退職手当費用」で増額）
01経常費用	02一般管理費					
		02事務経費 01庁舎管理経費	281,700	▲ 1,329	280,371	所要見込額に基づく減額
		02事務経費 02光熱水費	279,472	▲ 108,584	170,888	所要見込額に基づく減額
		03維持修繕費 01建物設備維持管理経費	33,957	▲ 1,903	32,054	所要見込額に基づく減額（同額を「教員宿舍費」で増額）
		05教員宿舍費	2,265	1,903	4,168	修繕に要する費用の増額（同額を「庁舎管理経費」で減額） 入退去に伴う施設修繕：+302千円 室内修繕の執行残：▲7千円 受水槽の不具合及び屋上防水の破損の修繕：+1,608千円
02退職手当費用			54,458	30,000	84,458	自己都合退職者分に備えた増額（同額を「教員人件費」で減額）
03大規模修繕費			284,563	▲ 23,879	260,684	契約請差及び入札不調による減額 運営費交付金財源分：▲23,879千円 ※入札不調分は来年度予算で施行予定
04実験実習機器更新費			65,540	▲ 7	65,533	契約請差による減額 事業構想（契約請差）：▲7千円
合 計				▲ 89,904		
全体総額			4,181,700		4,091,796	

公立大学法人宮城大学人権侵害の防止等に関する規程等の一部改正について

1 改正趣旨

セクシュアルハラスメントを含む性暴力等の防止に向けた取組の更なる推進について（令和5年9月29日付け文部科学省高等教育局長通知）を踏まえて、公立大学法人宮城大学人権侵害の防止等に関する規程等の一部を改正するもの。

2 主な改正内容

(1) 公立大学法人宮城大学人権侵害の防止等に関する規程の一部改正

- イ 妊娠等に関するハラスメントについて定義（第3条第1項第4号）
- ロ セクシュアル・ハラスメントと性暴力を区別して定義（第3条第1項第5号）
- ハ 監督者等の責務について明確化（第5条第1項）
- ニ 教職員及び学生の責務について明確化（第6条第1項）

(2) 公立大学法人宮城大学就業規則の一部改正

- イ 職員の責務について明確化（第46条第1項）
- ロ 妊娠等に関するハラスメントについて定義（第46条第2項第4号）
- ハ セクシュアル・ハラスメントと性暴力を区別して定義（第46条第2項第5号）

(3) 公立大学法人宮城大学業務限定職員就業規則の一部改正

就業規則の改正に伴う改正（第41条第2項第14号）

(4) 公立大学法人宮城大学職員懲戒規程の一部改正

就業規則の改正に伴う改正（別表（第4関係）2の14）

(5) 公立大学法人宮城大学職員懲戒規程第4条に定める懲戒処分の量定の基準（目安）の一部改正

セクシュアル・ハラスメントと性暴力を区別して規定（表の12）

3 施行年月日

令和6年 月 日（理事会議決日）から施行する。

4 新旧対照表等

別添のとおり

Ⅲ 各審議会・委員会等の名簿

公立大学法人宮城大学 役員

(定款第8条、基本規則第6条)

令和5年4月1日現在

職 名	氏 名	摘 要
理事長	佐野好昭	
副理事長	佐々木啓一	学長
理事（教育担当）	西川正純	副学長
理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風見正三	副学長
理事（総務・人事労務、企画・広報担当）	佐々木靖彦	
理事（財務・施設担当）	工藤和浩	
監事	土井秀逸	任期：令和4年度財務諸表承認日まで
監事	柴田純一	任期：令和4年度財務諸表承認日まで

※1 定例理事会は、原則、毎月末水曜日午後3時から、大会議室で開催

担当：総務課

公立大学法人宮城大学 主要構成員

令和5年4月1日現在

職 名	氏 名	摘 要
学長	佐々木 啓一	副理事長
副学長（教育）	西川 正純	理事
副学長（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風見 正三	理事、図書館長、最高情報責任者（CIO）、研究推進・地域未来共創センター長、研究委員会委員長、研究費審査会委員長
副学長（学生支援担当）	真 覚 健	スチューデントサービスセンター長
○学群・研究科		
看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
食産業学群長兼食産学学研究科長	井 上 達 志	
基盤教育群長	平 岡 善 浩	事業構想学群副学群長
○教育推進センター等		
アドミッションセンター長	笠 原 紳	
〃 高大連携推進室長	笠 原 紳	アドミッションセンター長
カリキュラムセンター長	蒔 苗 耕 司	
〃 コモンズ運営室長	石 川 伸 一	
〃 地域連携実践教育推進室長	郷 古 雅 春	
スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	（再掲）
〃 健康支援室長	相 楽 直 子	
キャリア・インターンシップセンター長	小 沢 晴 司	
〃 キャリア開発室長	須 田 義 人	キャリア・インターンシップセンター副センター長
〃 インターンシップ開発室長	大 嶋 淳 俊	キャリア・インターンシップセンター副センター長
キャンパス整備委員会委員長	平 岡 善 浩	（再掲）
○全学センター		
学術情報センター長	茅 原 拓 朗	出版会長
〃 出版会長	茅 原 拓 朗	（再掲）
情報システムセンター長	木 村 和 彦	
国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	（再掲）
○図書館、CIO、附属農場、事務局		
図書館長	風 見 正 三	（再掲）
最高情報責任者（CIO）	風 見 正 三	（再掲）
附属農場長	中 村 聡	
事務局長	小 野 寺 明	

公立大学法人宮城大学 経営審議会委員

＜令和5年4月1日～令和7年3月31日＞

(定款第19条、基本規則第16条)

令和5年4月1日現在

	構 成	根拠規定 基本規則	氏 名	摘 要
1	理事長	1号	佐 野 好 昭	
2	副理事長	〃	佐 々 木 啓 一	学長
3	理事（財務・施設担当）	〃	工 藤 和 浩	
4	理事長が指名する役職員	〃	西 川 正 純	理事（教育担当）
5	〃	〃	風 見 正 三	理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）
6	理事長が任命する有識者 （五十音順）	2号	石 井 幹 子	（公社）宮城県看護協会会長
7	〃	〃	大 山 健 太 郎	アイリスグループ会長
8	〃	〃	小 野 和 宏	宮城県町村会理事兼事務局長
9	〃	〃	佐 藤 勘 三 郎	宮城県中小企業団体中央会会長
10	〃	〃	里 見 進	（独）日本学術振興会顧問 東北大学名誉教授、前東北大学総長
11	〃	〃	田 中 正 人	（株）菓匠三全顧問
12	〃	〃	吉 岡 敏 明	（大）東北大学大学院環境科学研究科教授

※ 経営審議会は、年2回、大会議室で開催
担当：入試・企画課

公立大学法人宮城大学 教育研究審議会委員

(定款第23条、基本規則第18条)

令和5年4月1日現在

	職 名	根拠規定 基本規則19条	氏 名	摘 要
1	学長	1号	佐々木啓一	副理事長
2	理事（教育担当）	3号	西川正純	副学長
3	理事（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	〃	風見正三	副学長
4	理事（総務・人事労務、企画・広報担当）	〃	佐々木 靖彦	
5	理事（財務・施設担当）	〃	工藤和浩	
—	副学長（教育、広報担当）	4号	西川正純	（再掲）
—	副学長（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	〃	風見正三	（再掲）
6	副学長（学生支援担当）	〃	真覚 健	スチューデントサービスセンター長
7	看護学群長兼看護学研究科長	5号	高橋和子	
8	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	〃	中田千彦	
9	食産業学群長兼食産業学研究科長	〃	井上達志	
10	基盤教育群長	〃	平岡善浩	事業構想学群副学群長
11	看護学群副学群長	〃	菅原 よしえ	
—	事業構想学群副学群長	〃	平岡善浩	（再掲）
12	事業構想学群副学群長	〃	藤澤由和	
13	食産業学群副学群長	〃	三石誠司	
14	基盤教育群副群長	〃	河西敏幸	
15	看護学研究科副研究科長	〃	大熊恵子	
16	事業構想学研究科副研究科長	〃	郷古雅春	
17	食産業学研究科副研究科長	〃	笠原 紳	
—	アドミッションセンター長	6号	笠原 紳	（再掲）
18	カリキュラムセンター長	〃	蒔苗耕司	
—	スチューデントサービスセンター長	〃	真覚 健	（再掲）
19	キャリア・インターンシップセンター長	〃	小沢晴司	
—	キャンパス整備委員会委員長	〃	平岡善浩	（再掲）
21	学術情報センター長	7号	茅原拓朗	
—	情報システムセンター長	〃	木村和彦	
22	国際交流・留学生センター長	〃	川島滋和	
23	研究推進・地域未来共創センター長	〃	風見正三	（再掲）
24	事務局長	8号	小野寺 明	

※ 教育研究審議会は、原則、毎月第3水曜日午後2時30分から、大会議室で開催
担当：学務課

公立大学法人宮城大学 評価委員会 (基本規則第20条)

- ① 中期計画及び年度計画(原案の策定、実施案の策定、執行管理、報告書作成)に関すること
- ② 自己点検評価及び外部評価(認証評価を含む。)に関すること
- ③ 目標評価(授業評価を除く。)に関すること
- ④ その他理事長から検討を指示された事項

令和5年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	佐々木啓一	
副委員長	理事(総務・人事労務、企画・広報担当)	佐々木 靖彦	
	理事(教育担当)	西川 正 純	副学長
	理事(研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当)	風見 正 三	副学長
	理事(財務・施設担当)	工藤 和 浩	
	副学長(学生支援担当)	真 覚 健	フューナメントサービスセンター長
	看護学群長兼看護学研究科長	高橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達 志	
	基盤教育群長	平岡 善 浩	
	アドミッションセンター長	笠原 紳	
	カリキュラムセンター長	蒔苗 耕 司	
	スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	(再掲)
	キャリア・インターンシップセンター長	小沢 晴 司	
	キャンパス整備委員会委員長	平岡 善 浩	(再掲)
	学術情報センター長	茅原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正 三	(再掲)
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：企画・入試課

公立大学法人宮城大学 広報委員会 (基本規則第21条)

- ① 広報に関する基本方針の策定に関すること
- ② 各種メディアを活用した広報活動に関すること
- ③ 広報活動に関する学内等との連絡調整に関すること
- ④ その他広報に関すること

令和5年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	佐々木啓一	学長
副委員長	副学長(教育、広報担当)	西川 正 純	
	理事(総務・人事労務、企画・広報担当)	佐々木 靖彦	
	看護学群長兼看護学研究科長	高橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達 志	
	基盤教育群長	平岡 善 浩	
	学術情報センター長	茅原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風見 正 三	
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：企画・入試課

公立大学法人宮城大学 懲戒審査会 (基本規則第 22 条)

- ① 職員の懲戒に関する事
- ② 当該職員が所属する学群長、研究科長、センター又は事務局長その他管理監督者に係る管理者責任の有無及び程度に関する事
- ③ その他理事長が必要と認める事項

令和 5 年 4 月 1 日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	理事 (総務・人事労務、企画・広報担当)	佐々木 靖彦	
	理事 (教育担当)	西 川 正 純	
	看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井 上 達 志	
	基盤教育群長	平 岡 善 浩	
	事務局長	小 野 寺 明	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 兼業審査会 (基本規則第 23 条)

- ① 技術移転事業者の役員等 (監査役を除く。) の兼業許可に関する事
- ② 研究成果活用企業の役員等 (監査役を除く。) の兼業許可に関する事
- ③ 株式会社又は有限会社の監査役の兼業に関する事
- ④ その他理事長が必要と認める事項

令和 5 年 4 月 1 日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	佐々木 啓 一	学長
	理事 (総務・人事労務、企画・広報担当)	佐々木 靖彦	
	副学長 (研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当)	風 見 正 三	研究推進・地域未来共創センター長
	看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井 上 達 志	
	基盤教育群長	平 岡 善 浩	
	アドミッションセンター長	笠 原 紳	
	カリキュラムセンター長	蒔 苗 耕 司	
	スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	
	キャリア・インターンシップセンター長	小 沢 晴 司	
	キャンパス整備委員会委員長	平 岡 善 浩	(再掲)
	学術情報センター長	茅 原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木 村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	(再掲)
	事務局長	小 野 寺 明	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 研修審査会 (基本規則第24条)

- ① 国内派遣研修（研修期間が1月以上のものに限る。）の承認に関する事
- ② 海外派遣研修（研修期間が1月以上のものに限る。）の承認に関する事
- ③ 学外自主研修に関する事
- ④ 大学院修学研修に関する事
- ⑤ その他理事長が必要と認める事項

令和5年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副理事長	佐々木啓一	学長
	理事（総務・人事労務、企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	副学長（教育、広報担当）	西川 正 純	
	当該申請に係る学群長等	—	
	事務局長	小野寺 明	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 学群・研究科役職員構成

(基本規則第30条・32条・33条)

令和5年4月1日現在

職 名	氏 名	摘 要
看護学群長兼看護学研究科長	高橋 和子	
看護学群副学群長	菅原 よしえ	
看護学研究科副研究科長	大熊 恵子	
事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中田 千彦	
事業構想学群副学群長	平岡 善浩	
事業構想学群副学群長	藤澤 由和	
事業構想学研究科副研究科長	郷古 雅春	
食産業学群長兼食産業学研究科長	井上 達志	
食産業学群副学群長	三石 誠司	
食産業学研究科副研究科長	笠原 紳	
基盤教育群長	平岡 善浩	(再掲)
基盤教育群副群長	河西 敏幸	

公立大学法人宮城大学 教員人事委員会 (基本規則第35条)

- ① 教員の採用に係る選考に関する事
- ② 教員の再任に係る審査に関する事
- ③ 教員の昇任に係る選考に関する事
- ④ 教員の評価及び教員資格審査に関する事
- ⑤ その他理事長が必要と認める事項

令和5年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	学長	佐々木啓一	副理事長
委員長代理	理事（総務・人事労務、企画・広報担当）	佐々木 靖彦	
	副学長（教育、広報担当）	西川 正 純	
	副学長（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風見 正 三	
	副学長（学生支援担当）	真 覚 健	
	当該人事に係る学群長等	—	
	学長が定める委員	—	

※ 担当：総務課

公立大学法人宮城大学 研究委員会 (基本規則第36条)

- ① 研究の推進に関すること。
- ② 教員研究費、外部研究資金等の研究費及び国際学会等派遣旅費に関すること。
- ③ 研究倫理に関すること。
- ④ 発明、特許等知的財産に関すること。
- ⑤ その他理事長から検討を指示された事項に関すること。

令和5年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	理事（研究、学術情報、産学地域連携・国際交流担当）	風 見 正 三	副学長
	理事（教育担当）	西 川 正 純	
	理事（財務・施設担当）	工 藤 和 浩	
	副学長（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風 見 正 三	（再掲）
	学術情報センター長	茅 原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木 村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	（再掲）
	看護学群	谷 津 裕 子	
	事業構想学群	土 岐 謙 次	
	食産業学群	毛 利 哲	
	基盤教育群	山 本 ま ゆ み	
	看護学研究科	武 田 和 久	
	事業構想学研究科	櫻 木 晃 裕	
	食産業学研究科	北 辻 政 文	

※ 担当：研究推進・地域未来共創センター

公立大学法人宮城大学 研究費審査会 (基本規則第37条)

- ① 海外研究費の配分に関すること
- ② 指定研究費の配分に関すること

令和5年4月1日現在

役 職	職 名	氏 名	摘 要
委員長	副学長（研究、学術情報、産学地域連携、国際交流担当）	風 見 正 三	
	理事（財務・施設担当）	工 藤 和 浩	
	看護学群長兼看護学研究科長	高 橋 和 子	
	事業構想学群長兼事業構想学研究科長	中 田 千 彦	
	食産業学群長兼食産業学研究科長	井 上 達 志	
	基盤教育群長	平 岡 善 浩	
	学術情報センター長	茅 原 拓 朗	
	情報システムセンター長	木 村 和 彦	
	国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	
	研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	（再掲）

※ 担当：研究推進・地域未来共創センター

公立大学法人宮城大学 教育推進センター等役職員構成

(基本規則第 38 条)

令和 5 年 4 月 1 日現在

職 名	氏 名	摘要(主として勤務する学群・群)
アドミッションセンター長	笠 原 紳	食産業学群
アドミッションセンター副センター長	風 間 逸 郎	看護学群
〃	藤 澤 由 和	事業構想学群
〃	M・ウィルソン	基盤教育群
高大連携推進室長	笠 原 紳	(再掲)
高大連携推進室副室長	高 山 純 人	事業構想学群
カリキュラムセンター長	蒔 苗 耕 司	事業構想学群
カリキュラムセンター副センター長	齊 藤 奈 緒	看護学群
〃	石 内 鉄 平	事業構想学群
〃	森 田 明	食産業学群
〃	菅 原 謙	基盤教育群
commons運営室長	石 川 伸 一	食産業学群
commons運営室副室長	三 好 俊 文	基盤教育群
地域連携実践教育推進室長	郷 古 雅 春	事業構想学群
地域連携実践教育推進室副室長	佐々木 秀之	事業構想学群
〃	中 沢 峻	事業構想学群
スチューデントサービスセンター長	真 覚 健	看護学群
スチューデントサービスセンター副センター長	沢 田 淳 子	看護学群
〃	千 葉 克 己	事業構想学群
〃	森 本 素 子	食産業学群
〃	河 西 敏 幸	基盤教育群、健康支援室副室長
健康支援室長	相 樂 直 子	
健康支援室副室長	花 里 陽 子	看護学群
〃	河 西 敏 幸	(再掲)
キャリア・インターンシップセンター長	小 沢 晴 司	事業構想学群
キャリア・インターンシップセンター副センター長	竹 本 由 香 里	看護学群、キャリア開発室副室長
〃	高 橋 修	事業構想学群
〃	大 嶋 淳 俊	事業構想学群
〃	櫻 木 晃 裕	事業構想学群
〃	青 木 孝 弘	事業構想学群、キャリア開発室副室長
〃	須 田 義 人	食産業学群、キャリア開発室長
キャリア開発室長	須 田 義 人	(再掲)
キャリア開発室副室長	竹 本 由 香 里	(再掲)
〃	青 木 孝 弘	(再掲)
インターンシップ開発室長	大 嶋 淳 俊	(再掲)
インターンシップ開発室副室長	丹 治 朋 子	食産業学群
キャンパス整備委員会委員長	平 岡 善 浩	(再掲)

公立大学法人宮城大学 全学センター役職員構成

(基本規則第 39 条)

令和 5 年 4 月 1 日現在

職 名	氏 名	摘要(主として勤務する学群・群)
学術情報センター長	茅 原 拓 朗	事業構想学群、出版会長
学術情報センター副センター長	木 村 眞 子	看護学群
〃	小 林 仁	食産業学群
出版会長	茅 原 拓 朗	(再掲)
出版会副会長	三 上 浩 司	食産業学群
情報システムセンター長	木 村 和 彦	食産業学群
情報システムセンター副センター長	萩 原 潤	看護学群
〃	鈴 木 優	事業構想学群
国際交流・留学生センター長	川 島 滋 和	食産業学群
国際交流・留学生センター副センター長	谷 津 裕 子	看護学群
〃	佐 々 木 秀 之	事業構想学群
〃	曾 根 洋 明	基盤教育群
〃	山 本 ま ゆ み	基盤教育群
研究推進・地域未来共創センター長	風 見 正 三	事業構想学群
研究推進・地域未来共創センター副センター長(総括担当)	佐 藤 尚 志	研究推進・地域未来共創センター
研究推進・地域未来共創センター副センター長(企画担当)	庄 子 真 樹	研究推進・地域未来共創センター
研究推進・地域未来共創センター副センター長	金 子 さ ゆ り	看護学群
〃	郷 古 雅 春	事業構想学群
〃	澁 田 一 夫	事業構想学群
〃 兼太白分室長	金 内 誠	食産業学群

公立大学法人宮城大学 図書館、附属農場、CIO 役職員構成

(基本規則第 39 条・40 条、

食産業学群附属農場管理運営規程第 3 条、最高情報責任者等の設置に関する規程 2 条・3 条) 令和 5 年 4 月 1 日現在

職 名	氏 名	摘要(主として勤務する学群・群)
最高情報責任者(CIO)	風 見 正 三	事業構想学群、図書館長
最高情報責任者(CIO)代理	茅 原 拓 朗	事業構想学群、図書館副館長
図書館長	風 見 正 三	(再掲)
図書館副館長	茅 原 拓 朗	(再掲)
附属農場長	中 村 聡	食産業学群
附属農場副農場長(旗立農場)	中 村 茂 雄	食産業学群
〃(坪沼農場)	須 田 義 人	食産業学群

公立大学法人宮城大学 事務局幹部職員構成

(基本規則第 43 条)

令和 5 年 4 月 1 日現在

職 名	氏 名	摘 要
事務局長	小 野 寺 明	
〃 次長	今 野 佳 之	
〃 総務課長	石 川 秀 晴	
〃 財務課長	中 村 一 洋	
〃 企画・入試課長	藤 田 信 治	
〃 学務課長	佐 藤 憲 治	
〃 学術情報室長	吉 川 陽 大	
〃 太白事務室長	齊 藤 泰 功	

IV その他業務実績評価の実施にあたり根拠となる資料